EPSON

ネットワーク設定ガイド

本製品をネットワークプリンタとして使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。また、各種トラブルの解決方法やお客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD1057-00

EPSON ESC/Page および ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
IBM PC 、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、Mac、Mac OS、Mac OS X、AppleTalk、EtherTalk、Open Transport、Rendezvous、TrueType は Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
MS-DOS、Microsoft、Windows および WindowsNT は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Acrobat Reader、PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Java およびすべての Java 関連の名称は、米国 Sun Microsytems,Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
This product includes software developed by the University of California, Berkeley, and its contributors.
"EpsonNet Config" and "EpsonNet EasyInstall" incorporate compression code from the Info-ZIP group. There are no extra charges or costs due to the use of this code,and the original compression sources are freely available from http://www.info-zip.org on the Internet.
そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書中のイラスト、プリンタのパネル表示および機種名について

本書は、各種ネットワークプリンタの共通マニュアルです。
本書中のイラスト、プリンタのパネル表示および機種名について、それぞれ以下のように記載しています。

イラスト、プリンタの表示パネルについて

本書中のイラスト、プリンタのパネル表示は、お使いの機種と異なる場合があります。

プリンタの機種名について

本書中では、掲載画面などにあるプリンタの機種名を「LP-XXXX」などのように、特定の機種名を省略して記載することがあります。

本書中のマーク、表記、画面について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容を記載しています。また、必ずお守りいただきたいこと（操作）を示しています。

参 考 補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

☞ 関連する内容の参照ページを示しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows®98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Server 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows NT4.0 と表記しています。また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows NT4.0 を総称する場合は、「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 98/Me」のように、Windows の表記を省略することがあります。

本製品が対応している Mac OS のバージョンと、本書内での表記について

- 本製品が対応している Mac OS のバージョンは以下の通りです。
  Mac OS 9.1　～　9.2.x
  Mac OS X　v10.2、v10.3
  本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、それぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記していることがあります。
- アップルコンピュータ社製のコンピュータを総称して「Macintosh」と表記していることがあります。

掲載画面について

- 本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows XPの画面を使用しています。
- 本書に掲載するMac OS Xの画面は、特に指定がない限りMac OS X v10.3の画面を使用しています。
- 本書に掲載するソフトウェア/ユーティリティの表示画面は、実際の画面と一部異なる場合があります。

もくじ

ご使用の前に

設定の前に

コンピュータのネットワーク設定

ネットワークインターフェイスの設定

ダイヤルアップルータ使用時の注意

プリンタドライバのインストール

EpsonNet Print の使い方

EpsonNet Config（Web）の使い方

困ったときは

その他の便利な機能の紹介

付録

ご使用の前に

最初にお読みください。ネットワークインターフェイスの機能と動作環境を説明します。

動作環境

ネットワークインターフェイスの動作環境

本製品のネットワークインターフェイスの動作環境は次の通りです。

OS	バージョン	印刷方法
Windows 98	--	・TCP/IP（EpsonNet Print 使用） ・IPP（EpsonNet Internet Print 使用） ・MS Network
Windows Me	--	・TCP/IP（EpsonNet Print 使用） ・IPP ・MS Network
Windows NT 4.0	--	・TCP/IP（LPR または EpsonNet Print 使用） ・IPP（EpsonNet Internet Print 使用） ・MS Network
Windows 2000/XP/Server 2003	--	・TCP/IP（LPR、Standard TCP/IP Port または EpsonNet Print 使用） ・IPP ・MS Network
Macintosh	・Mac OS 9.1 以降	・AppleTalk
	・Mac OS X v10.2 以降	・EPSON AppleTalk ・EPSON TCP/IP ・Rendezvous（Mac OS X v10.2.4 以降）

参考

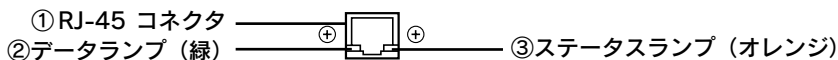
- Windows XP/Server 2003 は NetBEUI プロトコルに正式に対応していませんが、Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへの印刷は可能です。
  ☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」
- Windows NT は、Windows NT（Intel 版）にのみ対応しています。
- Mac OS 9.x のマルチユーザー環境には対応していません。

注意

ダイヤルアップルータをご使用の環境に設置する場合、ネットワークインターフェイスには、必ずそのセグメントの設定に合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われてしまう可能性があります。

各部の名称と働き

本製品の背面にあるネットワークインターフェイスの各部の名称と機能を説明します。

＜例＞

① RJ-45 コネクタ

Ethernet ケーブルを接続します。Ethernet ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

②データランプ（緑）

点灯：Link
点滅：データ受信中

③ステータスランプ（オレンジ）

点灯：100Base-TX で接続されている状態
消灯：10Base-T で接続されている状態

EpsonNet ソフトウェアのご案内

ここでは、本製品で使用できる各種ネットワーク関連のソフトウェアを紹介します。
本製品に付属していないソフトウェアは、エプソンのホームページからダウンロードできます。EpsonNet ソフトウェアのインストールやダウンロードの方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

印刷ツール

EpsonNet Print（本製品付属）

Windowsから、ネットワークプリンタにダイレクト印刷することができるツールです。TCP/IP プロトコルを使用します。
このツールを使うと、プリントサーバ（クライアントに印刷サービスを提供するコンピュータ）がない環境でも、ネットワークプリンタへの印刷が可能になります。
☞ 92 ページ「EpsonNet Print の使い方」

EpsonNet Internet Print

Windows 98/NT4.0 から、ネットワークプリンタにインターネット印刷することができるツールです。TCP/IP プロトコルを使用します。
このツールを使うと、プリントサーバ（クライアントに印刷サービスを提供するコンピュータ）がない環境でも、ネットワークプリンタへの印刷が可能になります。
インターネット印刷は、セグメントを越えて印刷する時に有効です。
入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

参考 Windows Me/2000/XP/Server 2003 については、OS 標準の IPP ポートモニタをご使用ください。

設定ツール

EpsonNet Config（Windows）（本製品付属）

Windows から、ネットワークインターフェイスの各種アドレスや名称などを設定するためのツールです。TCP/IP、MS Network、AppleTalk、SNMP などに関する設定を行えます。

☞ 44 ページ「EpsonNet Config（Windows）」

EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）（本製品付属）

Macintosh から、ネットワークインターフェイスの各種アドレスや名称などを設定するためのツールです。TCP/IP、AppleTalk、SNMP などに関する設定を行えます。

☞ 47 ページ「EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）」

EpsonNet Config（Web）（本製品付属）

ネットワークインターフェイスに内蔵しているツールです。ネットワーク上のコンピュータで、Web ブラウザから起動します。本製品の操作パネルからも、同様のネットワークインターフェイス設定（TCP/IP、MS Network、AppleTalk など）とプリンタ設定を行えます。プリンタ設定では、消耗品の確認や給紙装置の設定など、各種の確認・設定をすることができます。

EpsonNet Config（Web）は、ネットワークインターフェイスおよびコンピュータで IP アドレスが設定されていないと使えません。初めて設定する時は EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）をお使いください。

☞ 122 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

EpsonNet EasyInstall（Windows）（本製品付属）

対話形式になっているため、簡単に TCP/IP の設定や、プリンタドライバのインストール、プリンタポートの設定ができるツールです。

詳細は本製品に付属の「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）をご覧ください。

EpsonNet EasyInstall（Mac OS 9 および Mac OS X）（本製品付属）

対話形式になっているため、簡単に TCP/IP の設定ができるツールです。このツールを起動するには、コンピュータに「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットして、各 OS ごとのインストーラを起動します。そのあと起動した画面の指示に従い、[ネットワーク製品のセットアップ] - [その他のネットワークの接続と設定] の順にクリックすると EpsonNet EasyInstall が起動します。画面の指示に従って TCP/IP の設定をしてください。

管理ソフトウェア

EpsonNet WebManager

ネットワークプリンタの状態把握やネットワークインターフェイスの各種設定のほか、印刷ジョブ情報の確認や消耗品の管理、プリンタドライバの自動配信などの機能を持つ、管理者用のソフトウェアです。ダウンロードしてお使いください。
入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

EpsonNet LogBrowser V2

ネットワークプリンタの印刷ログの自動収集や、印刷枚数の制限をするソフトウェアです。用紙使用量やプリンタの利用状況の把握と管理が簡単に行えます。
入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

EpsonNet InstallManager

ネットワークプリンタのドライバインストールから印刷ポートの設定までを、自動的に実行するインストールパッケージを作成できるソフトウェアです。
管理者はグループごと、部署ごとに使用するプリンタドライバのパッケージを一括して作成でき、クライアント側のコンピュータでこのインストールパッケージを実行するだけで印刷環境が作成されるため、管理者のプリンタドライバ配布・インストール作業を大幅に軽減します。また、プリンタドライバだけでなく、「EPSON プリンタウィンドウ !3」も同時にパッケージ化できます。
入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

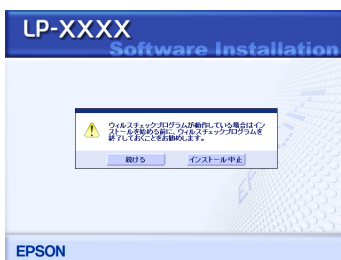
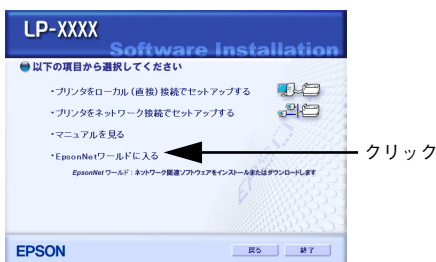
ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法

本製品に添付していないネットワークツール / ソフトウェアは以下の手順で入手してください。

参考	本文中の「EPSON プリンタソフトウェア CD- ROM」の画面は、実際の表示と異なる場合があります。

1 **コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

2 **ウィルスチェックプログラムに対処します。**

- ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] ボタンをクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を開始します。
- ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は［続ける］ボタンをクリックして次へ進みます。

3 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認して［同意する］ボタンをクリックし、[EpsonNet ワールドに入る］をクリックします。**

参考	● プリンタの機種を選択する画面が表示された場合は、本製品のモデル名をクリックしてください。 ● お使いの OS により表示される画面が多少異なります。

4 **画面の指示に従って、必要なネットワークツール / ソフトウェアをダウンロードしてください。**

ネットワークツール / ソフトウェアはエプソンのホームページからダウンロードされます。

注 意	ウィルスチェックプログラムを終了または停止した場合は、セキュリティ確保のためウィルスチェックプログラムを再開してください。

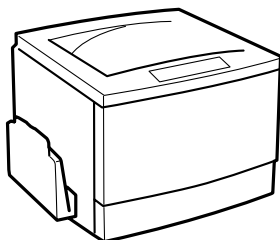
設定の前に

ネットワークプリンタの設定に不慣れな方は、この章をお読みください。ネットワークプリンタ導入作業の概要や、印刷方法などを紹介しています。

ネットワークプリンタ導入作業の流れ

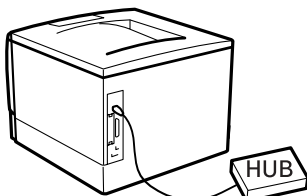
ネットワークプリンタをお使いいただくための、作業の流れを説明します。

①本製品をセットアップします

<例>

本製品に用紙・トナーカートリッジ・感光体などをセットし、印刷可能な状態にセットアップします。

☞「セットアップガイド」（紙マニュアル）

②本製品をネットワークに接続します

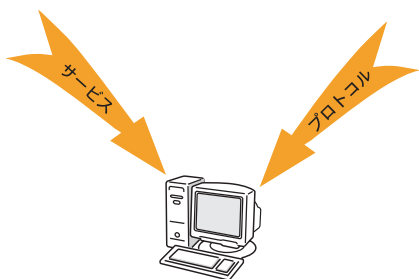
<例>

本製品と HUB を Ethernet ケーブルで接続します。

☞「セットアップガイド」（紙マニュアル）

③ネットワーク環境に応じて、印刷方法を決めます

お使いのネットワークの形態や OS に応じて、印刷方法を決めます。

☞ 19 ページ「印刷方法を決めます」

④コンピュータのネットワーク設定を確認します

本製品を利用するコンピュータのネットワーク設定を確認し、必要に応じてネットワークプロトコルなどを追加します。

23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

⑤ネットワーク設定をします

本製品に付属の設定ユーティリティを使用して、印刷方法の選択とプリンタドライバのインストール、各種アドレスまたは名称などを設定します。

41 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

印刷方法を決めます

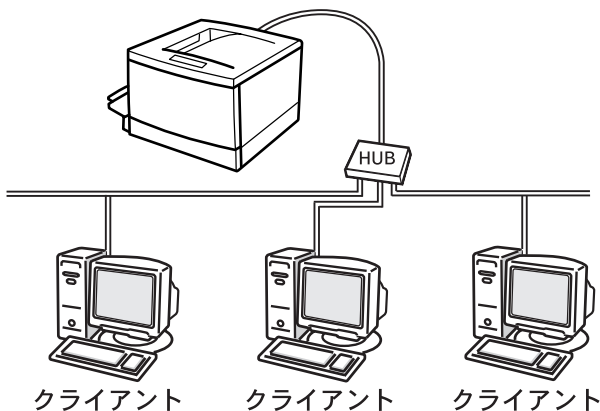
ネットワーク印刷プロトコルについてあまり詳しくない場合、またはネットワーク印刷方法をまだ決めていない場合は、次の説明を参考にして、印刷方法を決めてください。

Windows から印刷する場合

プリントサーバ（クライアントに印刷サービスを提供するコンピュータ）として稼働しているWindows NT4.0/2000/XP/Server 2003の有無、印刷を実行するコンピュータのOSなどに応じて印刷方法を決めます。

参考

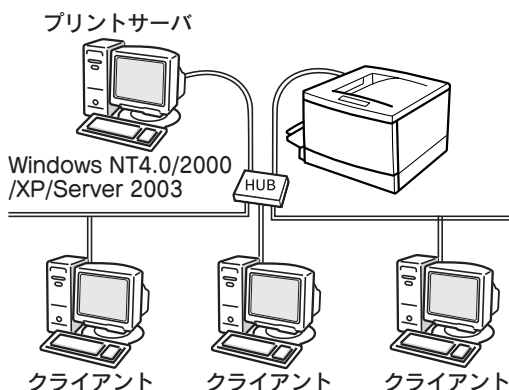
- ここでは、推奨する方法のみ紹介します。“すぐに印刷したい”という方は、お使いの環境に合わせて推奨する方法で印刷してください。
- ここで紹介しているほかにも、以下のページで説明する印刷方法があります。必要に応じてご覧ください。
  21 ページ「各印刷方法の概要と特長」

プリントサーバが設置されていない場合

印刷を実行するコンピュータのOSに応じて、次の印刷方法を推奨します。

OS	印刷方法
Windows 98 Windows Me	本製品に付属のユーティリティ「EpsonNet Print」をインストールし、TCP/IP（ティーシーピー / アイピー）での直接印刷を行います。
Windows NT4.0 Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003	Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 標準のLPR 印刷機能を使って、TCP/IPでの直接印刷を行います。

参考

- LPRはWindows NT4.0/2000/XP/Server 2003が標準で備えている印刷機能です。
- 通常使用していないコンピュータがある場合は、そのコンピュータにWindows NT4.0/2000/XP/Server 2003 をインストールし、LPR 印刷機能を使ったプリンタを共有設定することで、プリントサーバとして機能させることができます。
  この場合クライアントは、OS を問わず共有プリンタに接続することになるため、複数の OS が混在している環境でも、クライアントの印刷設定を統一することができます。

WindowsNT4.0/2000/XP/Server 2003 をプリントサーバとして設置している場合

次の印刷方法を推奨します。

- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で本製品を LPR（TCP/IP）接続し、共有設定します。
- EpsonNet Config（Windows）からネットワークインターフェイス設定をし、クライアントから上記の共有設定した本製品に印刷します。

Macintosh から印刷する場合

Macintosh の各 OS は、次のプロトコルを使用して印刷することができます。

☞ 37 ページ「Macintosh の場合」

Mac OS 9.1 以降

- AppleTalk

Mac OS X v10.2 - v10.3

- EPSON AppleTalk
- EPSON TCP/IP
- Rendezvous（Mac OS X v10.2.4 以降）

各印刷方法の概要と特長

印刷方法の概要（Windows のみ）

印刷を実行するコンピュータの OS に応じて、次の印刷方法があります。

TCP/IP での直接印刷

インターネットの標準プロトコル（言語）である TCP/IP（ティーシーピー / アイピー）を使用します。コンピュータから印刷データをプリンタに直接送る方法は、以下の二通りがあります。

LPR（エルピーアール：Line Printer Remote の略）

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 が標準で備えている印刷方法です。Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 からネットワークプリンタに印刷する場合、最も一般的な方法です。ルータを越えての利用が可能です。
Windows 98/Me には標準で備わっていませんが、本製品付属の印刷ツール「EpsonNet Print」を使用すると、LPR での印刷が可能になります。

IPP（アイピーピー：Internet Printing Protocol の略）

Windows 2000/XP/Server 2003/Me が標準で備えている印刷方法です。インターネット印刷とも呼ばれる方法で、プロキシサーバ（外部インターネットに代理接続するサーバ）を越えて印刷することができますが、同一セグメント（ルータを越えない範囲）内のプリンタに印刷する方法としては、一般的ではありません。
Windows 98/NT4.0 には標準で備わっていませんが、印刷ツール「EpsonNet Internet Print」を使用すると、IPP での印刷が可能になります。

MS Network（Microsoft ネットワークでのプリンタ共有）

Microsoft ネットワーク（ワークグループ）上にプリンタが表示されます。ワークグループを構成している場合に、候補となる方法です。
TCP/IP ではコンピュータ 1 台ずつで各種アドレスの設定が必要ですが、MS Network（エムエスネットワーク）ではその必要がないため、設定が簡単です（ただし Windows XP/Server 2003 の場合は、各種アドレスの設定が必要です）。MS Network は、同一セグメント（ルータを越えない範囲）内のプリンタに印刷する場合に利用できます。ルータを越えての利用はできません。

注 意

- Windows 2000/XP/Server 2003 で IPP 接続したプリンタは共有設定できませんので、Windows 2000/XP/Server 2003 をプリントサーバとして使う場合、IPP 接続はしないでください。
- MS Network または IPP 印刷の場合、用紙やトナー残量などの状態を確認できるユーティリティ「EPSON プリンタウィンドウ !3」は使用できませんのでご注意ください。

各印刷方法の長所と短所

各印刷方法の長所と短所は次の通りです。印刷方法を決める際の参考にしてください。

LPR（TCP/IP）

長所	● プリントサーバ（コンピュータ）が不要です（Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 では、LPR 接続したコンピュータをプリントサーバとして機能させることができます）。 ● Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 では、特別な印刷ツールは必要ありません。 ● EPSONプリンタウィンドウ !3 を使って ,用紙 / トナー残量などのプリンタの状態をコンピュータ上で確認することができます。 ● Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 では、イベントビューアを使用して印刷ログ（記録）を取ることができます。 ● ルータを越えて利用することができます。
短所	TCP/IP の設定が必要です（TCP/IP 環境では、プリンタを使う以前に必要）。Windows 98/Me では、印刷を実行するそれぞれのコンピュータに EpsonNet Print をインストールする必要があります。

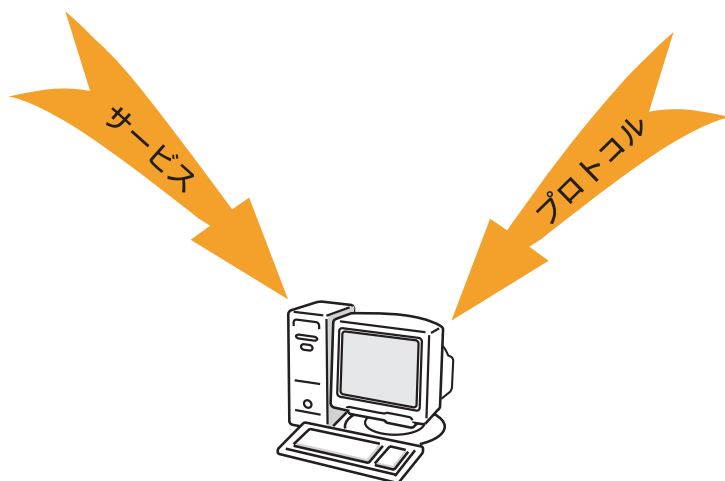
IPP（TCP/IP）

長所	● プリントサーバ（コンピュータ）が不要です。 ● プロキシサーバを越えての印刷（インターネット上のプリンタへの印刷）が可能です。
短所	● EPSON プリンタウィンドウ !3 は使用できません。 ● TCP/IP や DNS などの設定が必要です（TCP/IP 環境では、プリンタを使う以前に必要）。 ● ルータやプロキシサーバに対して、Port631 を利用可能にするための設定が必要です。 ● Windows 98/NT4.0では ,印刷を実行するコンピュータ1台1台にEpsonNet Internet Printをインストールする必要があります。 ● Windows 98/NT4.0、Windows 2000/XP/Server 2003、Windows Me で、それぞれ印刷設定が異なり 1 台 1 台に設定する手間がかかります（複数の OS が混在している環境では、設定を統一できません）。 ● Windows 2000/XP/Server 2003 で IPP 接続したプリンタは共有設定できません。

MS Network

長所	● 設定が簡単です（アドレス不要。ただし Windows XP/Server 2003 を除く）。 ● プリントサーバ（コンピュータ）が不要です。 ● 特別な印刷ツールは必要ありません。 ● 数種類の Windows 系 OS が混在している環境でも、各 OS で印刷方法をほぼ統一できます。
短所	● EPSON プリンタウィンドウ !3 は使用できません。 ● ルータを越えて利用することはできません。 ● ネットワークプリンタの検索に時間がかかり、印刷が通常よりも遅くなる場合があります。 ● Windows XP/Server 2003 の場合は、各種アドレスの設定が必要です。

コンピュータのネットワーク設定

コンピュータからネットワークインターフェイスの設定や印刷を行うには、あらかじめコンピュータでネットワークに関する各種設定を行う必要があります。ここでは、その手順を説明します。

Windows 98/Me の場合

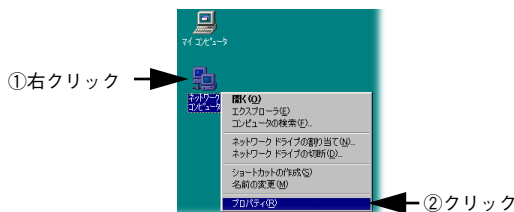
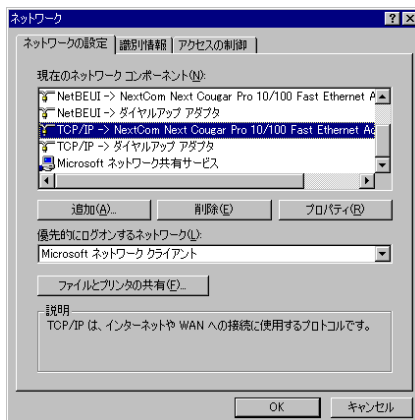
Windows 98 の画面を例に説明します。

参 考

- 設定時、Windows 98/Me の CD-ROM が必要な場合があります。
- LPR または IPP 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスをコンピュータに設定する必要があります。各種アドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。各種アドレスがわからない場合は、以下をご覧ください。

☞「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）-「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

1 ［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

Windows Me の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 次ページの表を参照し、［ネットワークの設定］画面に必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。

本製品に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスを設定する場合

設定内容	必要なコンポーネント
TCP/IP AppleTalk SNMP（IP トラップ）	TCP/IP
MS Network	NetBEUI

ネットワークプリンタに印刷する場合

印刷方法	必要なコンポーネント
LPR 印刷 IPP 印刷	• TCP/IP
Microsoft ネットワーク共有印刷	• NetBEUI • Microsoft ネットワーククライアント

必要なコンポーネントが組み込まれていた場合は、以下のページへ進んでください。
☞ 27 ページ「アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）」

コンポーネントの追加

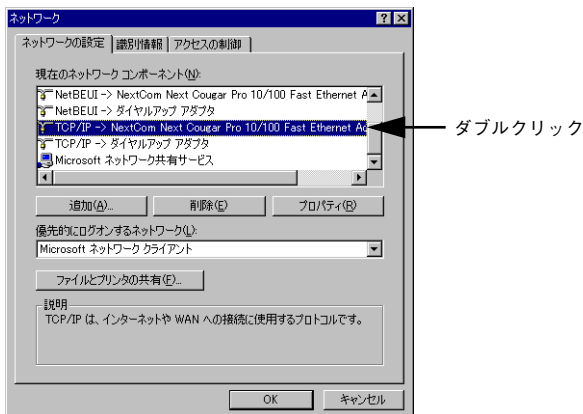
3 必要なコンポーネントが組み込まれていない場合は、[追加] ボタンをクリックします。

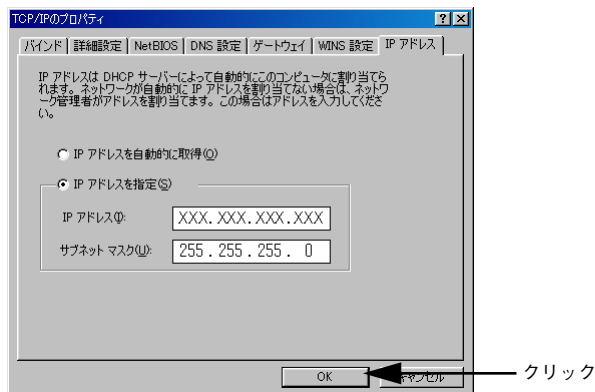
❹ 下表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。

設定内容	コンポーネントのインストール手順
TCP/IP MS Network AppleTalk SNMP（IP トラップ）	**TCP/IP ：** ①［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［TCP/IP］をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。 ③手順 ❺ に進んでアドレスを設定します。 **NetBEUI ：** ①［プロトコル］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［NetBEUI］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
LPR 印刷 IPP 印刷	①［プロトコル］を選択し、［追加］ボ タンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［TCP/IP］をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。 ③手順 ❺ に進んでアドレスを設定します。
Microsoft ネットワーク共有印刷	**NetBEUI ：** ①［プロトコル］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［NetBEUI］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 **Microsoft ネットワーククライアント：** ③［クライアント］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ④製造元で［Microsoft］、ネットワーククライアントで［Microsoft ネットワーククライアント］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。設定が終了したら、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。 ⑤この後は、手順 ❼ に進みます。

アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）

5 各種アドレスを設定します。追加した［TCP/IP］をダブルクリックします。

6 各種アドレスを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

☞ 139 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
☞「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）-「IP アドレスは何番に設定する？」

7 コンピュータを再起動してください。

これでコンピュータのネットワーク設定は終了です。次にネットワークインターフェイスを設定してください。

☞ 41 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

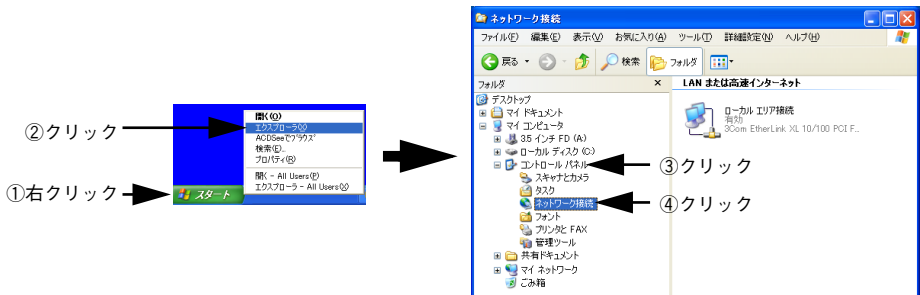
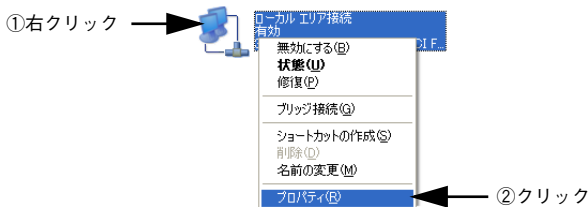
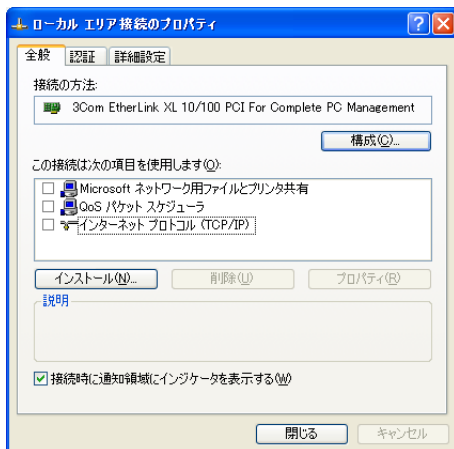
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

参 考

- 設定時、Windows 2000/XP/Server 2003のCD-ROMが必要な場合があります。
- Windows XP/Server 2003 では NetBEUI プロトコルを使用しての印刷はサポートされていませんが、Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへの印刷は可能です。この場合、TCP/IP を組み込み IP アドレスを設定しておく必要があります。
- LPR または IPP 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスをコンピュータに設定する必要があります。各種アドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。各種アドレスがわからない場合は、以下をご覧ください。

「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）-「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

1 **［スタート］ボタンを右クリックして、［エクスプローラ］をクリックし、表示された画面で［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］の順にクリックします。**

Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 **［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

3 下表を参照し、必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。

参考　コンポーネントのチェックが外れている場合は、必要なコンポーネントにチェックを付けてください。

本製品に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスを設定する場合

設定内容	必要なコンポーネント
TCP/IP AppleTalk SNMP（IP トラップ）	インターネットプロトコル（TCP/IP）
MS Network	NetBEUI プロトコル（Windows XP/Server 2003 はNetBEUI に対応していません。TCP/IP が必要です。）

ネットワークプリンタに印刷する場合

印刷方法	必要なコンポーネント
LPR 印刷 IPP 印刷	インターネットプロトコル（TCP/IP）
Microsoft ネットワーク共有印刷	• NetBEUI プロトコル（Windows XP/Server 2003 は NetBEUI に対応していません。TCP/IP が必要です。） • Microsoft ネットワーク用クライアント

- Windows XP/Server 2003 の場合は、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をインストールする必要はありません。［インターネットプロトコル（TCP/IP）］のチェックボックスにチェックを付けて、手順 6 へ進んでください。
- Windows 2000 の場合で、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］が表示されているときはチェックボックスにチェックを付けて、手順 6 へ進んでください。［インターネットプロトコル（TCP/IP）］が表示されていない場合は次の手順へ進んでください。

必要なコンポーネントが組み込まれていた場合は、以下のページへ進んでください。
☞ 32 ページ「アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）」

コンポーネントの追加

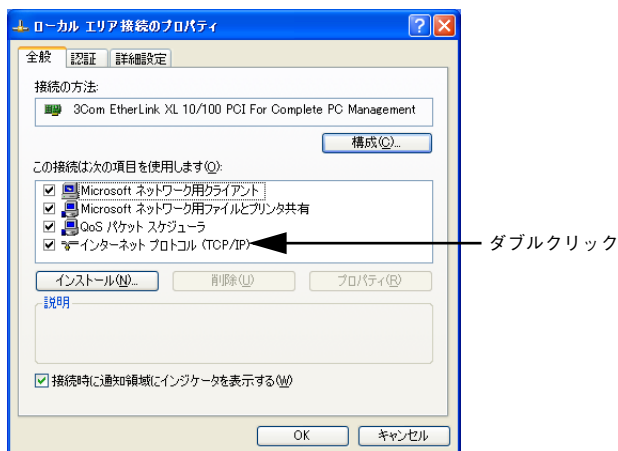
4 ［インストール］ボタンをクリックします。

5 次ページの表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。

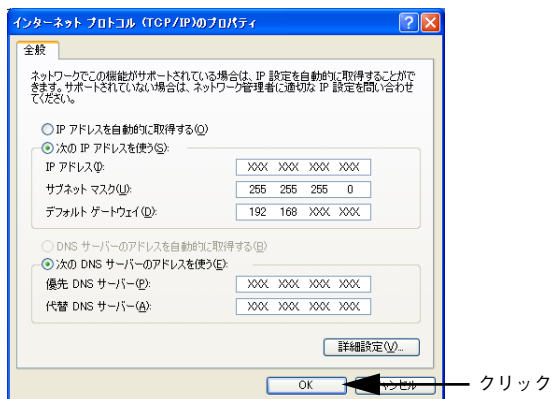
設定内容	コンポーネントのインストール手順
TCP/IP MS Network AppleTalk SNMP（IP トラップ）	**インターネットプロトコル(TCP/IP)(Windows 2000 のみ)：** ①［プロトコル］をダブルクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。 ②手順 6 に進んでアドレスを設定します。 **NetBEUI プロトコル（Windows 2000 のみ）：** ［プロトコル］をダブルクリックし、［NetBEUI プロトコル］をダブルクリックします。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
LPR 印刷 IPP 印刷	①［プロトコル］をダブルクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。 ②手順 6 に進んでアドレスを設定します。
Microsoft ネットワーク共有印刷	**NetBEUI プロトコル（Windows 2000 のみ）：** ①［プロトコル］をダブルクリックし、［NetBEUI プロトコル］をダブルクリックします。 **Microsoft ネットワーク用クライアント：** ②［クライアント］をダブルクリックし、［Microsoft ネットワーク用クライアント］をダブルクリックします。 ③インストールしたら、［OK］ボタンをクリックし、手順 8 に進みます。

アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）

6 **各種アドレスを設定します。追加した［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。**

7 **各種アドレスを設定し、［OK］ボタンをクリックします。**

☞ 139 ページ「設定する IP アドレスがわからない」

☞「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）-「IP アドレスは何番に設定する？」

8 **コンピュータを再起動してください。**

これでコンピュータのネットワーク設定は終了です。次にネットワークインターフェイスを設定してください。

☞ 41 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

Windows NT4.0 の場合

参 考

- 設定時、Windows NT4.0 の CD-ROM が必要な場合があります。
- LPR または IPP 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスをコンピュータに設定する必要があります。各種アドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。各種アドレスがわからない場合は、以下をご覧ください。

☞「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）-「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

1. ［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2. 次ページの表を参照し、必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。

本製品に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスを設定する場合

設定内容	必要なコンポーネント
TCP/IP AppleTalk SNMP（IP トラップ）	［プロトコル］画面：TCP/IP プロトコル
MS Network	［プロトコル］画面：NetBEUI プロトコル

ネットワークプリンタに印刷する場合

印刷方法	必要なコンポーネント
LPR 印刷 IPP 印刷	［プロトコル］画面：TCP/IP プロトコル ［サービス］画面：Microsoft TCP/IP 印刷
Microsoft ネットワーク共有印刷	［プロトコル］画面：NetBEUI プロトコル ［サービス］画面：ワークステーション

必要なコンポーネントが組み込まれていた場合は、以下のページへ進んでください。
☞ 36 ページ「アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）」

コンポーネントの追加

3 次ページの表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。

設定内容	コンポーネントのインストール手順
TCP/IP MS Network AppleTalk SNMP（IP トラップ）	**TCP/IP プロトコル：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［TCP/IP プロトコル］を選択して［OK］ボタンをクリックします。 ③DHCP サーバを使用しない設定で［閉じる］ボタンをクリックすると、［Microsoft TCP/IP のプロパティ］画面が開いて IP アドレスなどを設定できます。手順 4 へ進んで IP アドレスなどを設定してください。 **NetBEUI プロトコル：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［NetBEUI プロトコル］を選択して［OK］ボタンをクリックします。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
LPR 印刷 IPP 印刷	**TCP/IP プロトコル：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［TCP/IP プロトコル］を選択して［OK］ボタンをクリックします。 ③DHCP サーバを使用しない設定で［閉じる］ボタンをクリックすると、［Microsoft TCP/IP のプロパティ］画面が開いて IP アドレスなどを設定できます。手順 4 へ進んで IP アドレスなどを設定してください。 **Microsoft TCP/IP 印刷：** ④［サービス］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ⑤［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択して［OK］ボタンをクリックします。
Microsoft ネットワーク共有印刷	**NetBEUI プロトコル：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［NetBEUI プロトコル］を選択して［OK］ボタンをクリックします。 **ワークステーション：** ③［サービス］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ④［ワークステーション］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）

4 ［IP アドレス］タブで各種アドレスを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

☞ 139 ページ「設定する IP アドレスがわからない」

☞「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）-「IP アドレスは何番に設定する？」

5 コンピュータを再起動してください。

これでコンピュータのネットワーク設定は終了です。次にネットワークインターフェイスを設定してください。

☞ 41 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

Macintosh の場合

Macinsoth の場合、Mac OS のバージョンによって利用できるプロトコル、および設定方法が異なりますので、ご利用の Mac OS のバージョンをご確認の上、設定してください。

参 考 Mac OS 9 での印刷は、[AppleTalk] 印刷のみとなります。

Mac OS 9 の場合

AppleTalk の設定

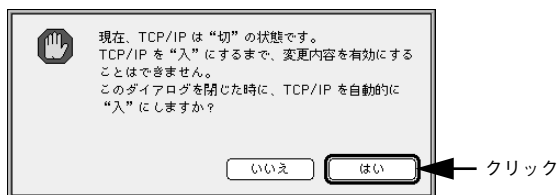
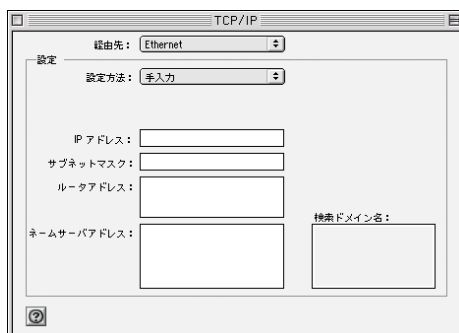
1. [コントロールパネル] - [AppleTalk] を選択します。

2. [経由先：] ドロップダウンリストから [Ethernet] を選択します。
[AppleTalk] 印刷をする場合や EpsonNet Config（Mac OS 9）でネットワークインターフェイスを設定するには、上記の設定だけでご利用いただけます。次にネットワークインターフェイスを設定してください。
☞ 41 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

参 考

- [アップル] メニュー にある [セレクタ] の [AppleTalk] が [切] になっていると、[入] にするようメッセージが表示されます。このときは [はい] をクリックして、AppleTalk を [入] にしてください。
- EpsonNet Config（Web） または EpsonNet WebManager を使用したい場合は、コンピュータに IP アドレス等を設定してください。
☞ 38 ページ「Open Transport 使用時の IP アドレス設定手順」
- EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）、EpsonNet Config（Web）、EpsonNet WebManager については、以下のページをご覧ください。
☞ 44 ページ「EpsonNet Config のインストールと起動」
☞ 122 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」
☞ 149 ページ「ネットワーク管理ツールのご案内」

Open Transport 使用時の IP アドレス設定手順

1. ［コントロールパネル］-［TCP/IP］を選択します。このとき、次の画面が表示されたら［はい］ボタンをクリックしてください。

2. ［経由先：］ドロップダウンリストから［Ethernet］を選択します。［設定方法：］や、設定値についてはネットワーク管理者に確認してください。
139 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）-「IP アドレスは何番に設定する？」

設定が終了したら、本製品のネットワーク設定をしてください。
41 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

Mac OS X の場合

Mac OS X では、以下のプロトコルを使用した印刷が可能です。

- EPSON AppleTalk：Mac OS X v10.2 以降で使用できます。
- EPSON TCP/IP：Mac OS X v10.2 以降で使用できます。
- Rendezvous：Mac OS X v10.2.4 以降で使用できます。

参考

- プロトコルの設定を行うには管理者の権限を持つユーザーでログインする必要があります。
- EpsonNet Config（Web）、EpsonNet WebManager を使うには、コンピュータとネットワークインターフェイスに、それぞれ IP アドレスなどの設定が必要です。
40 ページ「TCP/IP の設定」

AppleTalk の設定

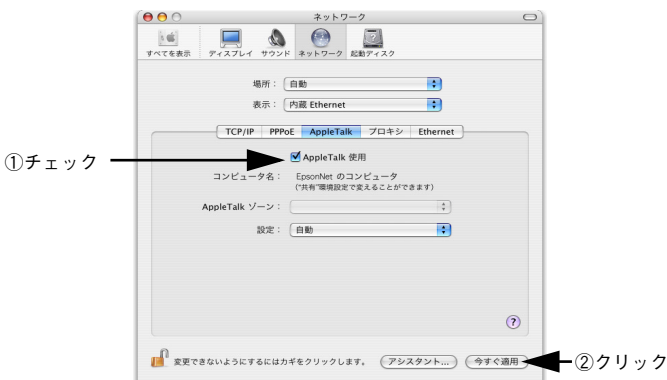
EPSON AppleTalk で印刷するときには、この設定を行ってください。

1 ［システム環境設定］の［ネットワーク］-［AppleTalk］タブをクリックします。

参考

［AppleTalk］タブが見当たらない場合、［場所：］が［自動］になっていることを確認し、［ネットワーク］画面の［表示：］ドロップダウンリストで［内蔵 Ethernet］が選択されているかを確認してください。
なお、ドロップダウンリストの項目は、OS のバージョンによって異なる場合がございます。

2 ［AppleTalk］タブで［AppleTalk 使用］にチェックを付け、［今すぐ適用］ボタンをクリックします。

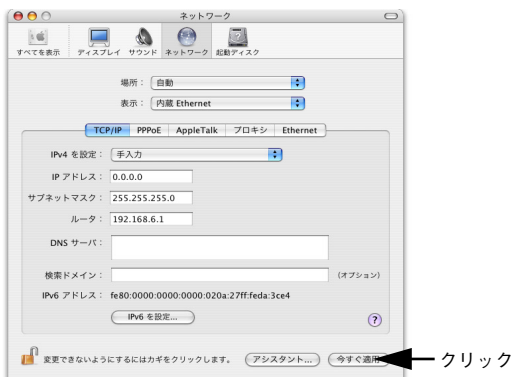
［AppleTalk］印刷をする場合や EpsonNet Config（Mac OS X）でネットワークインターフェイス を設定するには、上記の設定だけでご利用いただけます。［EPSON TCP/IP］で印刷をしない場合は、以下のページへ進んでください。
41 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

TCP/IP の設定

1. ［システム環境設定］の［ネットワーク］をクリックします。

参 考	［ネットワーク］画面の［表示：］ドロップダウンリストで［内蔵 Ethernet］が選択されているかを確認してください。

2. ［TCP/IP］タブで必要事項を設定します。設定終了後、［今すぐ適用］ボタンをクリックします。

☞ 139 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
☞「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）-「IP アドレスは何番に設定する？」

参 考	• ［設定：］または［IPv4 を設定：］ドロップダウンリストで［手入力］が選択されているかを確認してください。 • ［設定：］または［IPv4 を設定：］と、各設定値についてはネットワーク管理者に確認してください。

Rendezvous 機能について

Rendezvous を使用して印刷する場合、Macintosh は DHCP または APIPA などで IP アドレスを取得する必要があります（上記「TCP/IP の設定」を参照）。

参 考	Rendezvous で印刷するには、本製品の操作パネルまたは本製品に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスの「Rendezvous 機能」を有効にする必要があります。 詳細については、EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）のヘルプまたは以下のページをご覧ください。 ☞131 ページ「Rendezvous の設定」 操作パネルからの設定方法については、「ユーザーズガイド」（PDF）をご覧ください。

ネットワークインターフェイスの設定

コンピュータのプロトコルを設定したら、ネットワークインターフェイスの設定をします。
ここではユーティリティを使っての設定方法を説明します。

設定方法の概要

本製品に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスの各種設定を行い、本製品をネットワークプリンタとして印刷可能な状態にセットアップします。

Windows から設定する場合

本製品に付属のユーティリティ「EpsonNet Config（Windows）」をお使いください。
☞ 44 ページ「EpsonNet Config（Windows）」
EpsonNet Config（Windows）では、TCP/IP・MS Network・AppleTalk・SNMP などの設定ができます。

Macintosh から設定する場合

本製品に付属のユーティリティ「EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）」をお使いください。
☞ 47 ページ「EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）」
EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）では、AppleTalk・TCP/IP・SNMP などの設定ができます。

参考

- 本製品の操作パネルでネットワークインターフェイスの TCP/IP 設定ができます。操作パネルからの設定方法については、「ユーザーズガイド」（PDF）をご覧ください。
- Windows をお使いの場合、IP アドレスは ARP/PING コマンドで設定することもできます。
  ☞ 160 ページ「ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定」
  ただし、ARP/PING コマンドでは IP アドレスしか設定できません。サブネットマスクやゲートウェイアドレスを設定する場合は、EpsonNet Config（Windows）を使用してください。

動作環境

EpsonNet Config（Windows）/（MacOS 9 および Mac OS X）は、次の環境で動作します。

システム条件

次の条件をすべて満たす必要があります。

- 下記の OS が動作する環境
- IBM PC/AT 互換機、PC9801 シリーズまたは Apple 社 Macintosh シリーズ
- ハードディスクの空き容量：15MB 以上
- 画面表示：SVGA （800 × 600）以上

対象 OS

- Windows 98/Me
- Windows NT4.0 Server/Workstation（サービスパック 5 以上）
- Windows 2000 Server/Professional
- Windows XP Home Edition/Professional
- Windows Server 2003
- Mac OS 9.1 以降
- Mac OS X v10.2 以降

本製品のネットワークインターフェイスの設定には、必ず本製品に付属の EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）をお使いください。

EpsonNet Config のインストールと起動

EpsonNet Config（Windows）

EpsonNet Config（Windows）のインストールと起動方法を説明します。

参 考
- Windows 2000/XP/Server 2003 に EpsonNet Config（Windows）をインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンする必要があります。
- 本文中の「EPSON プリンタソフトウェア CD- ROM」の画面は、実際の表示と異なる場合があります。

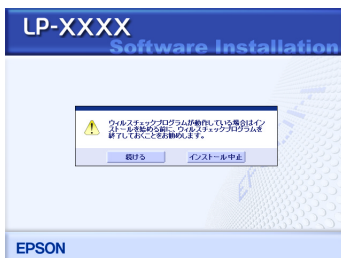
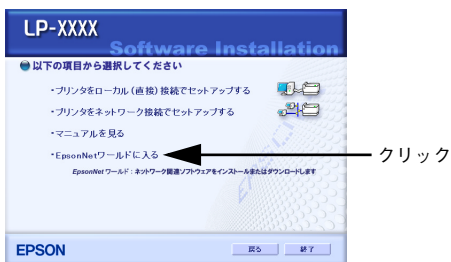
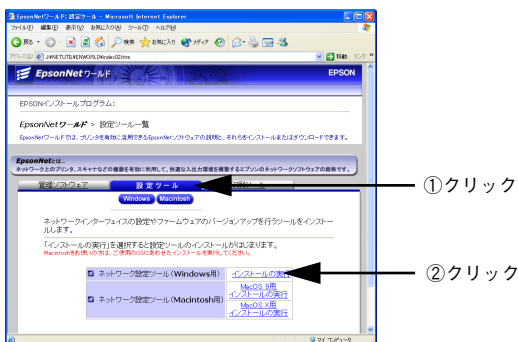
インストール

1 コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

2 ウィルスチェックプログラムに対処します。
- ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］ボタンをクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を開始します。
- ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は［続ける］ボタンをクリックして次へ進みます。

参 考
画面が自動的に表示されないときや［インストール中止］ボタンをクリックした後に作業を再開したいときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

3 使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。

参 考
プリンタの機種を選択する画面が表示された場合は、本製品のモデル名をクリックしてください。

4 ［EpsonNet ワールドに入る］をクリックします。

5 ［設定ツール］タブをクリックし、［ネットワーク設定ツール（Windows 用）］の［インストールの実行］をクリックします。

参考 お使いのコンピュータによっては［ファイルのダウンロード - セキュリティの警告］ダイアログが表示されることがあります。ダイアログが表示されたときは以下の手順に従ってください。
①［実行］ボタンをクリックします。
②表示された画面で［実行する］ボタンをクリックします。

6 この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

7 設定に必要なプロトコルが、お使いのコンピュータに組み込まれているか確認してください。

☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

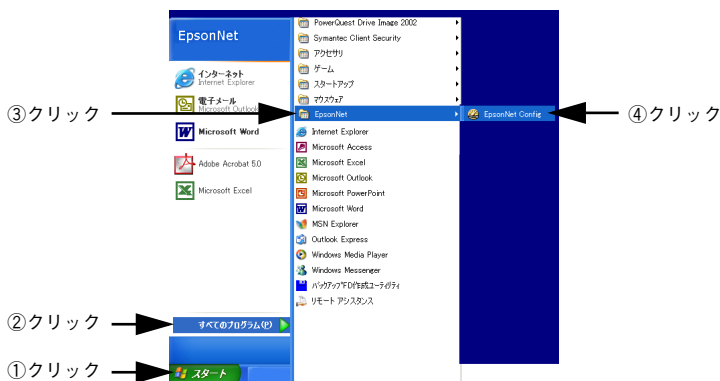
注意 ウィルスチェックプログラムを終了または停止した場合は、セキュリティ確保のためウィルスチェックプログラムを再開してください。

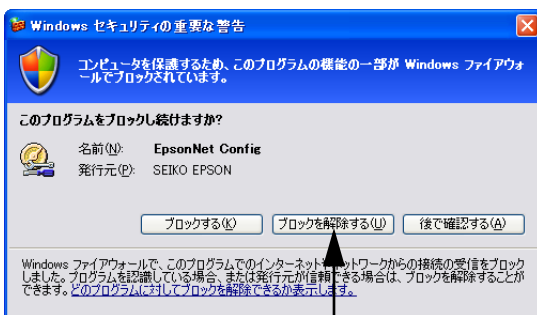
起動

8. **本製品の電源がオンになっていることを確認してください。**

9. **［スタート］ボタン -［すべてのプログラム］-［EpsonNet］-［EpsonNet Config］の順にクリックして起動します。**

Windows 98/Me/NT4.0 の場合は、［スタート］ボタン -［プログラム］-［EpsonNet］-［EpsonNet Config］の順にクリックします。

参考

以下の画面が表示されたときは、［ブロックを解除する］ボタンをクリックしてください。［ブロックする］ボタンをクリックしたときは、EpsonNet Config（Windows）を Windows ファイアウォールに登録してください。

☞166 ページ「Windows ファイアウォールの例外アプリケーションへの登録方法」

以下のページに進んで、ネットワークインターフェイスの設定をしてください。

☞ 50 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）

EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）のインストールと起動方法を説明します。

参考

- Mac OS 9 と Mac OS X では、それぞれインストールする EpsonNet Config が異なります。各 Mac OS 用の EpsonNet Config をインストールしてください。
- Mac OS X に EpsonNet Config（MacOS X）をインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログインする必要があります。
- Mac OS X 独自のファイルフォーマット「UNIX ファイルシステム」には対応していません。
- 本文中の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」の画面は、実際の画面と異なる場合があります。

インストール

1 コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、デスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

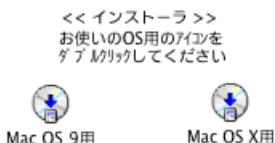
Mac OS 9.1 以降の場合は、コンピュータに CD-ROM をセットして次へ進みます。

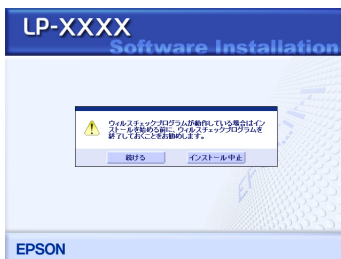
2 ［Mac OS X 用］アイコンをダブルクリックします。

Mac OS 9.1 以降の場合は、［Mac OS 9 用］アイコンをダブルクリックします。

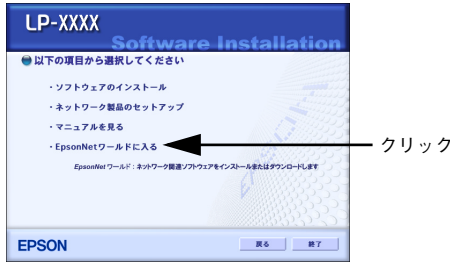
<< インストーラ >>
お使いのOS用のアイコンを
ダブルクリックしてください

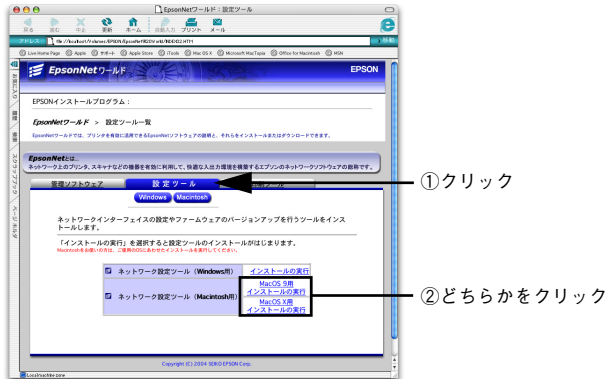
Mac OS 9用

Mac OS X用

3 ウィルスチェックプログラムに対処します。

- ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］ボタンをクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を開始します。
- ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は［続ける］ボタンをクリックして次へ進みます。

4 使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。

参 考　プリンタの機種を選択する画面が表示された場合は、本製品のモデル名をクリックしてください。

5 ［EpsonNet ワールドに入る］をクリックします。

6 ［設定ツール］タブをクリックし、［ネットワーク設定ツール（Macintosh 用）］の［Mac OS X 用インストールの実行］をクリックします。

Mac OS 9.1 以降の場合は、［設定ツール］タブをクリックし、［ネットワーク設定ツール（Macintosh 用）］の［Mac OS 9 用インストールの実行］をクリックします。

7 この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

インストール終了後は、［再起動］ボタンをクリックします。

注 意　ウィルスチェックプログラムを終了または停止した場合は、セキュリティ確保のためウィルスチェックプログラムを再開してください。

起動

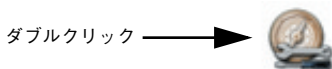
8. **本製品の電源がオンになっていることを確認してください。**

9. **［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックした後、［アプリケーション］フォルダをダブルクリックします。**
Mac OS 9.1 以降の場合は、［Applications（Mac OS 9）］フォルダをダブルクリックします。

参 考	［Macintosh HD］の名前を変更しているときは、Mac OS を起動しているハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

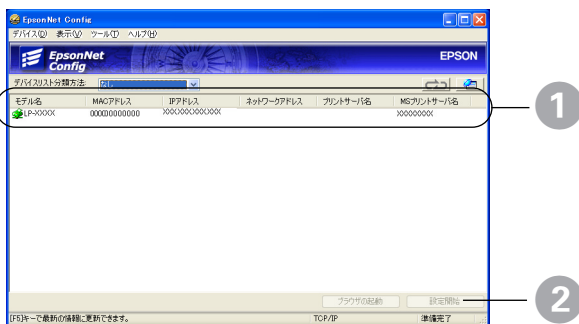
10. **［EpsonNet］フォルダをダブルクリックします。**

11. **［EpsonNet Config］フォルダをダブルクリックします。**

12. **［EpsonNet Config］アイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。**

以下のページに進んで、ネットワークインターフェイスの設定をしてください。
☞ 50 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

ネットワークインターフェイス設定

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）を使って、ネットワークインターフェイスを設定します。EpsonNet Config（Windows）の画面を例に説明します。EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）の場合も手順は同様です。

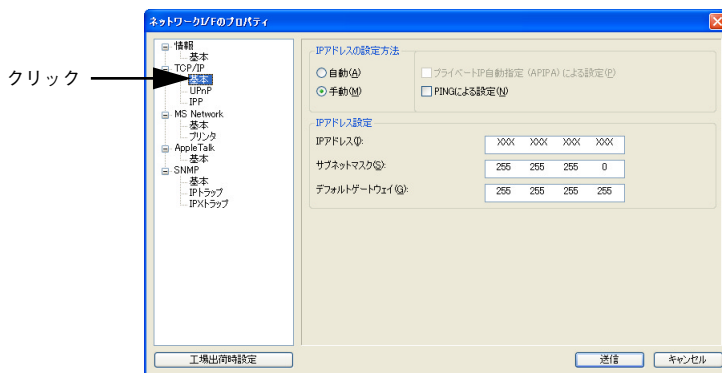
参考　EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）で表示される画面や設定できる項目は、お使いの機種と異なる場合があります。

1. 画面のリストで、本製品のモデル名をクリックして選択します。

参考
- ネットワークインターフェイスの IP アドレスが工場出荷時設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。この場合は、MAC アドレスで判別します。MAC アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
  ☞153 ページ「ネットワークステータスシート」
- 本製品が複数台ある場合は、MAC アドレスで判別します。
  MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。
  ☞153 ページ「ネットワークステータスシート」
- お使いのコンピュータのローカルネットワーク外に本製品がある場合は、[ツール] メニューの [オプション] - [探索方法] で設定すると、表示されます。
- IP アドレスが初期値以外に設定されている場合、[ブラウザの起動] ボタンをクリックすると、EpsonNet Config（Web）が起動します。
  ☞122 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」
- お使いの Macintosh が所属するゾーンの外に本製品がある場合は、[ツール] メニューの [オプション] - [探索方法] で設定すると表示されます。

2. [設定開始] ボタンをクリックします。

参考
- ここでは、TCP/IP 情報を設定する場合を例に説明します。
- Windows XP/Server 2003 で Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへ印刷する場合も、TCP/IP 情報を設定してください。

3 ［TCP/IP］-［基本］をクリックします。

次の画面が表示されます。

4 ［IP アドレスの設定方法］項目で、［自動］または［手動］を選択します。初期値では［手動］が選択されています。

設定項目	設定内容
自動	DHCP またはBOOTP サーバから IP アドレスを自動取得する場合に、選択します。デバイスの電源を入れるたびにネットワークインターフェイスに割り振られる IP アドレスが変更されます。 DHCP または BOOTP サーバのない環境では使用できません。設定に関しては各サーバの取扱説明書をご覧ください。
手動	［IP アドレス設定］項目でIP アドレスを設定する場合に選択します。

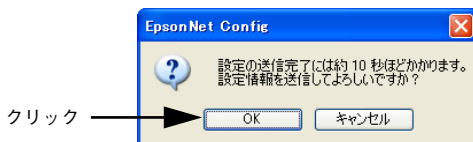
注意

- ［自動］を選択すると、本製品の電源を入れるたびにプリンタドライバ上でプリンタポートの設定を変更する必要があります。そのため、TCP/IP 印刷する場合は［手動］を選択して IP アドレスを設定することをお勧めします。［自動］を選択する場合は、本製品を含む各プリンタの電源を入れる順番を決めておくか、電源を常時入れておくと、ポートを変更する必要はありません。
- ダイヤルアップ環境でお使いの場合は、以下のページにある注意をご覧の上、設定してください。
  55 ページ「ダイヤルアップルータ使用時の注意」
- 工場出荷時、IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

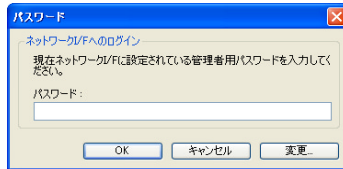
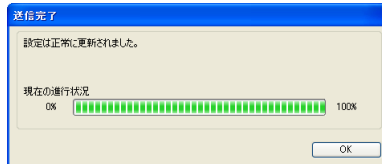
5 ［IP アドレスの設定方法］、［IP アドレス設定］項目で、PINGによる設定や各種アドレスを設定します。

設定項目	設定内容
プライベート IP 自動指定（APIPA）による設定	このチェックボックスがチェックされていると、DHCP サーバが存在しない場合や応答がないときに、IP アドレスが APIPA （Automatic Private IP Addressing）によって自動設定されます。169.254.0.1 ～ 169.254.255.254 の範囲で設定されます。 IP アドレスの設定方法が手動の場合、この項目はグレー表示され設定できません。
PINGによる設定	IP アドレスを ARP/PING コマンドから設定する場合にチェックを付けてください。 EpsonNet WebManager を使う場合は、本項目のチェックを外してください。
IP アドレス	ネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力します。IP アドレスが分からない場合は以下のページをご覧ください。 139 ページ「設定する IP アドレスがわからない」 ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。 初期値は［192.168.192.168］ですが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。このIP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は［255.255.255.0］です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は［255.255.255.255］です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

6 手順 4 ～ 5 の設定をしたら、［送信］ボタンをクリックします。

7 表示された画面で［OK］ボタンをクリックします。

8 ［パスワード］画面が表示されます。

> **参考** 工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

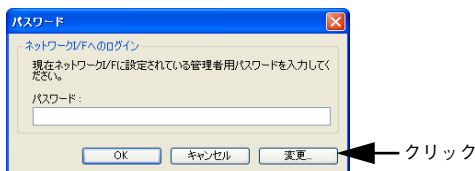
- パスワードを設定していない場合は、何も入力せずに［OK］ボタンをクリックしてください。設定情報が送信されます。
- パスワードを設定する場合は、次ページをご覧ください。
- パスワードをすでに設定している場合は、［パスワード］欄にパスワードを入力して［OK］ボタンをクリックしてください。

> **注意** 次の画面で「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークインターフェイスに情報を送っていますので、本製品の電源を切ったり、印刷データを送信したりしないでください。

9 **設定が有効になるまで最大で約3分かかりますので、その間は本製品の電源を切らないでください。3分ほどしたら、［表示］メニューの［最新の情報に更新］をクリックして、設定値を確認してください。**

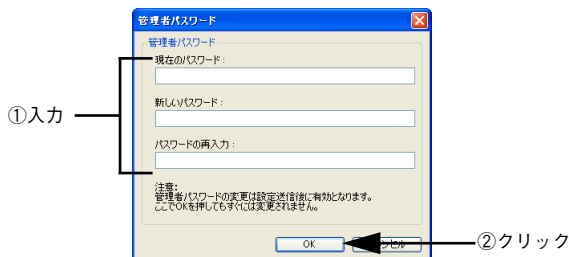
これでネットワークインターフェイスの設定は終了です。

> **参考** 各設定画面とメニューバーの詳細説明については、各 EpsonNet Config のヘルプをご覧ください。

パスワードについて

パスワードは、ネットワークインターフェイスの設定を保護するためのものです。［ネットワーク I/F のプロパティ］画面で［送信］ボタンをクリックしたり、［工場出荷時設定］ボタンをクリックすると［パスワード］画面が表示されます。

1 **初めてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、［変更］ボタンをクリックします。**

2 **［変更］ボタンをクリックすると以下の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数 20 文字以内で入力して、［OK］ボタンをクリックします。**

大文字・小文字は区別されます。

参 考

- パスワードを設定していない場合は、［現在のパスワード］欄に入力する必要はありません。
- パスワードは、EpsonNet Config（Windows）/（MacOS 9 および Mac OS X）と EpsonNet Config（Web）で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワークインターフェイスを工場出荷時の設定に戻す必要があります。
  ☞ 156 ページ「ネットワークインターフェイスの工場出荷時への戻し方」

3 **前ページの手順 ⑧ に戻り、［OK］ボタンをクリックします。**

新しいパスワードは、［OK］ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。

ダイヤルアップルータ使用時の注意

ここでは、ダイヤルアップルータを使用・設定する場合の注意点を説明します。

DHCP 機能使用時の注意

DHCP 機能をお使いの場合、DHCP 機能でネットワークインターフェイスに IP アドレスを設定すると、本製品の電源を入れるたびにプリンタポートの設定を変更しなければなりません。
そこで、ネットワークインターフェイスには次のいずれかの方法で固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

方法 1：

ネットワークインターフェイスに、スコープ（クライアントに割り当てる IP アドレスの範囲）の範囲外である IP アドレスを手動で設定する。
IP アドレスの設定は、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）と EpsonNet Config（Web）で行えます。
☞ 44 ページ「EpsonNet Config のインストールと起動」
☞ 122 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

参 考	本製品の操作パネルからも IP アドレスを設定することができます。設定方法については「ユーザーズガイド」（PDF）をご覧ください。

方法 2：

ダイヤルアップルータ DHCP 機能のバインドを使用して、ネットワークインターフェイスを特定する。

方法 3：

ダイヤルアップルータ DHCP 機能の除外アドレスを設定する。

参 考

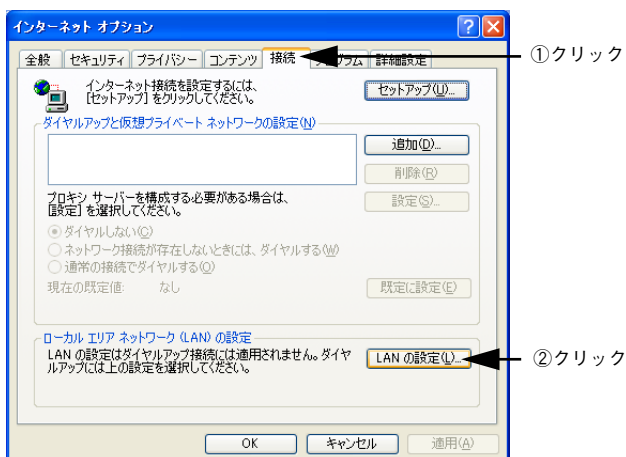
- Microsoft ネットワーク共有印刷の場合は、上記のような設定が不要のため、簡単な設定で印刷できます。
- DHCP 機能のスコープ範囲、バインド、除外アドレス設定方法などはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。
- ダイヤルアップルータをご使用の環境に設置する場合、ネットワークインターフェイスには必ずそのセグメントの設定にあったIPアドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われてしまう可能性があります。

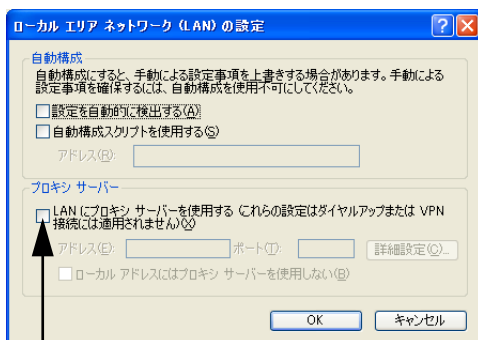
Web ブラウザの設定に関する注意

Web ブラウザでプロキシサーバーを使用する設定にしていると、EpsonNet Config（Web）を使用できません。EpsonNet Config（Web）を使う場合は、以下の手順に従ってプロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
ここでは Windows XP 版の Internet Explorer 6.0 を例に説明します。

1. **Internet Explorer を起動します。**

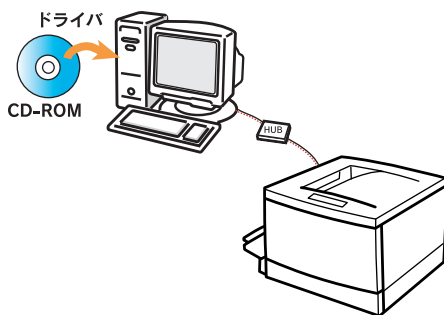
2. **［ツール］メニューの［インターネットオプション］をクリックします。**
   Internet Explorer 4.0 の場合は、［表示］メニューの［インターネットオプション］をクリックします。

3. **［接続］タブをクリックして、［LAN の設定］ボタンをクリックします。**
   Internet Explorer 4.0 の場合は、［接続］タブをクリックしたら手順 4 へ進みます。

4 **[LAN にプロキシサーバーを使用する]のチェックボックスにチェックが付いている場合はチェックを外します。**

Internet Explorer 5.x の場合は、[プロキシサーバーを使用する] のチェックボックスのチェックが付いている場合はチェックを外します。
Internet Explorer 4.0 の場合は、[プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス] のチェックボックスのチェックが付いている場合はチェックを外します。

プリンタドライバのインストール

ネットワークに接続した本製品に印刷するには、プリンタドライバのインストールとポートなどの設定が必要です。ここではインストールと設定の手順をご利用の OS 別に説明します。

Windows の場合、プリンタドライバを自動配信する機能を利用すると、プリンタドライバのインストール作業を簡略化することができます。詳細は以下のページをご覧ください。

147 ページ「プリンタドライバの自動インストール」

Windows 98/Me の場合

印刷方法に応じて以下のページを参照し、プリンタドライバをセットアップしてください。

☞ 60 ページ「LPR 印刷の場合」
☞ 60 ページ「IPP 印刷の場合（Windows 98）」
☞ 61 ページ「IPP 印刷の場合（Windows Me）」
☞ 63 ページ「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合」

LPR 印刷の場合

Windows 98/Me は TCP/IP での LPR 印刷システムを持たないため、標準での TCP/IP 印刷はできませんが、本製品付属のユーティリティ EpsonNet Print を使って、本製品への TCP/IP（LPR）直接印刷ができます。
この場合は EpsonNet Print をインストールしてから、プリンタドライバをインストールします。以下のページをご覧ください。

☞ 92 ページ「EpsonNet Print の使い方」

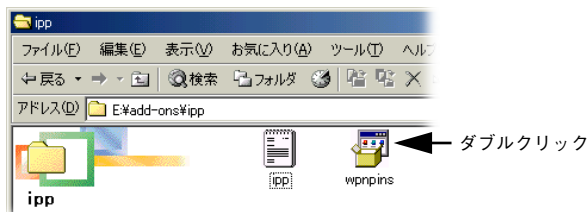
IPP 印刷の場合（Windows 98）

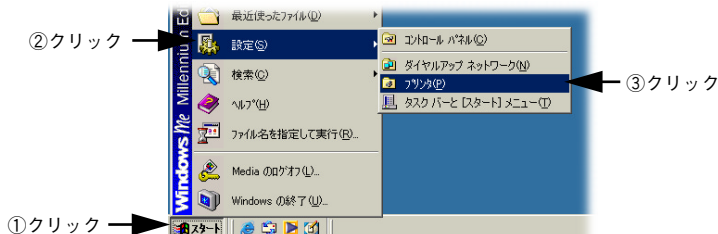
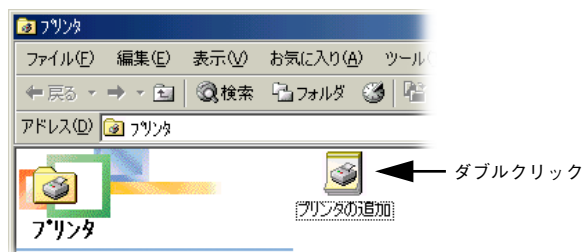
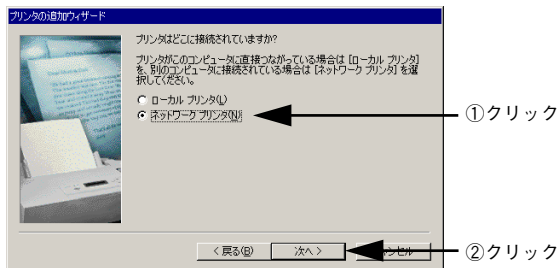
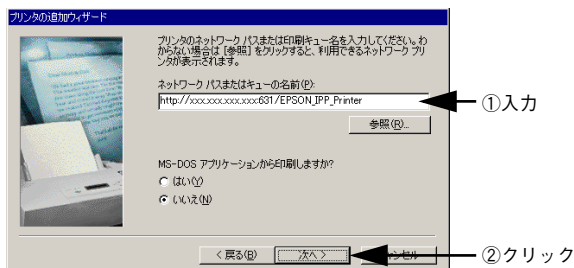
Windows 98 で IPP 印刷するには、IPP 直接印刷ツール「EpsonNet Internet Print」をエプソンのホームページからダウンロードする必要があります。
以下のページをご覧ください。

☞ 11 ページ「EpsonNet ソフトウェアのご案内」

IPP 印刷の場合（Windows Me）

IPP クライアントのインストール

1. コンピュータに、Windows Me の CD- ROM をセットします。
2. CD-ROM ドライブにある［add- ons］-［ipp］フォルダの［wpnpins］をダブルクリックします。後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

プリンタの追加

1. ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、画面が表示されたら［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［ネットワークパスまたはキューの名前］に次の書式で入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

書式）http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer

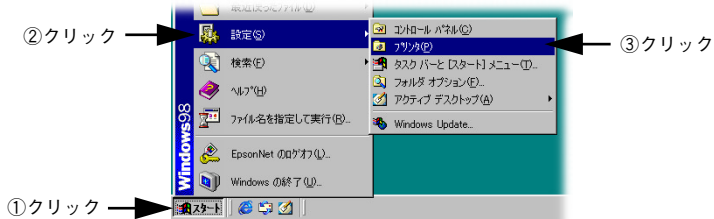
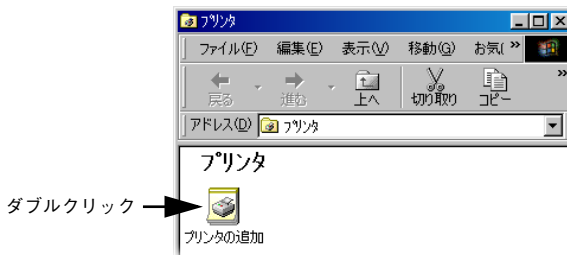
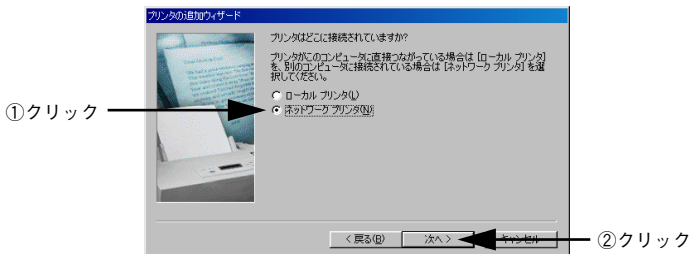
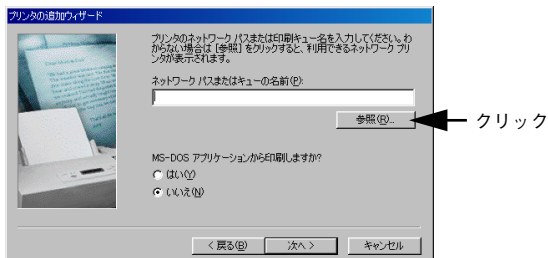
参 考	上記の EPSON_IPP_Printer は初期値です。ネットワークインターフェイスの設定値は、ネットワークステータスシートで確認できます。 ☞153 ページ「ネットワークステータスシートの印刷」

5 この後は以下のページに進んでください。

☞ 65 ページ「プリンタドライバのインストール」

Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合

Windows 98 の画面を例に説明します。

1. ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、画面が表示されたら［次へ］ボタンをクリックします。

3. ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4. ［参照］ボタンをクリックします。

5 表示されるリストから本製品を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

参考

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で共有されている場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷する場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、［キャンセル］ボタンをクリックし、手順 4 の画面で次のように入力します。
  ¥¥（ネットワークインターフェイス のプリントサーバ名）¥（ネットワークインターフェイス の共有名）
  これらの名前は、ネットワークステータスシートで確認できます。
  153 ページ「ネットワークステータスシートの印刷」

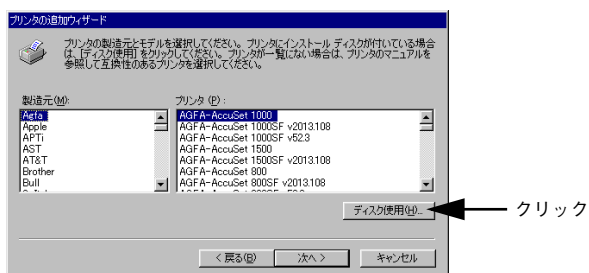
6 ［プリンタの追加ウィザード］画面が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックします。

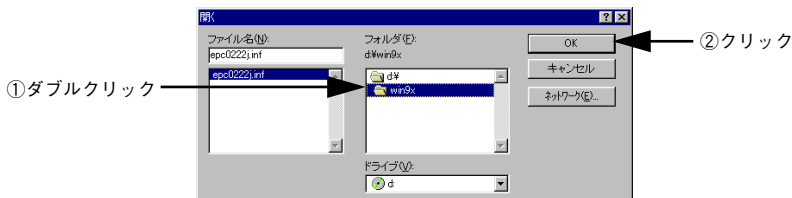
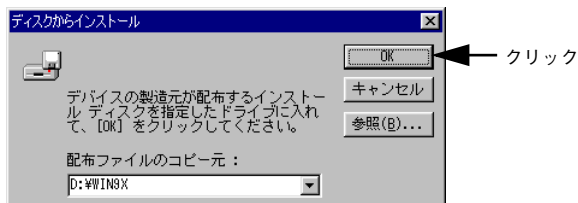
7 この後は以下のページに進んでください。
65 ページ「プリンタドライバのインストール」

プリンタドライバのインストール

1. コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

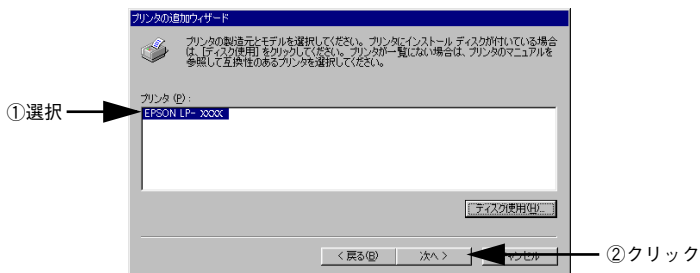
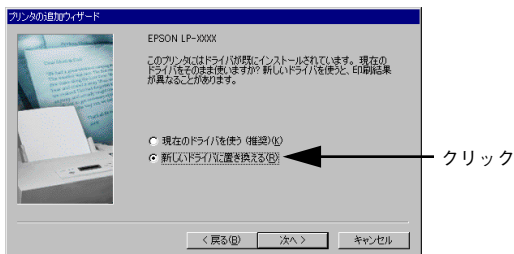
2. 画面が表示されたら、［インストール中止］ボタンをクリックして画面を閉じてください。

3. ［プリンタの追加ウィザード］画面で［ディスク使用］ボタンをクリックします。

4. ［ディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］ボタンをクリックします。

5. CD-ROM ドライブ内のお使いの OS 名のフォルダをダブルクリックし、［OK］ボタンをクリックします。

6. ［ディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。

7 **プリンタの一覧から本製品を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

参 考

下の画面が表示された場合は、必ず［新しいドライバに置き換える］を選択してください。

プリンタの追加ウィザード
EPSON LP-XXXX
このプリンタにはドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか? 新しいドライバを使うと、印刷結果が異なることがあります。
現在のドライバを使う (推奨)(K)
新しいドライバに置き換える(R)
クリック
< 戻る(B)　次へ >　キャンセル

8 **［完了］ボタンをクリックします。**

この後は、画面の指示に従ってセットアップを進めてください。
これでインストールは終了です。
Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷をする場合は、以下のページに進んでください。
☞ 67 ページ「NET USE コマンドの実行」

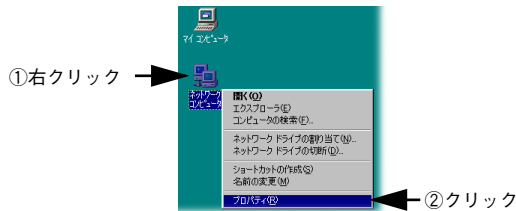
参 考

Windows Me 標準の IPP 印刷では、印刷実行時に本製品でエラーが発生している場合、印刷されないことがあります。この場合は、エラー原因を取り除いてから再度印刷してください。

NET USE コマンドの実行

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で、MS Network を使って接続する場合は、NET USE コマンドを実行することをお勧めします。

サービスの確認

1. **［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**
   Windows Me の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2. **表示された画面で、［Microsoft ネットワーククライアント］があることを確認します。**
   ［Microsoft ネットワーククライアント］がない場合は、［追加］ボタンをクリックして追加してください。

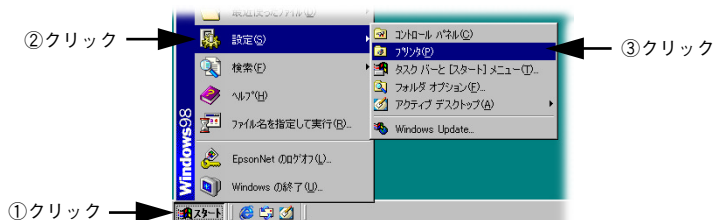
コマンド実行

3. **コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。**
   書式） NET_USE_ プリンタポート :_¥¥ ネットワークインターフェイスのプリントサーバ名
   ¥ ネットワークインターフェイスの共有名（_ は半角スペース）
   例） LPT1 に設定する場合
   C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

   この後は以下のページに進んでください。
   ☞ 68 ページ「ポートの確認（MS Network）」

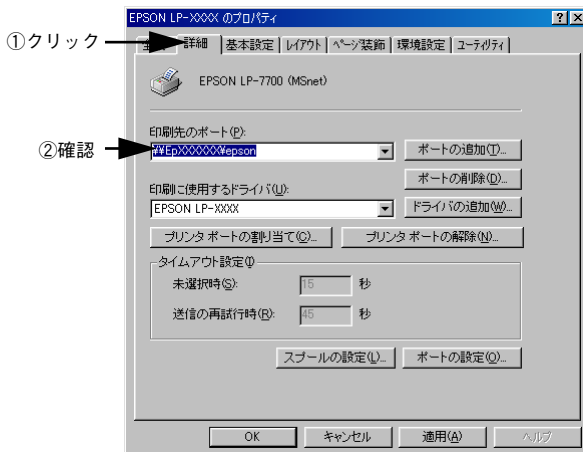
ポートの確認（MS Network）

この操作は、Windows NT4.0/2000/XP/Sever 2003 でお使いの場合にのみ行ってください。

1 ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 本製品のプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］タブをクリックして、［印刷先のポート］を確認します。

ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。

67 ページ「NET USE コマンドの実行」

以上で設定は終了です。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

印刷方法に応じて以下のページを参照し、プリンタドライバをセットアップしてください。

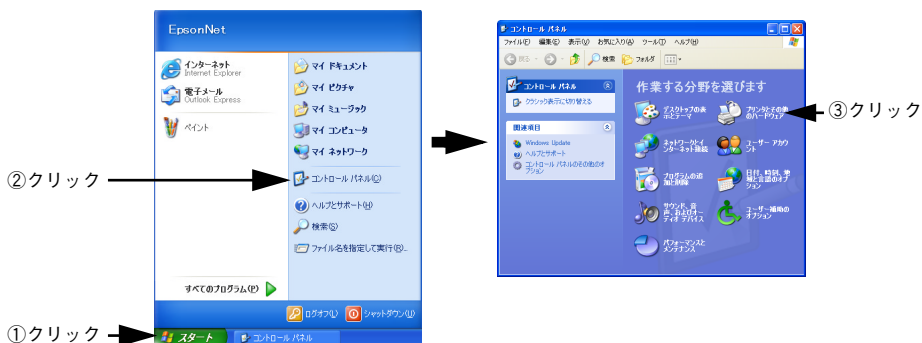
☞ 69 ページ「LPR 印刷の場合」
☞ 72 ページ「IPP 印刷の場合」
☞ 74 ページ「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合」

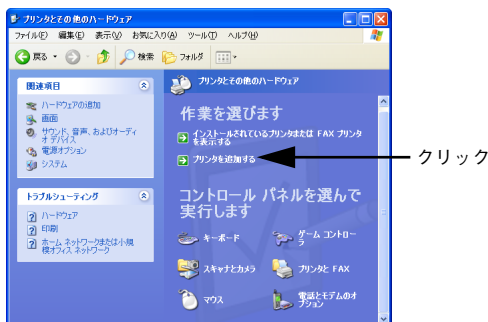
参 考
EpsonNet Print を使用する場合は手順が異なりますので、以下のページをご覧ください。
☞ 92 ページ「EpsonNet Print の使い方」

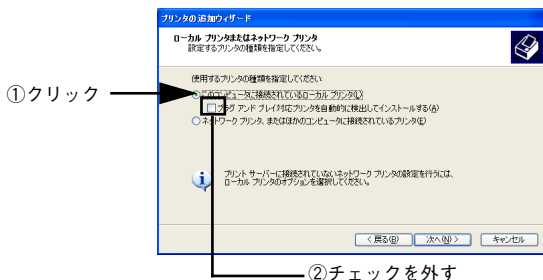
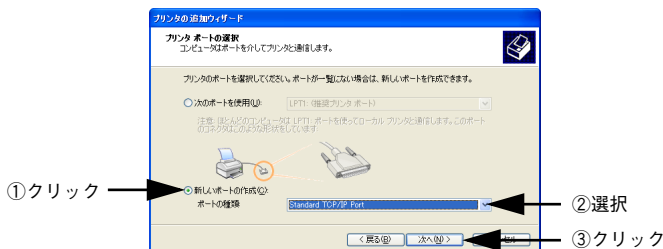
LPR 印刷の場合

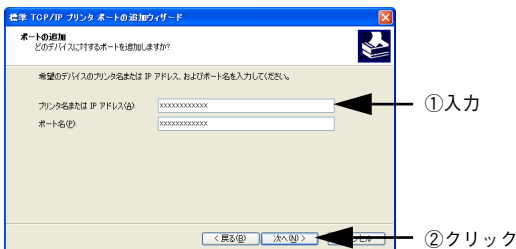
ここでは、Windows XP の画面を例に説明します。

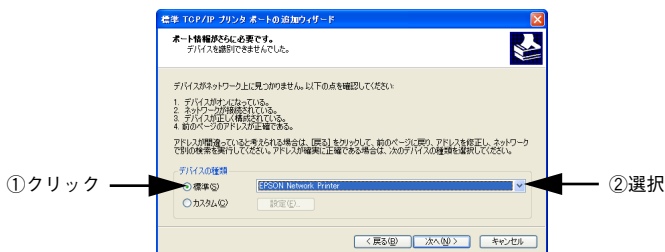
1 ［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックし、［コントロールパネル］画面で［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows 2000/Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 **［新しいポートの作成］を選択します。［Standard TCP/IP Port］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

5 ［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックします。

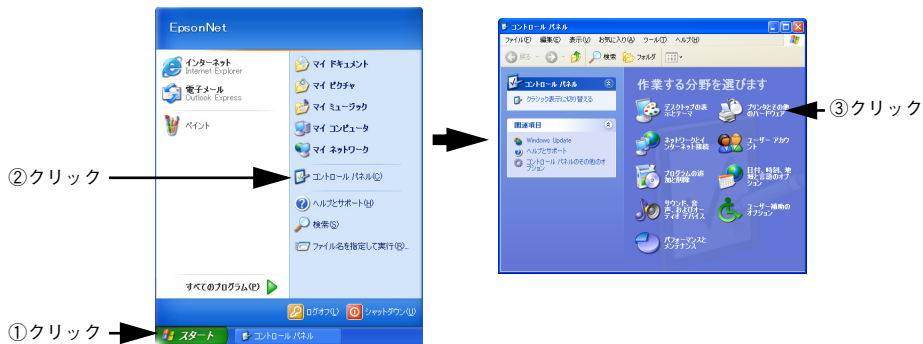
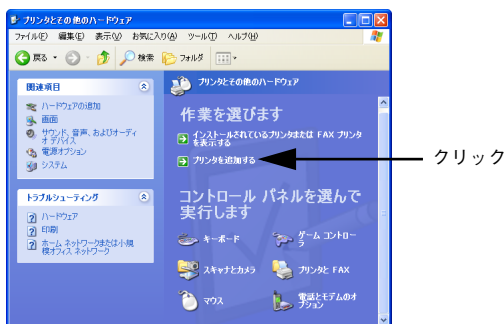
6 ［プリンタ名またはIPアドレス］項目にネットワークインターフェイスのIPアドレスを入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

参 考

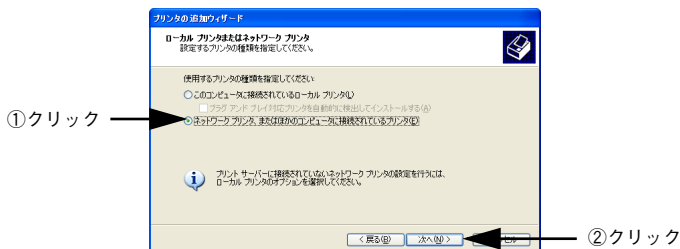
何らかの理由で本製品を正しく検出できなかった場合は、下の画面が表示されます。この画面が表示されたら［標準］を選択し、［EPSON Network Printer］を選択します。

7 ［標準 TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了］画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。

8 この後は以下のページに進んでください。

☞ 77 ページ「プリンタドライバのインストール」

IPP 印刷の場合

1 **[スタート] ボタン - [コントロールパネル] の順にクリックし、[コントロールパネル] 画面で [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。**
Windows Server 2003 の場合は、[スタート] ボタン - [プリンタと FAX] の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、[スタート] ボタン - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。

2 **[プリンタを追加する] をクリックして、表示される画面で [次へ] ボタンをクリックします。**
Windows 2000/Server 2003 の場合は、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。

3 ［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

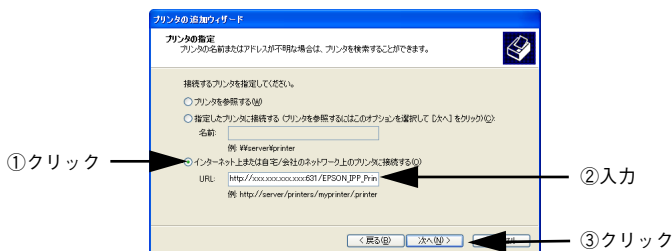
Windows 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択します。ネットワークインターフェイスの URL を次の書式で入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合は、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択します。ネットワークインターフェイスの URL を次の書式で入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

書式）http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer

参 考
上記の EPSON_IPP_Printer は初期値です。ネットワークインターフェイスの設定値は、ネットワークステータスシートで確認できます。
☞153 ページ「ネットワークステータスシートの印刷」

5 次の画面が表示された場合は、［OK］ボタンをクリックします。

＜例＞

上の画面が表示されなかった場合は、この後、画面の指示に従って設定してください。

6 この後は以下のページに進んでください。

☞ 77 ページ「プリンタドライバのインストール」

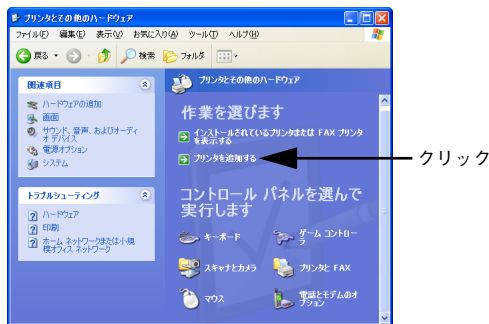
Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合

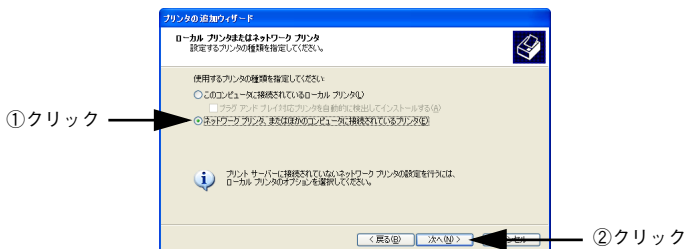
1 **[スタート] ボタン - [コントロールパネル] の順にクリックし、[コントロールパネル] 画面で [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。**

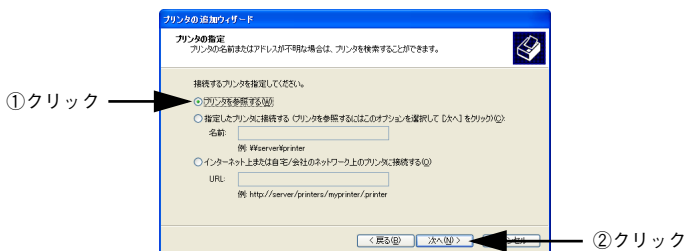
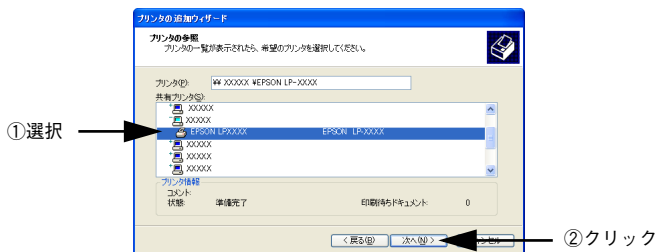
Windows Server 2003 の場合は、[スタート] ボタン - [プリンタと FAX] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] ボタン - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。

2 **[プリンタを追加する] をクリックして、表示される画面で [次へ] ボタンをクリックします。**

Windows 2000/Server 2003 の場合は、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。

3 ［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［プリンタを参照する］または［指定したプリンタに接続する］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合は、［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

5 表示されるリストから本製品を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

参 考

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で共有されている場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷する場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、［プリンタ］欄に次のように入力します。
  ¥¥（ネットワークインターフェイスのプリントサーバ名）¥（ネットワークインターフェイス の共有名）
  これらの名前は、ネットワークステータスシートで確認してください。
  ☞ 153 ページ「ネットワークステータスシートの印刷」

6 **次の画面が表示された場合は、［OK］ボタンをクリックします。**

上の画面が表示されなかった場合は、プリンタドライバのインストールは必要ありません。78 ページ手順 8 に進んでください。

7 **この後は次ページに進んで、プリンタドライバをインストールしてください。**

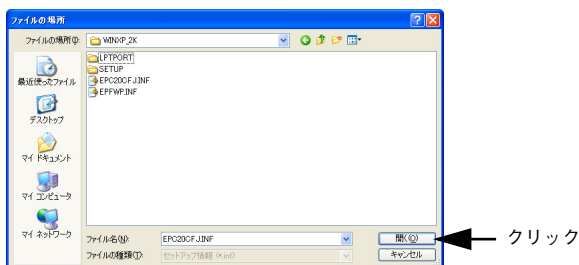
プリンタドライバのインストール

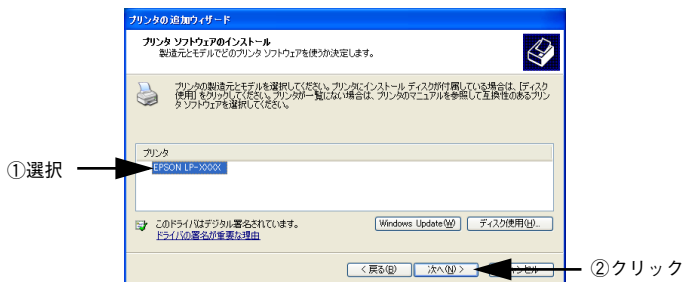
1. コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

2. 画面が表示されたら、［インストール中止］ボタンをクリックして画面を閉じてください。

3. ［プリンタの追加ウィザード］画面で［ディスク使用］ボタンをクリックします。

4. ［フロッピーディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］ボタンをクリックします。

5. CD-ROM ドライブの［WINXP_2K］フォルダをダブルクリックし、［開く］ボタンをクリックます。

6. ［フロッピーディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。

7. プリンタの一覧から本製品を選択し、［次へ］または［OK］ボタンをクリックします。

8 **この後は、画面の指示に従って設定してください。**

［デジタル署名が見つかりませんでした］という画面が表示されたときは、［はい］ボタンをクリックしてください。

参 考	本製品をネットワーク共有する場合は、この後で設定する共有名をクライアントに知らせてください。 クライアントが本製品を利用するときに必要です。

これでインストールは終了です。
Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷する場合は、以下のページに進んでください。
☞ 79 ページ「NET USE コマンドの実行」

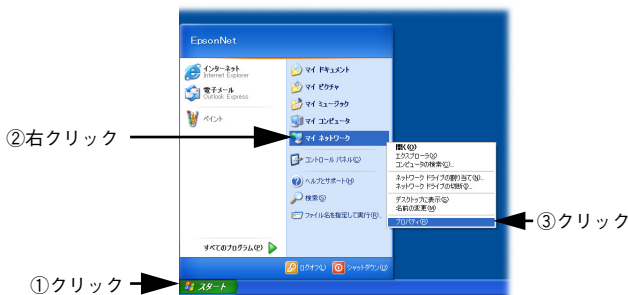
NET USE コマンドの実行

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で、MS Network を使って接続する場合は、NET USE コマンドを実行することをお勧めします。

サービスの確認

1 **［スタート］ボタンをクリックして、［マイネットワーク］を右クリックし［プロパティ］をクリックします。**

Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン - ［コントロールパネル］- ［ネットワーク接続］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

2 **［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

3 **表示された画面で、［Microsoftネットワーク用クライアント］があることを確認します。**

［Microsoft ネットワーク用クライアント］がない場合は、［インストール］ボタンをクリックして追加してください。

コマンド実行

4 **コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。**

書式）　NET_USE_ プリンタポート :_¥¥ ネットワークインターフェイスのプリントサーバ名
¥ ネットワークインターフェイスの共有名（_ は半角スペース）

例）　LPT1 に設定する場合
C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

この後は以下のページに進んでください。

80 ページ「ポートの確認（MS Network）」

ポートの確認（MS Network）

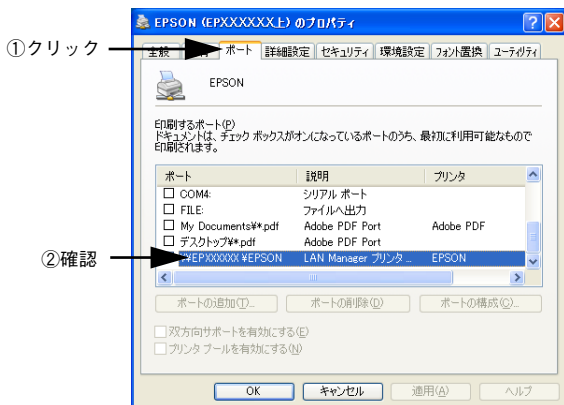
この操作は、Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 でお使いの場合にのみ、行ってください。

プリンタのプロパティの起動

1. **［スタート］ボタン -［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］の順にクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタとFAX］をクリックします。**
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. **本製品のプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

ポートの確認

3. **［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを確認します。**
ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。
☞ 79 ページ「NET USE コマンドの実行」

以上で設定は終了です。

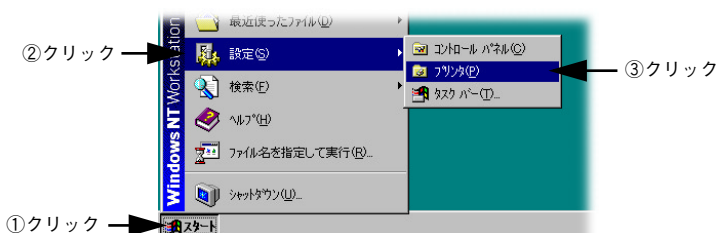
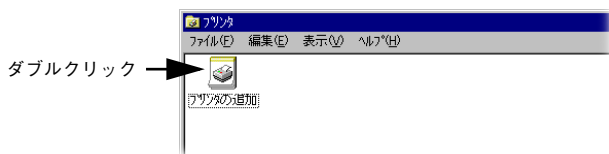
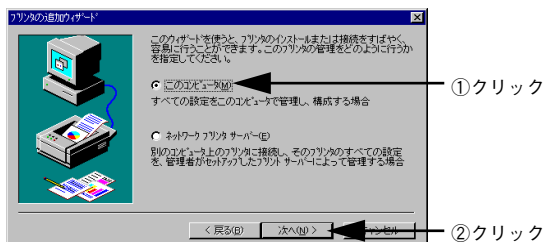
Windows NT4.0 の場合

印刷方法に応じて以下のページを参照し、プリンタドライバをセットアップしてください。

☞ 81 ページ「LPR 印刷の場合」
☞ 83 ページ「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合」

参考
Windows NT4.0 をお使いの方へ
EpsonNet Print または EpsonNet Internet Print を使用する場合は手順が異なりますので、以下のページをご覧ください。
☞92 ページ「EpsonNet Print の使い方」
☞83 ページ「IPP 印刷の場合」

LPR 印刷の場合

1. ［スタート］ボタン - ［設定］ - ［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3. ［このコンピュータ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［ポートの追加］ボタンをクリックします。

5 ［LPR Port］を選択し、［新しいポート］ボタンをクリックします。

参考 ［Lexmark TCP/IP Network Port］は使用できません。

6 ［lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス］にネットワークインターフェイスの IP アドレスを、［サーバのプリンタ名またはプリンタキュー名］にプリンタ名を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

参考 ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。
☞153 ページ「ネットワークステータスシート」

7 ［プリンタポート］画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。

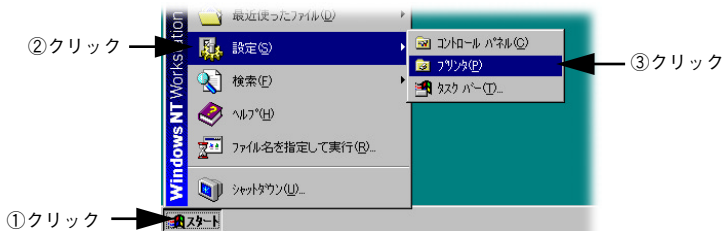
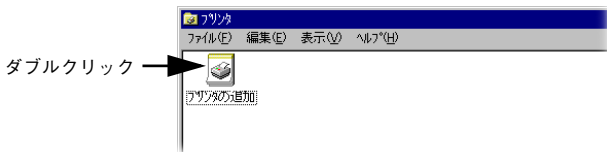
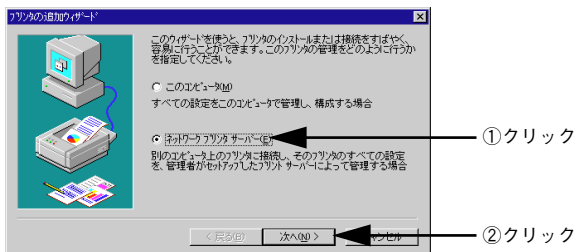
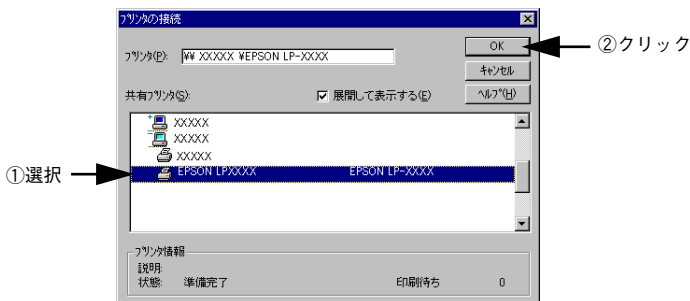
8 ［プリンタの追加ウィザード］画面に戻りますので、［次へ］ボタンをクリックします。

9 この後は以下のページに進んでください。
☞ 85 ページ「プリンタドライバのインストール」

IPP 印刷の場合

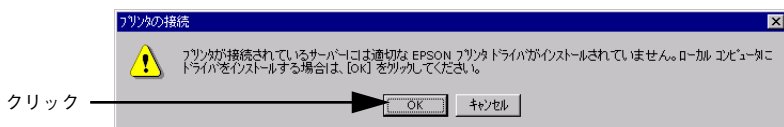
Windows NT4.0 で IPP 印刷するには、IPP 直接印刷ツール「EpsonNet Internet Print」をエプソンのホームページからダウンロードする必要があります。
詳細は以下のページをご覧ください。
☞ 11 ページ「EpsonNet ソフトウェアのご案内」

Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合

1. ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ネットワークプリンタサーバー］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［共有プリンタ］から、本製品を選択して［OK］ボタンをクリックします。

参 考

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で共有されている場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷する場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、［プリンタ］欄に次のように入力します。
  ¥¥（ネットワークインターフェイス のプリントサーバ名）¥（ネットワークインターフェイスの共有名）
  これらの名前は、ネットワークステータスシートで確認してください。
  ☞ 153 ページ「ネットワークステータスシートの印刷」

5 次の画面が表示された場合は［OK］ボタンをクリックします。

上の画面が表示されなかった場合は、この後、画面の指示に従って設定してください。
以上で、Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷設定は終了です。
Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷する場合は、以下のページに進んでください。
☞ 87 ページ「NET USE コマンドの実行」

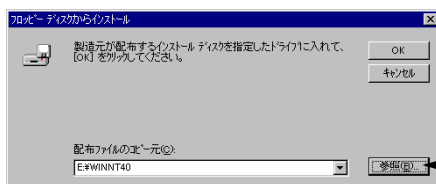
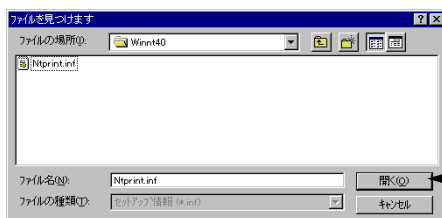
6 この後は以下のページへ進んでください。
☞ 85 ページ「プリンタドライバのインストール」

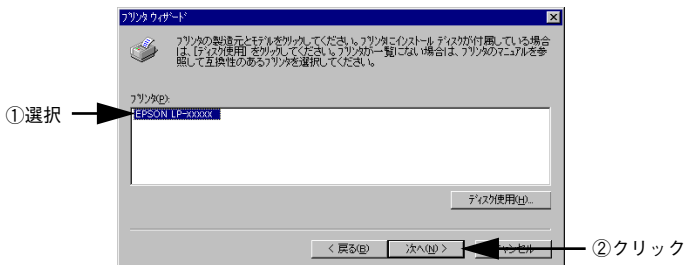
プリンタドライバのインストール

1. コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

2. 画面が表示されたら、［インストール中止］ボタンをクリックして画面を閉じてください。

3. ［プリンタウィザード］画面で［ディスク使用］ボタンをクリックします。

4. ［フロッピーディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］ボタンをクリックします。

5. CD-ROM ドライブの［WINNT40］フォルダをダブルクリックし、［開く］ボタンをクリックます。

6. ［フロッピーディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。

7. プリンタの一覧から本製品を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

8 **この後は、画面の指示に従って設定してください。**

参考

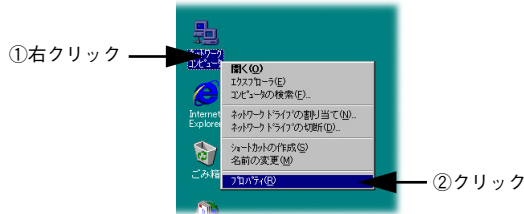
- 本製品をネットワーク共有する場合は、この後で設定する共有名をクライアントに知らせてください。クライアントが本製品を利用するときに必要です。
- 次の画面が表示された場合は、必ず［新しいドライバに置き換える］を選択してください。

これでインストールは終了です。
Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷する場合は、以下のページに進んでください。
87 ページ「NET USE コマンドの実行」

NET USE コマンドの実行

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で、MS Network を使って接続する場合は、NET USE コマンドを実行することをお勧めします。

サービスの確認

1. ［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2. ［サービス］画面で［ワークステーション］または［サーバー］が表示されていることを確認します。

3. ［ワークステーション］または［サーバー］が表示されていない場合は、［追加］ボタンをクリックして追加します。

コマンド実行

4. コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。

書式）　NET_USE_ プリンタポート :_¥¥ ネットワークインターフェイスのプリントサーバ名
¥ ネットワークインターフェイスの共有名（_ は半角スペース）

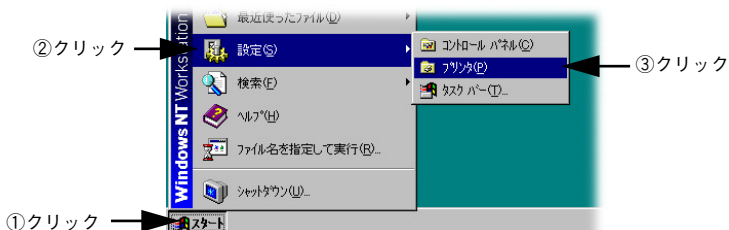
例）　LPT1 に設定する場合
C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

この後は以下のページに進んでください。

☞ 88 ページ「ポートの確認（MS Network）」

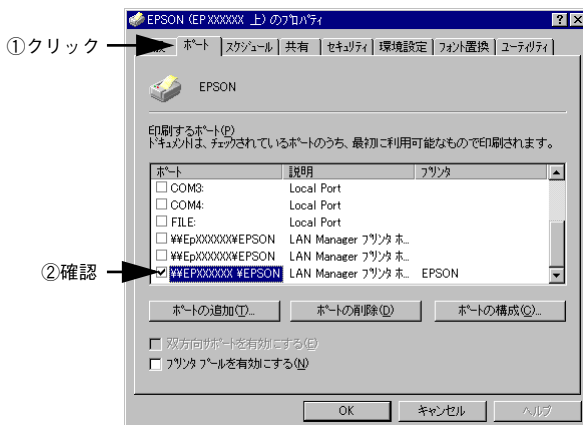
ポートの確認（MS Network）

この操作は、Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 でお使いの場合にのみ行ってください。

1 ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 本製品のプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

3 ［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを確認します。

ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。

☞ 87 ページ「NET USE コマンドの実行」

以上で設定は終了です。

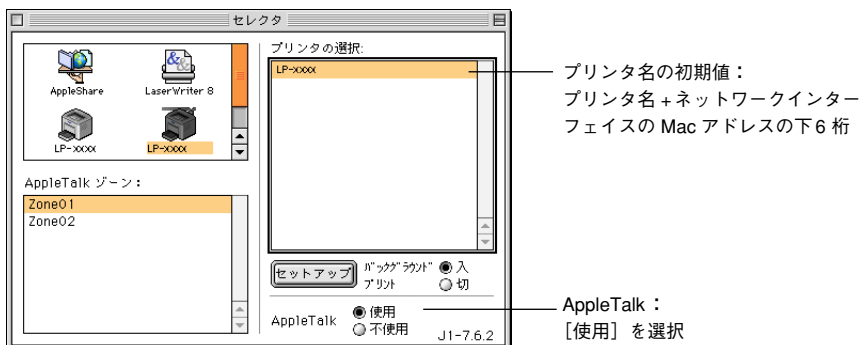
Mac OS 9.1 以降の場合

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。インストール方法については「セットアップガイド」(紙マニュアル) をご覧ください。

プリンタの選択

1. コンピュータを起動し、[アップル] メニューから [セレクタ] 選択してください。

2. 本製品のプリンタアイコンをクリックして選択します。

これでインストールと設定は終了です。

Mac OS X v10.2-v10.3 の場合

Mac OS X の場合、プリンタドライバをインストールした後に、プリンタをセットアップする必要があります。印刷プロトコルは、EPSON AppleTalk、EPSON TCP/IP、Rendezvous（Mac OS X v10.2.4 以降）の中から選択することができます。

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。インストール方法については「セットアップガイド」（紙マニュアル）をご覧ください。

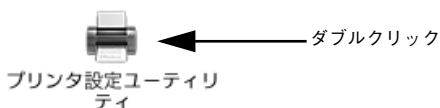
プリンタの追加

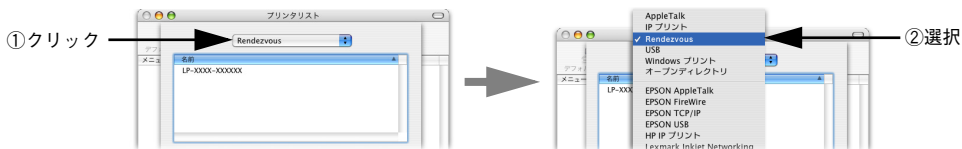
1. **本製品の電源がオンになっていることを確認してください。**

2. **［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックします。**

参考	［Macintosh HD］の名前を変更しているときは、Mac OS X を起動しているハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

3. **［アプリケーション］フォルダをクリックして、［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。**

4. **［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**
   Mac OS X v10.2 の場合は、［プリントセンター］アイコンをダブルクリックします。

5. **［プリンタリスト］またはメッセージ画面で［追加］ボタンをクリックします。**

6 ［プリンタリスト］画面のドロップダウンリストから、目的の印刷プロトコルを選択します。

印刷プロトコル	選択する項目
TCP/IP	EPSON TCP/IP
AppleTalk	EPSON AppleTalk
Rendezvous	Rendezvous*

*Rendezvous 機能は Mac OS X v10.2.4 以降でのみ、ご利用になれます。

参考

- ［EPSON AppleTalk］での印刷は、コンピュータの［AppleTalk］が有効になっている必要があります。
  39 ページ「AppleTalk の設定」
- ［EPSON TCP/IP］での印刷は、コンピュータとネットワークインターフェイスに IP アドレスなどの情報が設定されている必要があります。
  40 ページ「TCP/IP の設定」
- ［Rendezvous］での印刷は、ネットワークインターフェイスの Rendezvous 機能が有効になっており、コンピュータとネットワークインターフェイスは DHCP や APIPA 機能で IP アドレスを自動で取得している必要があります。
  40 ページ「Rendezvous 機能について」

7 本製品を選択して、［追加］ボタンをクリックします。

以上で設定は終了です。

EpsonNet Print の使い方

EpsonNet Print の使い方について説明します。

EpsonNet Print の概要

EpsonNet Print は、Windows からネットワークに接続した EPSON プリンタに、TCP/IP 直接印刷をする時に使うユーティリティです。次のような特長があります。

IP アドレスの自動追従

ネットワークインターフェイスが、サーバやルータの DHCP 機能を使って IP アドレスを取得しているとき、その後 IP アドレスが変わっても、EpsonNet Print が IP アドレスを自動追従します。

Windows 98/Me での LPR 印刷

LPR 印刷を標準サポートしていない Windows に EpsonNet Print をインストールすることで、プリントサーバを介さずに LPR による直接印刷ができるようになります。

ルータを超えた LPR プリント

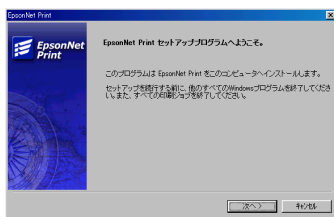
ルータを越えた場所にあるプリンタ（別セグメントのプリンタ）を LPR プリンタとして使用することができます。

印刷速度の選択

印刷データの送信プロトコル（LPD/EPSON 拡張 LPD/RAW）を使い分けることで、印刷の速さを 3 段階から選ぶことができます。

セットアップの流れ

EpsonNet Print をお使いいただくための、作業の流れを説明します。

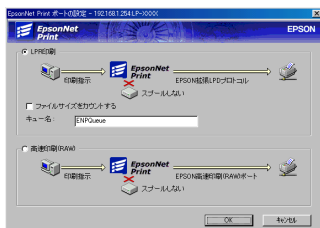
❶ EpsonNet Print のインストール

コンピュータに EpsonNet Print をインストールします。

☞ 96 ページ「EpsonNet Print のインストール」

❷ コンピュータの設定

Windows 98/Me の場合	Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 の場合
Windows 98/Me でお使いの場合は、本製品のプリンタドライバを任意のポート（LPT1 など）を選択しインストールします。 プリンタドライバのインストール完了後、プリンタのプロパティを開いて、プリンタポートの設定を、EpsonNet Print のインストールで作成されたポート「EpsonNet Print Port」に変更します。 ①プリンタドライバのインストール ☞ 101 ページ ②プリンタポートの作成と設定変更 ☞ 104 ページ	Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 でお使いの場合は、「EpsonNet Print Port」を作成してから、本製品のプリンタドライバをインストールします。 ①プリンタポートの作成 ☞ 109 ページ ②プリンタドライバのインストール ☞ 115 ページ 本製品を共有する手順については、本製品に付属の「ユーザーズガイド」（PDF）を参照してください。

参 考 Windows 98/Me 環境で使用する場合、EpsonNet Print は、本製品を使用するすべてのコンピュータ（Windows 98/Me）にインストールしてください。

❸ EpsonNet Print の設定

必要に応じて EpsonNet Print から印刷データを送信する方法などの設定を行います。

☞ 120 ページ「印刷方式の設定」

動作環境

EpsonNet Print は、次の環境で動作します。

システム条件

- IBM PC/AT 互換機
- CPU：Pentium II 400MHz 以上
- ハードディスクの空き容量：20MB 以上
- 内蔵メモリ容量：RAM 64MB 以上
- 画面表示：SVGA （800 × 600）以上

対象 OS

- Windows 98
- Windows Me
- Windows NT4.0（サービスパック 6 以降）
- Windows 2000（サービスパック 4 以降）
- Windows XP（サービスパック 1 以降）
- Windows Server 2003

参考

- 旧印刷ツールのEpsonNet Direct PrintのVersion1.0またはVersion2.xと、同じコンピュータにインストールすることはできません。
  EpsonNet Direct Print の Version1.0 をお使いの場合は、EpsonNet Print をインストールする前に、EpsonNet Direct Print の Version1.0 をアンインストール（削除）してください。
  EpsonNet Direct Print の Version2.x をお使いの場合は、EpsonNet Print をインストールすると、警告のメッセージが表示されます。画面の指示に従って EpsonNet Direct Print Version2.x をアンインストール（削除）してください。
  98 ページ 手順 7
- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 は、EpsonNet Print をインストールしなくても、Windows 標準 LPR を使用して LPR 印刷することができます。ただし、IP アドレスを自動追従することはできません。

EpsonNet Print のインストール

EpsonNet Print のインストール方法を Windows 98 の画面で説明します。
EpsonNet Print をインストールすると新しいプリンタポート（EpsonNet Print Port）が作成され、このポートを使うことで Windows 98 など標準で LPR ポートを持たない Windows でもネットワーク直接印刷ができるようになります。また、本製品が各種アドレスを自動取得している場合も EpsonNet Print Port がアドレスの変動を自動追従します。Windows NT4.0 など、標準で LPR ポートを持っている Windows でも有効活用できます。

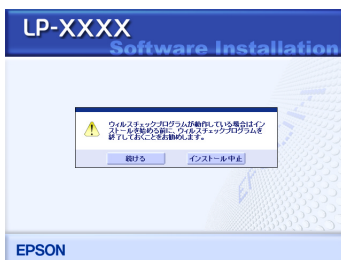
参考

- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 にインストールするには、管理者の権限を持つユーザでログオンしてください。
- Windows 98/Me の場合は、本製品を使用するすべてのコンピュータ（Windows 98/Me）に EpsonNet Print をインストールしてください。
- Windows 98/Me で「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）でネットワークの設定が済んでいる場合は、EpsonNet Print をインストールする必要はありません。
- 本文中の「EPSON プリンタソフトウェア CD- ROM」の画面は、実際の表示と異なる場合があります。

1 コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

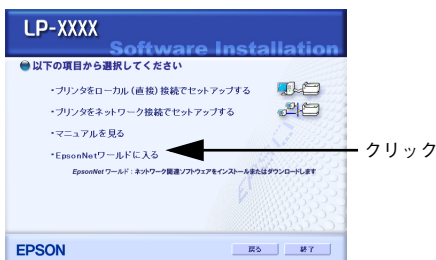
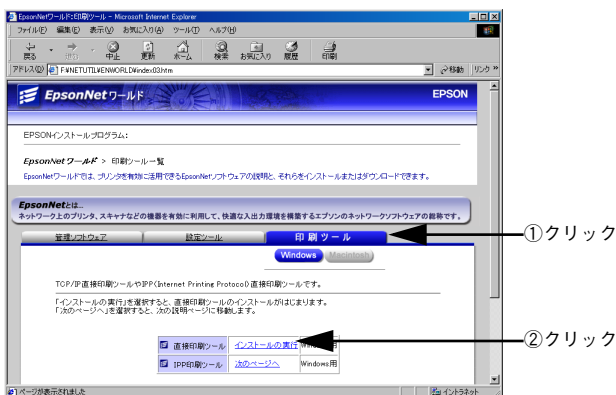
2 ウィルスチェックプログラムに対処します。

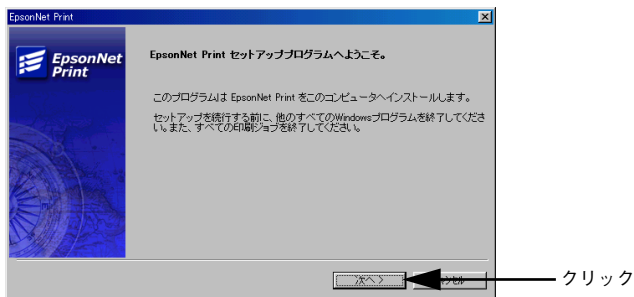
- ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] ボタンをクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を開始します。
- ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は［続ける］ボタンをクリックして次へ進みます。

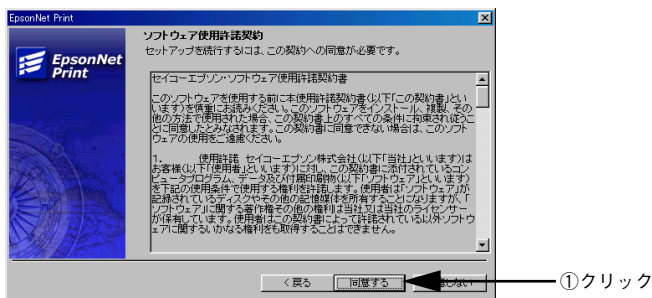
参考

画面が自動的に表示されないときや［インストール中止］ボタンをクリックした後に作業を再開したいときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

3 使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。

参 考	プリンタの機種を選択する画面が表示された場合は、本製品のモデル名をクリックしてください。

4 ［EpsonNet ワールドに入る］をクリックします。

5 ［印刷ツール］タブをクリックし、［直接印刷ツール］の［インストールの実行］をクリックします。

参 考	お使いのコンピュータによっては［ファイルのダウンロード - セキュリティの警告］ダイアログが表示されることがあります。ダイアログが表示されたときは以下の手順に従ってください。 ①［実行］ボタンをクリックします。 ②表示された画面で［実行する］ボタンをクリックします。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

7 ［ソフトウェア使用許諾契約］画面の内容を確認して、［同意する］ボタンをクリックします。

確認画面が表示されますので、［はい］ボタンをクリックしてください。

参 考　EpsonNet DirectPrint の Version 2.x がインストールされている場合は、インストールの続行を確認する画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックすると、EpsonNet DirectPrint Version 2.x をアンインストールしてから、インストールを続行します。

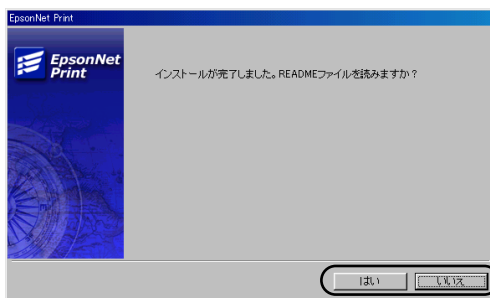
8 ［アプリケーションのインストール］画面の内容を確認して、［インストール］ボタンをクリックします。

インストール画面が表示され、インストールが始まります。

注 意

- 旧バージョンの EpsonNet Print がインストールされている場合は、上書きインストールを確認する画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。
- 同じバージョンの EpsonNet Print がインストールされている場合は、インストールの終了を確認する画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。

9 README ファイルを読む場合は［はい］ボタン、読まない場合は［いいえ］ボタンをクリックします。

EpsonNet DirectPrint をアンインストールしたときは、再起動が必要です。

以上で、EpsonNet Print のインストールは終了です。この後は次ページに進んでください。

ウィルスチェックプログラムを終了または停止した場合は、セキュリティ確保のためウィルスチェックプログラムを再開してください。

プリンタの接続と設定

EpsonNet Print のインストールが終了したら、LPR 印刷するための設定をします。

TCP/IP 設定の確認

1. **設定に使うコンピュータに、TCP/IP が正しく設定されていることを確認します。**
☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

2. **本製品のネットワークインターフェイスに、工場出荷時以外のIP アドレスが設定されていることを確認します。**

注意

- IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者に値を確認してください。IP アドレスがわからない場合は以下のページをご覧ください。
☞ 139 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
- 工場出荷時、IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

参考

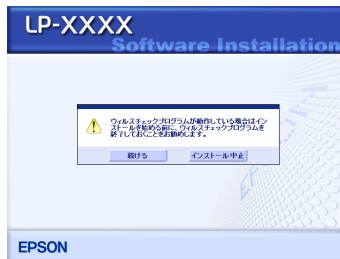
ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、本製品の操作パネルや本製品付属のユーティリティで設定する必要があります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスの設定方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 50 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

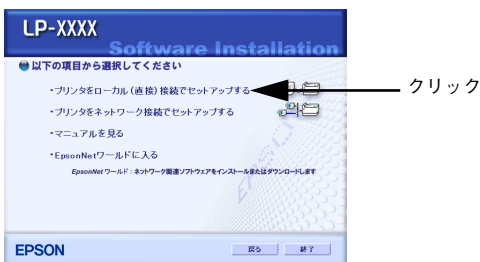
Windows 98/Me での設定

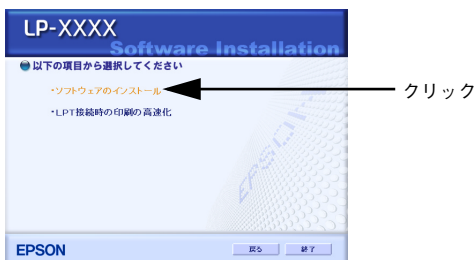
プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールした後、そのドライバに対して EpsonNet Print Port を作成します。
Windows 98 の画面を例に説明します。

1. **コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

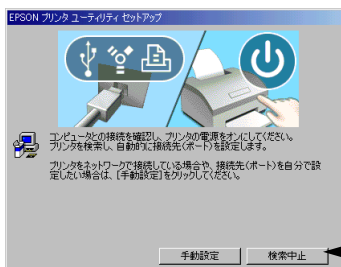
2. **ウィルスチェックプログラムに対処します。**
   - ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] ボタンをクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を開始します。
   - ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は [続ける] ボタンをクリックして次へ進みます。

参 考	画面が自動的に表示されないときや [インストール中止] ボタンをクリックした後に作業を再開したいときは、[マイコンピュータ] 内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

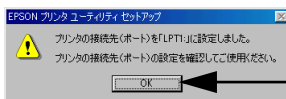
3 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認して［同意する］ボタンをクリックし、［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］をクリックします。

参考	プリンタの機種を選択する画面が表示された場合は、本製品のモデル名をクリックしてください。

4 以下のような画面が表示された場合は、［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

5 画面の内容を確認して、［インストール］ボタンをクリックします。

6 **以下のような画面が表示された場合は、［検索中止］または［キャンセル］ボタンをクリックしてください。**

EpsonNet Print を使用する場合、プリンタポートの設定を手動で行うため設定の必要はありません。

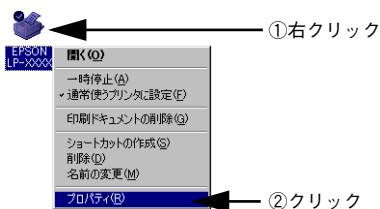
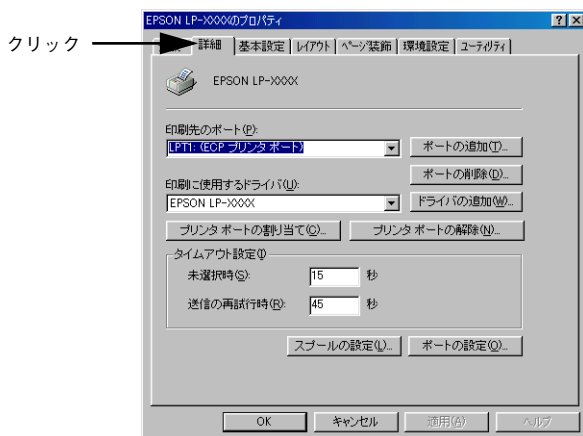
<例>

［検索中止］または［キャンセル］ボタンをクリックすると、以下のような画面が表示されることがあります。［OK］ボタンをクリックしてください。

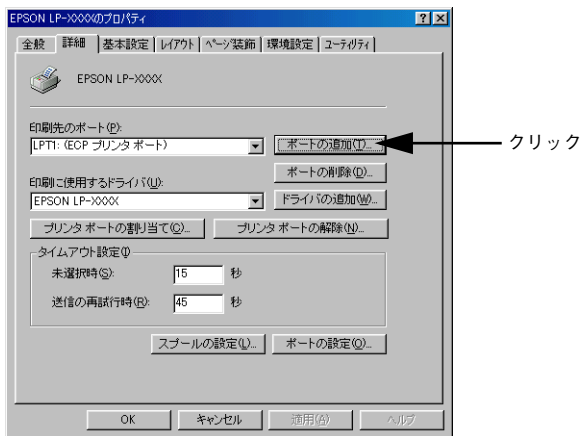
<例>

プリンタドライバのインストールが終了したら、次ページに進んで LPR 印刷を行うためのプリンタポートの設定を変更します。

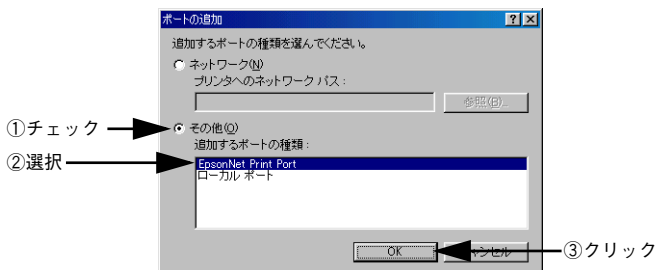
> **注 意**
> - プリンタポートの設定を行わないと、EpsonNet Print で印刷することはできませんので、必ず設定してください。
> - ウィルスチェックプログラムを終了または停止した場合は、セキュリティ確保のためウィルスチェックプログラムを再開してください。

プリンタポートの作成と設定変更

1. ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. インストールされた本製品を右クリックして、［プロパティ］を選択します。

3. 表示された画面の［詳細］タブをクリックします。

4 ［ポートの追加］ボタンをクリックします。

［ポートの追加］画面が表示されます。

5 ［その他］をチェックし、［EpsonNet Print Port］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］画面が表示されます。

6 本製品のモデル名をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。

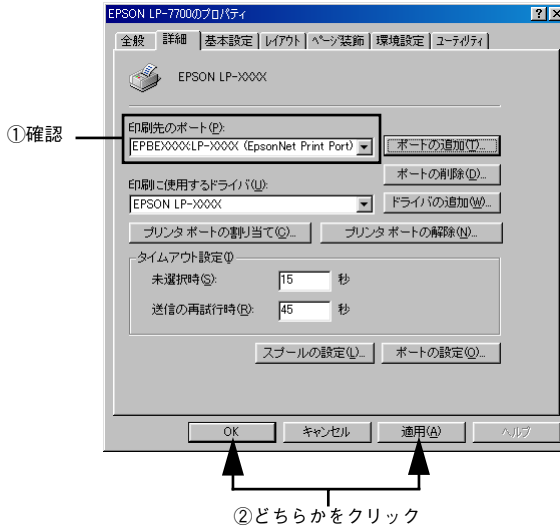
参 考

- ［ポート直接入力］については、以下を参照してください。
  ☞118 ページ「ネットワークプリンタの直接指定」
- 別セグメントのネットワークプリンタを指定したいときは、［ネットワーク設定］ボタンをクリックして［プリンタを検索するネットワークセグメント］を設定します。
  ☞117 ページ「ネットワークプリンタの検索」
- ［プリンタを検索するネットワークセグメント］を変更したときやポートの追加作業中に本製品の電源をオンにしたときは、［再検索］ボタンをクリックしてください。

7 **画面の内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。**

必要に応じて、以下の表を参考に［ポートタイプ選択］リストを設定してください。

項目名	内容
［ポートタイプ選択］リスト	ネットワークインターフェイスの設定に応じて、作成可能なポート種別をリストアップします。
IP アドレス（自動）	使用するコンピュータとプリンタが、同一セグメント内にある場合に選択できます。 ネットワークインターフェイスの IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピュータのポート名を変更する必要がありません。
IP アドレス（固定）	ネットワークインターフェイスが固定アドレスのときに選択します。DHCP サーバなどにより各アドレスを自動で取得しているときは、選択しないでください。
DNS 登録名	DNS サーバにネットワークインターフェイスのホスト名を登録しているときに、必要に応じて選択します。
MS Network	Microsoft ネットワーク共有印刷（MS Network）で使用しているときに選択します。
ポート名	［ポートタイプ選択］リストで選択した項目によって以下のように表示します。 **［IP アドレス（自動）］**：ホスト名（ネットワークインターフェイス名 EPXXXXXX）：プリンタ名 **［IP アドレス（固定）］**：IP アドレス：プリンタ名 **［DNS 登録名］**：ホスト名（DNS 登録済み）：プリンタ名 **［MS Network］**：ホスト名（NetBIOS）：プリンタ名
モデル名	プリンタ名を表示します。
名前または IP アドレス	［ポートタイプ選択］リストで選択した項目によって以下のように表示します。 **［IP アドレス（自動）］**：IP アドレス **［IP アドレス（固定）］**：IP アドレス **［DNS 登録名］**：ホスト名（DNS 登録済み） **［MS Network］**：ホスト名（NetBIOS）
プロトコル	使用プロトコル（拡張 LPR）を表示します。

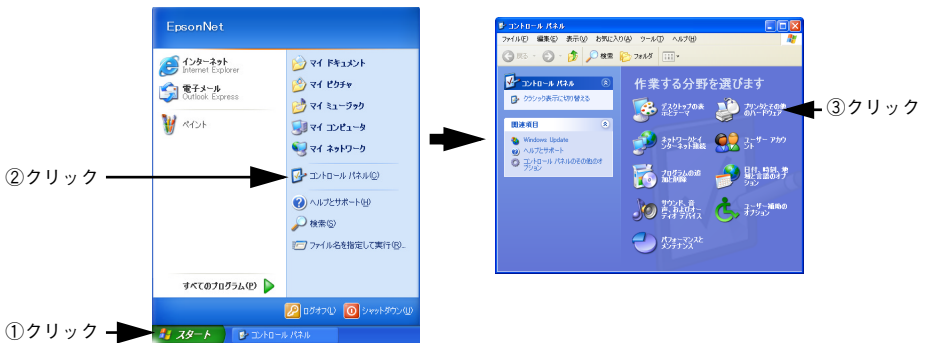
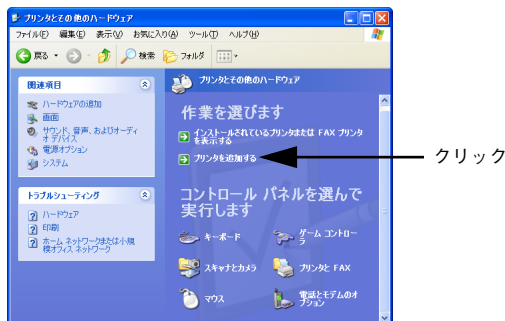
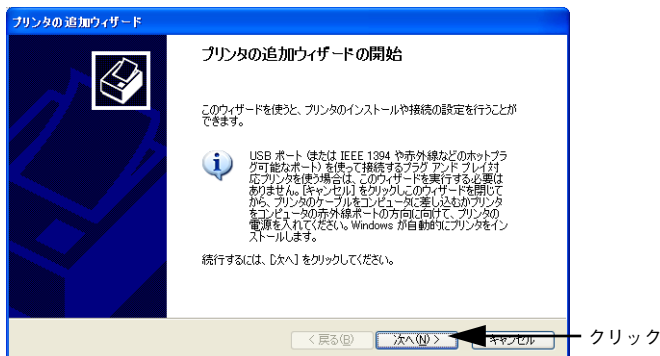
8 印刷先のポートを確認して、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

以上で Windows 98/Me での設定は終了です。

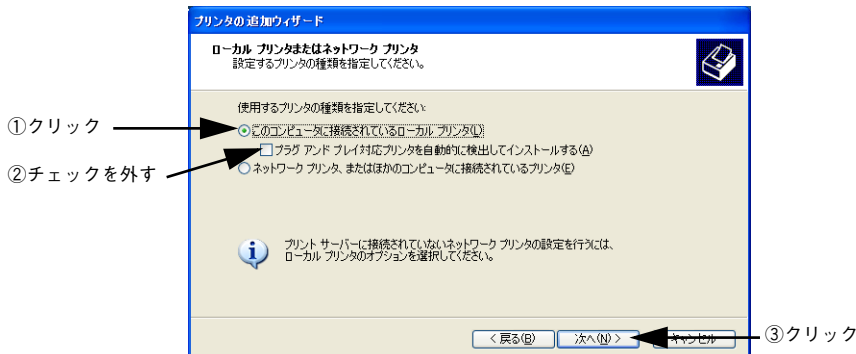
印刷方法を設定する場合は、以下のページに進んでください。
☞ 120 ページ「印刷方式の設定」

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 での設定

プリンタポート（EpsonNet Print Port）を作成した後、プリンタドライバをインストールします。Windows XP の画面を例に説明します。

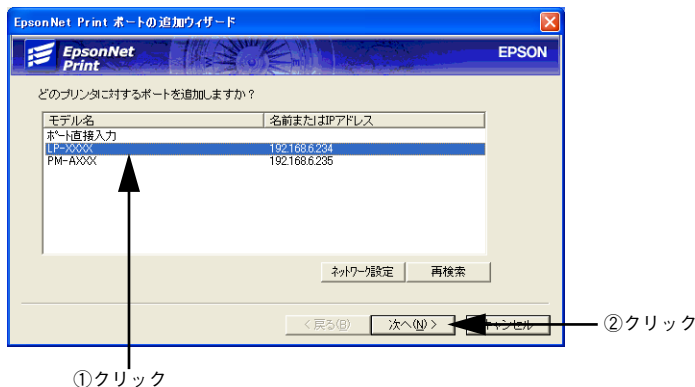
プリンタポートの作成

1. **［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順でクリックし、［コントロールパネル］画面で［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows NT4.0/2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. **［プリンタを追加する］をクリックします。**
［プリンタの追加ウィザード］画面が表示されます。
Windows 2000/Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。
Windows NT4.0 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、手順 4 へ進みます。

3 ［プリンタの追加ウィザード］画面で、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows NT4.0 の場合：
［このコンピュータ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。
Windows 2000 の場合：
［ローカルプリンタ］を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外して、［次へ］ボタンをクリックします。

5 ［新しいポートの作成］を選択します。［EpsonNet Print Port］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows NT4.0 の場合：
① ［ポートの追加］ボタンをクリックします。
② 表示される［プリンタポート］画面で［EpsonNet Print Port］を選択して、［新しいポート］ボタンをクリックします。

お使いの Windows によっては［Windows セキュリティの重要な警告］ダイアログが表示されます。［ブロックを解除する］ボタンをクリックしてください。

6 本製品のモデル名をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。

参考

- ［ポート直接入力］については、以下を参照してください。
  118 ページ「ネットワークプリンタの直接指定」
- 別セグメントのネットワークプリンタを指定したいときは、［ネットワーク設定］ボタンをクリックして［プリンタを検索するネットワークセグメント］を設定します。
  117 ページ「ネットワークプリンタの検索」
- ［プリンタを検索するネットワークセグメント］を変更したときやポートの追加作業中に本製品の電源をオンにしたときは、［再検索］ボタンをクリックしてください。
- 手順 5 で表示された［Windows セキュリティの重要な警告］ダイアログで［ブロックする］を選択した場合は、コンピュータと同じセグメントにあるネットワークアドレスのプリンタのみを表示します。異なるネットワークアドレスのプリンタを表示したい場合は、［コントロールパネル］の［Windows ファイアウォール］で設定を変更してください。

7 **画面の内容を確認して、[完了] ボタンをクリックします。**

必要に応じて、次ページの表を参考に[ポートタイプ選択] リストを設定してください。

項目名		内容
[ポートタイプ選択] リスト		ネットワークインターフェイスの設定に応じて、作成可能なポート種別をリストアップします。
	IP アドレス(自動)	使用するコンピュータとプリンタが、同一セグメント内にある場合に選択できます。 ネットワークインターフェイスの IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピュータのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス(固定)	ネットワークインターフェイスが固定アドレスのときに選択します。DHCP サーバなどにより各アドレスを自動で取得しているときは、選択しないでください。
	DNS 登録名	DNS サーバにネットワークインターフェイスのホスト名を登録しているときに、必要に応じて選択します。
	MS Network	Microsoft ネットワーク共有印刷(MS Network)で使用しているときに選択します。
ポート名		[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって以下のように表示します。 **[IP アドレス(自動)]**:ホスト名(ネットワークインターフェイス名 EPXXXXXX):プリンタ名 **[IP アドレス(固定)]**:IP アドレス:プリンタ名 **[DNS 登録名]**:ホスト名(DNS 登録済み):プリンタ名 **[MS Network]**:ホスト名(NetBIOS):プリンタ名
モデル名		プリンタ名を表示します。
名前または IP アドレス		[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって以下のように表示します。 **[IP アドレス(自動)]**:IP アドレス **[IP アドレス(固定)]**:IP アドレス **[DNS 登録名]**:ホスト名(DNS 登録済み) **[MS Network]**:ホスト名(NetBIOS)
プロトコル		使用プロトコル(拡張 LPR)を表示します。

8 **Windows NT4.0の場合は、以下の手順でプリンタポートの設定を続けます。**

① ［プリンタポート］画面で、［閉じる］ボタンをクリックします。

② ［プリンタの追加ウィザード］画面で、「利用可能なポート」が、選択した［EpsonNet Print Port］にチェックが付いていることを確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

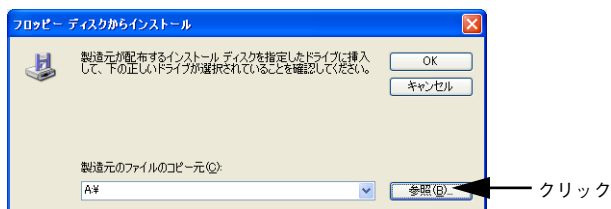
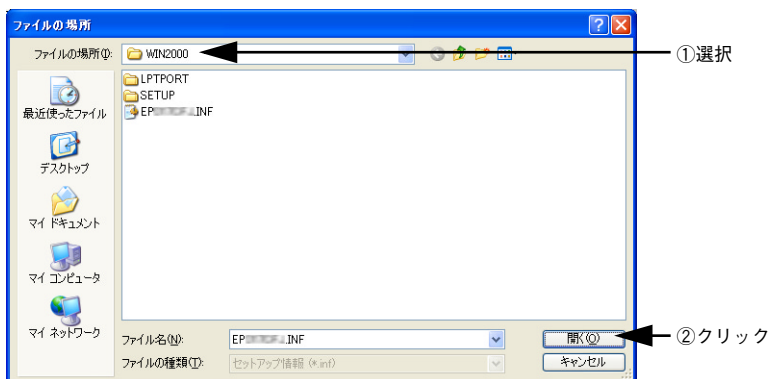
［プリンタの追加ウィザード］または［プリンタウィザード］画面を開いた状態で、次の「プリンタドライバのインストール」へ進みます。

プリンタドライバのインストール

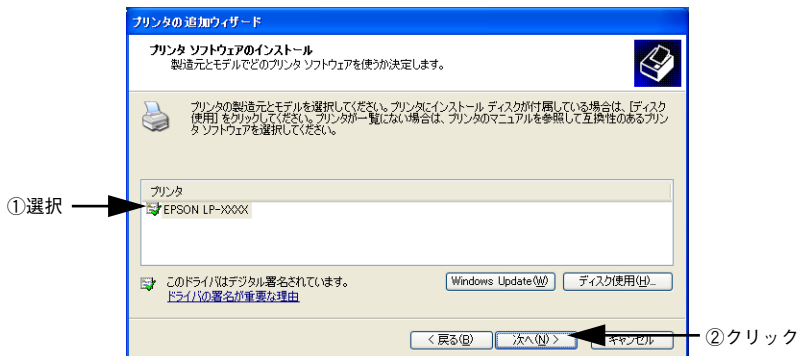
1. 本製品に付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

2. 画面が表示されたら、[インストール中止]ボタンをクリックして画面を閉じてください。

3. ［プリンタの追加ウィザード］または［プリンタウィザード］画面で［ディスク使用］ボタンをクリックします。

4. ［フロッピーディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］ボタンをクリックします。

5. 手順1でセットしたCD-ROM内の各OSのプリンタドライバのフォルダを選択して、［開く］ボタンをクリックします。

OS 環境	選択するフォルダ名
Windows NT4.0	WINNT40
Windows 2000/XP/Server 2003	WIN2000 または WINXP_2K

6. ［フロッピーディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。

7 プリンタの一覧から本製品のモデル名を選択し、[次へ] ボタンをクリックします（画面は例です）。

8 この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

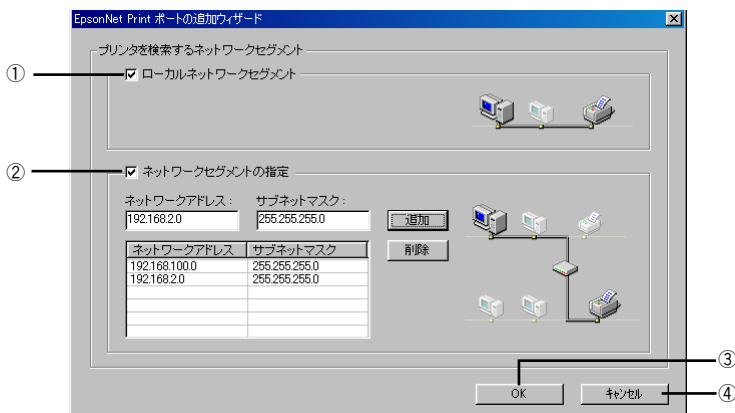
参考

- 本製品をネットワーク共有する場合は、この後で設定する共有名をクライアントコンピュータの使用者に知らせてください。クライアントコンピュータから本製品を利用するときに必要です。
- この後［デジタル署名が見つかりませんでした］という画面が表示された場合は、［続行］または［はい］ボタンをクリックしてください。
- EPSONプリンタウィンドウ!3をインストールされる方は、以下の手順に従ってください。
  ①本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットし、画面の指示に従って進めます。
  ②「プリンタをネットワーク接続でセットアップする」をクリックします。
  ③「ソフトウェアのインストール」をクリックします。
  ④インストールするソフトウェアの確認画面が表示されたら、［選択画面］ボタンをクリックします。
  ⑤ソフトウェアの選択画面で、［EPSON プリンタウィンドウ !3］または［プリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ !3］だけをチェックして、［インストール］ボタンをクリックします。
  ⑥以降の操作は、画面の指示に従ってください。

以上で Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 での設定は終了です。

印刷方法を設定する場合は、以下のページに進んでください。
☞ 120 ページ「印刷方式の設定」

ネットワークプリンタの検索

[EpsonNet Print ポートの追加ウィザード] で [ネットワーク設定] ボタンをクリックした場合に表示される [プリンタを検索するネットワークセグメント] 画面について説明します。

	項目名	内容
①	ローカルネットワークセグメント	印刷に使うコンピュータと同じセグメントのEPSONプリンタ(ネットワークインターフェイス) だけを検索します。
②	ネットワークセグメントの指定	ルータを越えたところにあるEPSONプリンタ(ネットワークインターフェイス) を検索します。
	ネットワークアドレス	検索する EPSON プリンタ（ネットワークインターフェイス）の存在するネットワークアドレスを入力します。 例）192.168.2.0
	サブネットマスク	検索する EPSON プリンタ（ネットワークインターフェイス）が存在するネットワークセグメントのクラスに応じたサブネットマスクを入力します。 例）255.255.255.0
	[追加] ボタン	入力されたネットワークセグメント（ネットワークアドレスとサブネットマスク）を「検索範囲リスト」に追加します。
	検索範囲リスト	ネットワークセグメントのIPアドレスとサブネットマスクの一覧を表示します。
	[削除] ボタン	「検索範囲リスト」で選択された項目を削除します。
③	[OK] ボタン	設定を有効にして、画面を閉じます。
④	[キャンセル] ボタン	設定を取り消して、画面を閉じます。

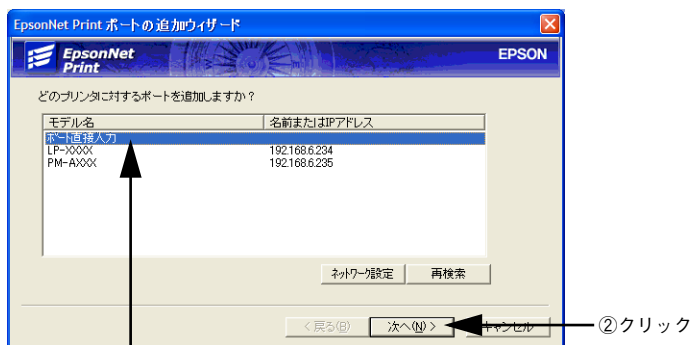
参 考

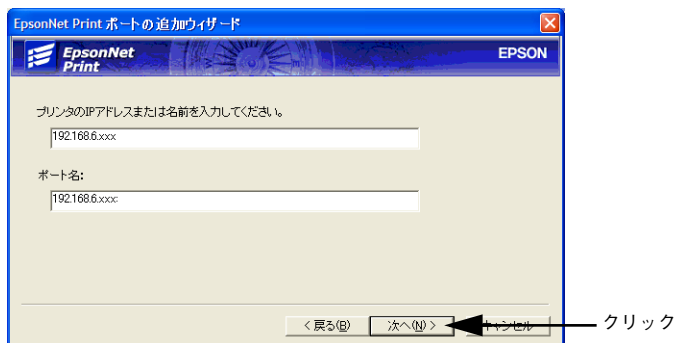
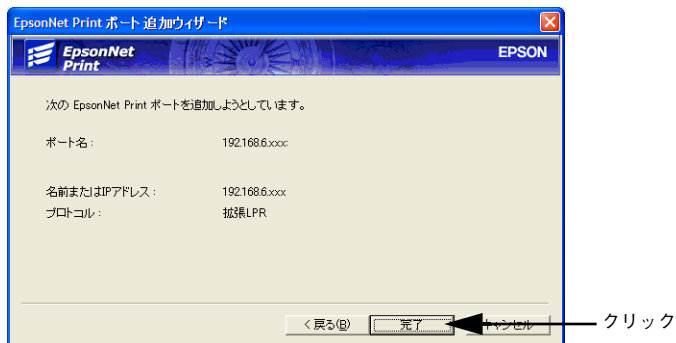
EpsonNet Print をインストールしたコンピュータがクラスB ネットワークアドレス（128.0.0.0 ～ 191.255.255.255）で設定されていた場合、クラス C ネットワークアドレス（192.0.0.0 ～ 223.255.255.255）で設定したネットワークプリンタが検索されない場合があります。その場合はプリンタの IP アドレスを直接入力してポートを作成してください。
☞118 ページ「ネットワークプリンタの直接指定」

ネットワークプリンタの直接指定

本製品に固定アドレスを設定している場合や、ローカルエリアネットワークの事情でネットワークプリンタの検索でも本製品が表示されない場合は、[ポート直接入力]を使用してポートを作成します。ここでは、Windows XP の画面で説明します。

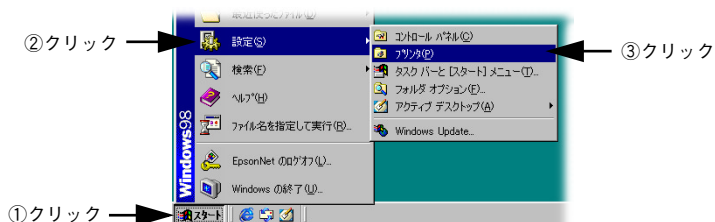
注意 アドレスを自動取得しているときには、この機能を使用しないでください。

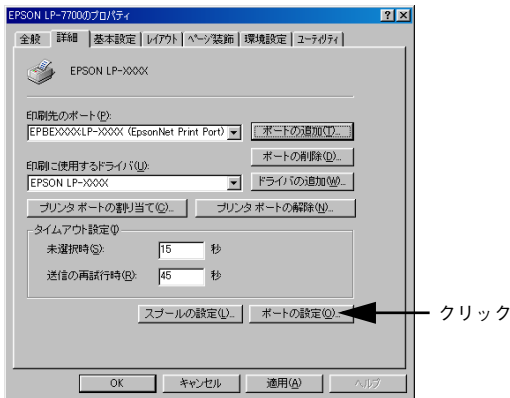
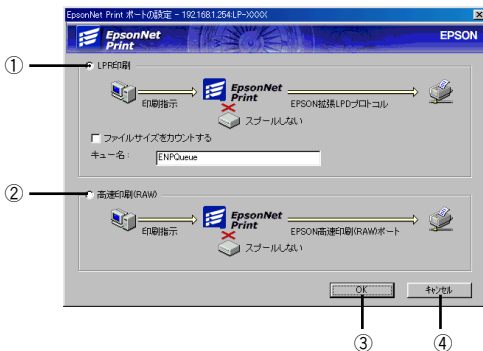
1 [ポート直接入力]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

2 以下の表を参考に、各項目を設定して[次へ]ボタンをクリックします。

項目名	内容
プリンタの IP アドレスまたは名前を入力してください。	プリンタを指定するための IP アドレス／ホスト名／ FDQN のいずれかを、半角英数 127 文字以内で入力します。
ポート名：	[プリンタの IP アドレスまたは名前を入力してください。] に入力した文字列に「：」を付加し、自動的に表示します。

3 画面の内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

印刷方式の設定

印刷データの送信方法などを設定することができます。
Windows 98 の画面で説明します。

1 **［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。**

Windows XP の場合は、［スタート］ボタン -［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2 **プリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

3 プロパティの画面で、［詳細］タブにある［ポートの設定］ボタン（Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 は、［ポート］タブの［ポートの構成］ボタン）をクリックします。

4 用途により印刷方式を切り替えます。

	項目名		内容
①	LPR 印刷		EPSON 拡張LPD プロトコル（拡張印刷）を使用して、印刷データを直接プリンタに送信します。「ファイルサイズをカウントする」にチェックをオンにした場合よりも高速に印刷できます。
		ファイルサイズをカウントする	チェックをオンにすると、LPD プロトコルに準拠しており LPD プロトコルを使用して、印刷データをコンピュータに一旦スプールしてからプリンタに送信します。
		キュー名	印刷キューに名前を付けることができます。 通常は変更する必要はありません。
②	高速印刷（RAW）		最も高速に印刷したい場合に、選択します。 LPR 印刷で使用するLPD プロトコルを使わずに印刷します。
③	［OK］ボタン		設定を有効にして、画面を閉じます。
④	［キャンセル］ボタン		設定を取り消して、画面を閉じます。

EpsonNet Config（Web）の使い方

EpsonNet Config（Web）の使い方について説明します。

EpsonNet Config（Web）の概要

EpsonNet Config（Web）は、Web ブラウザからネットワークインターフェイスおよびプリンタを設定するためのユーティリティです。また、本製品の操作パネルで行う各種項目も、本ユーティリティ経由で設定できます。
コンピュータにブラウザがインストールされ、コンピュータとネットワークインターフェイス の IP アドレスが設定されていれば、お使いいただけます。
また、EpsonNet Config（Web）では、ネットワークインターフェイス の TCP/IP、AppleTalk、MS Network、SNMP、Time を設定できます。

動作環境

EpsonNet Config（Web）は、次の環境で動作します。

システム条件（コンピュータ）

下記の対象 Web ブラウザが動作する環境

Windows NT4.0 をご利用の場合、Windows NT のバージョンがサービスパック 3 以上にアップグレードされている必要があります。

対象 Web ブラウザ

- Internet Explorer Ver.4.01 以降
- Netscape Navigator Ver.4.05 以降（Windows）
- Netscape Navigator Ver.7.0 以降（Macintosh）
- Netscape Communicator 4.0 以降
- Apple Safari Ver.1.1 以降

注 意

- Web ブラウザには、［LAN を使用しての接続］を設定してください。また、ネットワークインターフェイスの URL（IPアドレス）には、プロキシを使用しない設定をしてください。
  ☞ 57 ページ「Web ブラウザの設定に関する注意」
- ダイヤルアップ環境でお使いの場合は注意が必要です。以下のページをご覧ください。
  ☞ 55 ページ「ダイヤルアップルータ使用時の注意」

ネットワークインターフェイス

IP アドレスが設定されていることが条件となります。
☞ 41 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

EpsonNet Config（Web）でのネットワークインターフェイス設定

EpsonNet Config（Web）を使って、ネットワークインターフェイスの TCP/IP を設定する方法について説明します。TCP/IP 以外のネットワーク設定やプリンタ設定については、EpsonNet Config（Web）のヘルプをご覧ください。

EpsonNet Config（Web）は、インストールの必要はありません。ただし、次の設定が終了している必要があります。

①設定に使うコンピュータへの TCP/IP 設定

☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

②設定に使うコンピュータへの Web ブラウザのインストール

☞ 124 ページ「対象 Web ブラウザ」

③ネットワークインターフェイスへの IP アドレス設定

☞ 42 ページ「設定方法の概要」

注 意

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）と EpsonNet Config（Web）から、同時に同じネットワークインターフェイスに対して設定をしないでください。

参 考

- お使いの Web ブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS の 取扱説明書を参照してください。
- EpsonNet Config （Web）で表示される画面や設定できる項目は、お使いの機種と異なる場合があります。

1 以下の方法でEpsonNet Config（Web）を起動します。

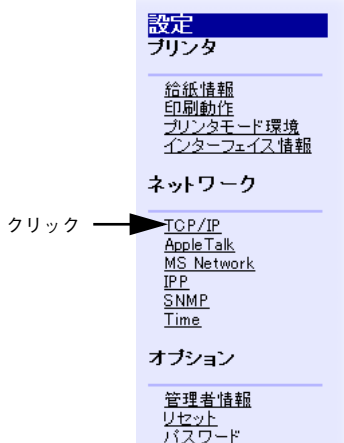
Webブラウザから起動する場合：

Webブラウザを起動してネットワークインターフェイスのIPアドレスをアドレスバーに入力し、[Enter］または［return］キーを押します。
このとき、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9およびMac OS X）は起動しないでください。
書式）http:// ネットワークインターフェイスのIPアドレス /
例）http://192.168.100.201/

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9およびMac OS X）から起動する場合：

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9およびMac OS X）のリスト画面から、本製品を選択して［ブラウザの起動］ボタンをクリックします。

2 画面が表示されたら、メニューから設定する項目をクリックします。

ここでは、TCP/IP 情報の設定を例に説明しますので、[設定］-［ネットワーク］メニューの［TCP/IP］をクリックしてください。

参考

- TCP/IP以外の情報を設定する場合は、設定する項目をクリックしてください。
- ［情報］/［設定］メニューの、[プリンタ］の各種項目を表示させるには、Java Plug-inがインストールされている必要があります。表示されない場合は下記のURLからPlug-inをダウンロードしてください。
  http://www.i-love-epson.co.jp/products/solution/network/epsonnet/java/

3 IP アドレスや各種アドレスを設定します。

お使いの環境に合わせて、ネットワークインターフェイスを設定します。

IPアドレス設定	
IPアドレスの取得方法	Manual
IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XX
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XX
デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XX

プライベートIP自動指定(APIPA)による設定	Disable

PINGによる設定	Disable

DNSサーバのアドレス設定	
DNSサーバのアドレスを自動的に取得する	Disable
DNSサーバアドレス(使用順)	XXX.XXX.XXX.XX XXX.XXX.XXX.XX XXX.XXX.XXX.XX

ホスト名とドメイン名の設定	
ホスト名とドメイン名を自動的に取得する	Disable
ホスト名	LP-XXXX-XXXXXX
ドメイン名	
ネットワークI/FのアドレスをDNSに登録する	Disable
ネットワークI/FのアドレスをDNSサーバに直接登録する	Disable

ユニバーサルプラグアンドプレイ設定	
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする	Disable
デバイス名	LP-XXXX-XXXXXX

Rendezvousの設定	
Rendezvous機能を有効にする	Disable
Rendezvous 名	LP-XXXX-XXXXXX .local
Rendezvous プリンタ名	LP-XXXX-XXXXXX

送信

IP アドレス設定

IPアドレス設定	
① IPアドレスの取得方法	Manual
② IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XX
③ サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XX
④ デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XX
⑤ プライベートIP自動指定(APIPA)による設定	Disable
⑥ PINGによる設定	Disable

① IP アドレスの取得方法

IP アドレスの取得方法を選択します。初期値では［Manual］が選択されています。

注意
ダイヤルアップ環境でお使いの場合は注意が必要です。以下のページをご覧ください。
☞55 ページ「ダイヤルアップルータ使用時の注意」

参考
- ［Auto］を選択すると、本製品の電源を入れるたびにプリンタドライバ上でプリンタポートの設定を変更する必要があります。そのため、TCP/IP 印刷をする場合は、［Manual］を選択して IP アドレスを設定することをお勧めします。
- ［Auto］を選択する場合は、本製品を含む各プリンタの電源を入れる順番を決めておくか電源を常時オンにしておけば、電源を入れるたびにプリンタポートを変更する必要はありません。

項目	内容
Auto	DHCP や BOOTP サーバから IP アドレスを自動取得する場合に選択します。これらのサーバがない環境では使用できません。設定に関しては各サーバの取扱説明書をご覧ください。
Manual	②の［IP アドレス］欄で IP アドレスを設定する場合に選択します。

② IP アドレス

［IP アドレスの取得方法］で［Manual］を選択した場合は、ネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力します。ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。

注意
- IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者に値を確認してください。IP アドレスがわからない場合は以下のページをご覧ください。
☞139 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
- 工場出荷時、IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

③サブネットマスク

サブネットマスクを入力します。初期値は［255.255.255.0］です。

④デフォルトゲートウェイ

ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータのIPアドレスを入力します。
初期値は［255.255.255.255］です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

⑤プライベートIP自動指定（APIPA）による設定

DHCPサーバでIPアドレスが取得できない場合は、［169.254.1.1］～［169.254.254.254］の範囲でIPアドレスが自動的に割り当てられます。使用する場合は、［Enable］を選択します。
ここで［Disable］が選択されており、DHCPサーバなどから応答がない場合は、IPアドレスは初期値のままとなります。

⑥ PINGによる設定

PINGによるIPアドレスの設定をする場合は、［Enable］を選択します。EpsonNet WebManagerを使う場合は［Disable］を選択します。
PINGによるIPアドレスの設定方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 160ページ「ARP/PINGコマンドでのIPアドレス設定」

DNS サーバのアドレス設定

	DNSサーバのアドレス設定	
①	DNSサーバのアドレスを自動的に取得する	Disable
②	DNSサーバアドレス(使用順)	XXX.XXX.XXX.XX XXX.XXX.XXX.XX XXX.XXX.XXX.XX

① DNSサーバのアドレスを自動的に取得する

DNS サーバのアドレスを DHCP サーバから自動的に取得する場合は、[Enable] を選択します。

② DNSサーバアドレス（使用順）

DNS サーバのアドレスを入力します。[DNS サーバのアドレスを自動的に取得する] で [Enable] を選択している場合でも、DHCP サーバから応答がない場合は、ここで設定した DNS サーバのアドレスが使用されます。設定したアドレスは、上位から優先的に使用します。使用しないフィールドには無効なアドレス（255.255.255.255）を設定してください。

ホスト名とドメイン名の設定

	ホスト名とドメイン名の設定	
①	ホスト名とドメイン名を自動的に取得する	Disable
②	ホスト名	LP-XXXX-XXXXXX
	ドメイン名	
③	ネットワークI/FのアドレスをDNSに登録する	Disable
④	ネットワークI/FのアドレスをDNSサーバに直接登録する	Disable

①ホスト名とドメイン名を自動的に取得する

ホスト名とドメイン名を DHCP サーバから自動的に取得する場合は、[Enable] を選択します。

②ホスト名、ドメイン名

ネットワークインターフェイスを装着したホスト名およびドメイン名を設定します。[ホスト名とドメイン名を自動的に取得する] で [Enable] を選択している場合でも DHCP サーバから応答できない場合は、ここで設定したホスト名およびドメイン名が使用されます。

③ネットワーク I/F のアドレスを DNS に登録する

ダイナミック DNS をお使いの環境で、設定したホスト名とドメイン名を DHCP サーバにより DNS サーバに登録する場合は、[Enable] を選択します。ネットワークインターフェイスの IP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名はダイナミック DNS によって自動更新されます。DNS サーバのアドレスとネットワークインターフェイスのホスト名とドメイン名が自動取得であるか、手動で入力されていないと、設定できません。

④ネットワーク I/F のアドレスを DNS サーバに直接登録する
設定したホスト名とドメイン名を直接 DNS サーバへ登録する場合は、[Enable] を選択します。[IP アドレスの取得方法] が [Auto] または [Manual] のどちらでも設定が可能です。

ユニバーサルプラグアンドプレイ設定

	ユニバーサルプラグアンドプレイ設定	
①	ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする	Disable
②	デバイス名	LP-XXXX-XXXXXX

①ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする
Windows Me 以降の、ユニバーサルプラグアンドプレイに対応した Windows で使用できるユニバーサルプラグアンドプレイ機能を使用する場合は、[Enable] を選択します。初期値は [Disable] です。
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能については、以下のページをご覧ください。
☞ 162 ページ「ユニバーサルプラグアンドプレイ機能」

②デバイス名
デバイス名を入力します。この名称は、ユニバーサルプラグアンドプレイ対応の Windows 上で使用されます。初期値は [プリンタ名＋ MAC アドレスの下 6 桁] です。

Rendezvous の設定

	Rendezvousの設定	
①	Rendezvous機能を有効にする	Disable
②	Rendezvous 名	LP-XXXX-XXXXXX .local
③	Rendezvous プリンタ名	LP-XXXX-XXXXXX

参考
Rendezvous 機能は、Mac OS X v10.2.4 以降でご利用になれる機能です。
Rendezvous の設定方法については、以下のページをご覧ください。
☞133 ページ「Rendezvous 機能の設定について」

① Rendezvous 機能を有効にする
Mac OS X v10.2.4 以降で Rendezvous を使って印刷する場合は、[Enable] を選択します。

② Rendezvous 名
Mac OS X v10.2.4 以降で Rendezvous をお使いの場合は、Rendezvous 名を入力します。初期値は、ホスト名が Rendezvous 名になります。

③ Rendezvous プリンタ名
Mac OS X v10.2.4 以降で Rendezvous をお使いの場合は、Rendezvous プリンタ名を入力します。入力した名前が、プリンタを追加するときに表示されるプリンタ名になります。

4 各項目を設定後、[送信] ボタンをクリックします。

5 パスワードを設定している場合は、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

ユーザー名とパスワードは、工場出荷時では何も設定されていないため、パスワードの入力画面は表示されません。手順 6 へ進んでください。

ユーザー名とパスワードを変更する場合は、[設定] - [オプション] メニューの以下の項目でそれぞれ行います。

- ユーザー名:[管理者情報] - [管理者名] 項目
- パスワード:[パスワード] - [新パスワード] 項目

注意

「設定は正常に更新されました」と表示されるまでは、ネットワークインターフェイスに情報を送っていますので、本製品の電源を切ったり、印刷データを送信したりしないでください。

6 設定を有効にするため、[今すぐリセット] ボタンをクリックします。

参考

IP アドレスを変更した場合は、ここでリセットすると今回設定した IP アドレスが有効になります。引き続き EpsonNet Config(Web)を使う場合は、EpsonNet Config (Web) の再読み込みが必要です。新しく設定した IP アドレスを Web ブラウザのアドレスバーに入力して表示を更新し、EpsonNet Config (Web) の再読み込みをしてください。

Rendezvous 機能の設定について

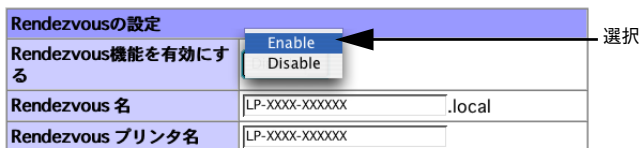
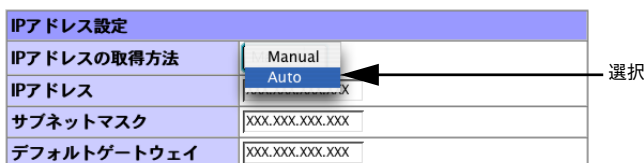
ご利用の Mac OS X v10.2.4 以降で、IP アドレスの取得方法に、DHCP/APIPA 機能を使うことで、ご利用になれる機能です。ただし、ネットワークインターフェイスの Rendezvous 機能は、初期値では無効となっており、あらかじめ EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）または EpsonNet Config（Web）を使用して Rendezvous 機能を有効に設定する必要があります。

> **参考** EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）による Rendezvous の設定方法については、各 EpsonNet Config のヘルプをご覧ください。

1. **コンピュータに IP アドレスを設定します。**
   ☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

2. **EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）を使用して、ネットワークインターフェイスに IP アドレスを設定します。**
   ☞ 41 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

3. **EpsonNet Config（Web）を起動して、[設定] - [ネットワーク] メニューの [TCP/IP] をクリックします。**
   ☞ 125 ページ「EpsonNet Config（Web）でのネットワークインターフェイス設定」

4. **[TCP/IP] 画面の [Rendezvous 機能を有効にする] ドロップダウンリストから [Enable] を選択します。**

5. **[TCP/IP] 画面の [IPアドレスの取得方法] ドロップダウンリストから [Auto] を選択します。**

以上で Rendezvous 機能の設定は終了です。Rendezvous を使って印刷するには以下のページをご覧ください。
☞ 90 ページ「Mac OS X v10.2-v10.3 の場合」

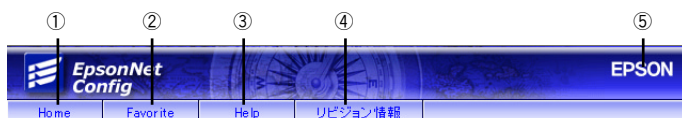
6 ［送信］ボタンをクリックして、設定を有効にします。

注意　設定変更動作中は、本製品の電源をオフにしたり、印刷データを送信したりしないでください。

インデックスとメニュー

EpsonNet Config（Web）のすべての画面で共通の、インデックスとメニュー（情報 / 設定）について説明します。

参 考	EpsonNet Config （Web） で表示される画面や設定できる項目は、お使いの機種と異なる場合があります。

インデックス

① Home

オープニング画面の［基本情報］が表示されます。

② Favorite

［管理者情報］で設定されたリンク先が表示されます。この項目名［Favorite］は［オプション］-［管理者情報］の［お気に入り名］で変更することができます。

③ Help/?

ヘルプが表示されます。

④リビジョン情報

リビジョン情報が表示されます。

⑤ EPSON

エプソンのホームページ「I Love EPSON」が別ウィンドウで表示されます。

メニュー

メニューには［情報］と［設定］の 2 つのメニューがあります。

参 考

- お使いの機種によっては、［情報］/［設定］-［プリンタ］メニューに表示されない画面や、各画面に表示されない項目があります。
- 各メニューの詳細については、EpsonNet Config （Web）のヘルプをご覧ください。

［情報］メニュー

プリンタとネットワークインターフェイスの設定状況を確認できます。

プリンタ

項目	内容
デバイス情報	ネットワークインターフェイスとプリンタの情報が表示されます。
消耗品情報	消耗品の使用状況が表示されます。
確認	各種ステータスシートの印刷により、プリンタとネットワークインターフェイスの設定状況を確認できます。
給紙情報	給紙装置の設定状況が表示されます。
印刷動作	プリンタの設定状況が表示されます。
プリンタモード環境	各プリンタモード環境の設定状況が表示されます。
インターフェイス情報	各種インターフェイスの設定状況が表示されます。

ネットワーク

項目	内容
基本情報	ネットワークインターフェイスの情報とプリンタの状態が表示されます。
TCP/IP	TCP/IP の設定状況が表示されます。
AppleTalk	AppleTalk の設定状況が表示されます。
MS Network	MS Network の設定状況が表示されます。
IPP	IPP の設定状況が表示されます。
SNMP	SNMP の設定状況が表示されます。
Time	タイムサーバの設定状況が表示されます。

［設定］メニュー

プリンタ、ネットワークインターフェイス、オプションについて、項目ごとに設定できます。

設定
プリンタ
給紙情報
印刷動作
プリンタモード環境
インターフェイス情報
ネットワーク
TCP/IP
AppleTalk
MS Network
IPP
SNMP
Time
オプション
管理者情報
リセット
パスワード

プリンタ

項目	内容
給紙情報	給紙装置を設定します。
印刷動作	印刷動作を設定します。
プリンタモード環境	各プリンタモード環境を設定します。
インターフェイス情報	各種インターフェイスを設定します。

ネットワーク

項目	内容
TCP/IP	TCP/IP を設定します。
AppleTalk	AppleTalk を設定します。
MS Network	MS Network を設定します。
IPP	IPP を設定します。
SNMP	SNMP を設定します。
Time	タイムサーバに関する設定をします。

オプション

項目	内容
管理者情報	管理者名と、インデックスの［Favorite］からリンクする任意の URL などを設定します。
リセット	各種インターフェイス設定のリセットおよび本製品を工場出荷時設定に戻します。
パスワード	ネットワークインターフェイスの設定を保護するために、パスワードを設定します。

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明します。

全 OS 共通

ネットワークインターフェイスの設定ができない / ネットワーク印刷ができない

処置 1）
まず、ネットワークステータスシートが印刷できるかどうか確認してください。
ネットワークステータスシートの印刷ができない場合は、本製品の操作パネルの［ネットワーク I/F セッテイメニュー］/［ネットワーク設定］メニューの -［ネットワーク I/F］設定が、［ツカウ］/［使う］になっているか確認してください。
ネットワークステータスシートの印刷が可能な場合は、ネットワークステータスシートに印刷されたネットワークの設定に誤りがないか確認してください。
☞ 153 ページ「ネットワークステータスシート」

処置 2）
HUB 、ケーブルなどが正常か確認してください。まず HUB を見て、デバイスが接続されているポートのリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認してください。
リンクランプが消灯している場合は、次のことを確認してください。
- 他のポートに接続して、リンクランプが点灯 / 点滅するかどうか
- 使用しているケーブルが断線していないかどうか

処置 3）
TCP/IP で使用している場合は、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されているか確認してください。
工場出荷時の値は ［192.168.192.168］ですが、製品の仕様上、工場出荷時の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、工場出荷時の値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

設定する IP アドレスがわからない

処置）
外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）を行う場合は、JPNIC (http://www.nic.ad.jp/) に申請を行って IP アドレスを正式に取得していただく必要がありますので、ネットワーク管理者へご相談ください。
IP アドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です (RFC1918 で規定されています)。
プライベートアドレス：
10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

設定した IP アドレスが変わってしまう

処置 1）

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）の TCP/IP の設定で、[IP アドレスの設定方法] を [自動] に設定していないかを確認して固定アドレスを設定してください。[自動] を選択すると、本製品の電源を入れるたびに、IP アドレスが変わってしまいます。

50 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

処置 2）

[自動] に設定する場合は、本製品を含む各プリンタの電源を入れる順番を決めていただくか、電源を常時オンにしておいてください。

処置 3）

TCP/IP の設定で、[PING による設定] のチェックが外れていることを確認してください。チェックされていると、外部から ARP/PING コマンドで IP アドレスが変更されてしまう可能性があります。

印刷に時間がかかる / データの末尾が欠けた状態になる

処置）

接続されている HUB の通信モードに合わせネットワークインターフェイスの通信モードを固定させてください。
ネットワークインターフェイスの通信モードが初期値設定（自動認識）の場合、接続されている HUB の通信モード（全二重 / 半二重）が固定されていると、ネットワークインターフェイスと HUB の通信モードに不整合が起きます。その結果、本製品の排紙ランプが点滅したままの状態になり、印刷速度が異常に遅くなったり、またはタイムアウトにより末尾のデータが欠けた状態で出力されたりする場合があります。
「ユーザーズガイド」（PDF）をご覧になり、接続されている HUB の通信モードに合わせネットワークインターフェイスの通信モードを固定させてください。

EpsonNet Config（Windows）が起動できない

処置）

EpsonNet Config（Windows）のインストール後に、OS 上でプロトコルやサービスの追加、削除を行うと、EpsonNet Config（Windows）が起動しなくなります。
EpsonNet Config（Windows）を削除し、再インストールしてください。

157 ページ「ユーティリティの削除方法」
44 ページ「EpsonNet Config（Windows）」

EpsonNet Config（Windows）の起動時に「ネットワークがインストールされていないため、EpsonNet Config（Windows）を使用することはできません」と表示される

このメッセージは、次のような場合に表示されます。

- コンピュータに TCP/IP プロトコルが組み込まれていない場合
- コンピュータに TCP/IP プロトコルのみが組み込まれていて、コンピュータの IP アドレスが正しく設定されていない場合
- コンピュータに TCP/IP プロトコルのみが組み込まれていて、DHCP サーバから各種アドレスを取得する設定下で、DHCP サーバが応答しない場合

処置）

［OK］ボタンをクリックするとEpsonNet Config（Windows）が起動する場合がありますが、TCP/IP の設定はできません。お使いのコンピュータのネットワーク設定を行ってください。

☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

EpsonNet Config（Web）を起動できない

処置）

EpsonNet Config（Web）を実行するには、まず、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）、ARP/PING コマンドまたは本製品の操作パネルからネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定する必要があります。現在の設定は、ネットワークステータスシートの［IP Address］欄で確認できます。

☞ 42 ページ「設定方法の概要」
☞ 153 ページ「ネットワークステータスシート」

ARP/PING コマンドでネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定できない

処置）

ping コマンドを実行後、「Reply from （IP address): ...」のメッセージが確認できず、「Request Time Out」や「Reply from .....: Destination host unreachable」などのメッセージが表示される場合は、接続しているネットワークケーブル、ネットワーク機器などのネットワーク環境を確認してください。なお、ARP/PING コマンドによる設定は、同一ネットワーク上でのみ行うことができます。

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）の［モデル名］に何も表示されず、［IP アドレス］に［NONE］と表示される

処置 1）

ネットワークインターフェイスの IP アドレスが初期値の場合、［モデル名］と［IP アドレス］が表示されない場合がありますが、ネットワークインターフェイスの設定は行えます。この場合、ネットワークインターフェイスは MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートの［MAC Address］欄で確認できます。

153 ページ「ネットワークステータスシート」

ネットワークインターフェイスの設定を行うと、正しく表示されるようになります。

処置 2）

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）の［表示］メニューの［最新の情報に更新］を実行してください。

処置 3）

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）の［ツール］メニューの［オプション］-［タイムアウト］で、［通信エラーとする時間］を大きい値に設定してください。この場合、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）の動作が遅くなる（探索に時間がかかります）ため注意してください。

Windows 98/Me

EpsonNet Printを使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置）
ダイヤルアップでインターネットに接続するよう設定されている場合に、このメッセージが表示されることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。
このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003

EpsonNet Printを使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置）
ダイヤルアップでインターネットに接続するよう設定されている場合に、このメッセージが表示されることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。
このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

Windows NT Server4.0 経由で、管理者以外のクライアントから印刷できない

処置）
プリントサーバ上で本製品のアクセス権リストから、［Creater Owner］が削除されている場合、もしくは［Creater Owner］の権利が［印刷］か［アクセス権なし］に設定されている場合にこの現象が発生します。正しく印刷するには、［Creater Owner］の権利を［文書 / ドキュメントの管理］に設定する必要があります。初期設定は［文書 / ドキュメントの管理］です。

Macintosh

セレクタに本製品が表示されない（Mac OS 9）

処置）

次のことを確認してください。

- コントロールパネルの［AppleTalk］で［Ethernet］が選択されているか
- セレクタで AppleTalk が［使用］になっているか

HUB、ケーブルなどのネットワーク機器もあわせて確認してください。

［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］の［追加］画面でプロトコルを選択しても、本製品が表示されない（Mac OS X）

処置 1）

プリンタドライバがインストールされているかを確認してください。

処置 2）

次のことを確認してください。

- EPSON AppleTalk の場合
  ［システム環境設定］の［ネットワーク］画面で［表示：］ドロップダウンリストから［内蔵 Ethernet］を選択し、［AppleTalk］タブで、［AppleTalk 使用］にチェックが付いているか
- EPSON TCP/IP の場合
  ･［システム環境設定］の［ネットワーク］-［TCP/IP］タブで、各種アドレスが設定されているか
  ･ネットワークインターフェイスに初期値以外の正しい IP アドレスが設定されているか
- Rendezvous の場合（Mac OS X v10.2.4 以降）
  EpsonNet Config（Web）の［設定］メニューの［ネットワーク］-［TCP/IP］で、［Rendezvous 機能を有効にする］が［Enable］に設定されているか

その他の便利な機能の紹介

ここでは、次の内容を紹介します。

プリンタドライバの自動インストール

プリンタドライバの自動インストール機能は、ネットワーク接続されたプリンタのエプソン製 Windows 用プリンタドライバだけが利用できる機能です。
任意のコンピュータにクライアント用のプリンタドライバを格納しておき、それをクライアントがコピーすることで、プリンタドライバのインストール作業を簡略化することができます。プリンタドライバの自動インストールには次の方法があります。
下記のユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。
14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

EpsonNet InstallManager のプリンタドライバ自動インストール機能

ネットワークプリンタのドライバインストールから印刷ポートの設定までを、自動的に実行するインストールパッケージを作成できるソフトウェアです。
管理者はグループごと、部署ごとに使用するプリンタドライバのパッケージを一括して作成でき、クライアント側のコンピュータでこのインストールパッケージを実行するだけで印刷環境が作成されるため、管理者のプリンタドライバ配布・インストール作業を大幅に軽減します。また、プリンタドライバだけでなく、「EPSON プリンタウィンドウ !3」も同時にパッケージ化できます。

EpsonNet WebManager のプリンタドライバ自動インストール機能

1. **管理ユーティリティ EpsonNet WebManager をインストールしたコンピュータに、Windows 用のプリンタドライバを格納します。**

2. **クライアントPCの Webブラウザから管理者に指定されたURL にアクセスすると、コンピュータに格納されているプリンタドライバが自動的にインストールされます。**

ネットワークプリンタの状態確認

ここでは、ネットワークプリンタの状態を確認できるユーティリティを紹介します。
これらのユーティリティを活用すると、離れた場所にあるプリンタを自分のコンピュータから設定したり、トラブルを確認することができます。
下記のユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

クライアント用ユーティリティ

EPSON プリンタウィンドウ !3

本製品に付属しているユーティリティで、対象 OS はプリンタドライバと同様です。
ネットワークプリンタの用紙やトナー・感光体と、エラー内容などを確認することができます。
EPSON プリンタウィンドウ !3 の詳細については、「ユーザーズガイド」（PDF）をご覧ください。

参 考	MS Network または IPP 印刷をする場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 は使用できませんのでご注意ください。

管理者用ユーティリティ

EpsonNet WebManager

EpsonNet WebManager は、Web ブラウザベースのネットワークプリンタ管理ユーティリティです。ネットワークプリンタの状態を確認できるほか、ネットワークに関する各種設定を行うことができます。
プリンタの管理には業界標準の SNMP/MIB を使用していますので、MIB に対応している他社製プリンタの管理も可能です（プリンタメーカによってプリンタ MIB の実装に一部違いがあり、同じ情報でも EpsonNet WebManager で取得できない場合があります）。

ネットワーク管理ツールのご案内

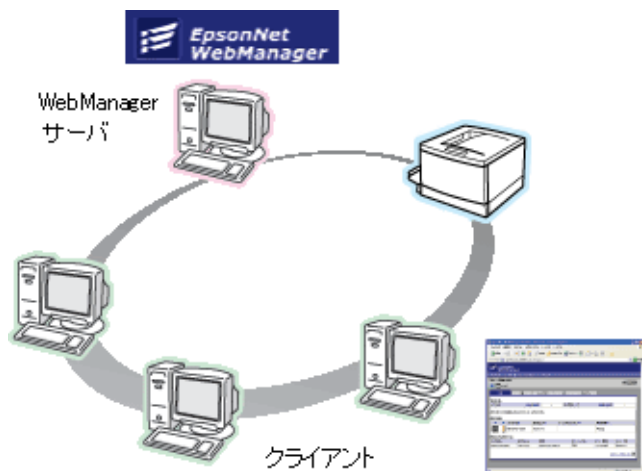
EPSON では、オフィスの中でさらに効果的・効率的に EPSON プリンタをお使いいただくためのネットワーク管理ツールをご提供しております。
印刷だけでなく、トータルなプリンタ管理を含めてご提案しております。ぜひご活用ください。
ユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

ネットワークプリンタ管理

EpsonNet WebManager

EpsonNet WebManager とは

EpsonNet WebManager は Web ブラウザベースのネットワークプリンタ管理ユーティリティです。以下のようなネットワーク管理者の要望を解決します。

- オフィスのプリンタの状態を常に把握しておきたい
- 管理するプリンタのエラー状況を一目で把握したい
- エラーが起きたプリンタがどこにあるかをすぐ知りたい
- ユーザーが使用するプリンタドライバのバージョンを一元管理したい

EpsonNet WebManager を使うと

ネットワーク上のプリンタを探し出して、集中管理できます。オフィスごとや課単位のグループを作ることで、多くのプリンタでも効率的に管理できます。EpsonNet WebManager が提供する機能を使うと、次のようなこと（管理）ができます。

- プリンタの一覧や配置を把握できます
  ネットワーク上にプリンタが多数存在する場合、それらのプリンタすべてを把握するのは困難です。EpsonNet WebManager を使えば、登録されているプリンタの一覧表を表示させることができるので、管理者は手元のブラウザでネットワーク上のプリンタを一括管理できます。また、プリンタに資産管理番号を付与して一覧表示することもできますので、資産管理に関する管理者の負担を軽減できます。

  さらに、オフィスのレイアウト図にプリンタアイコンを配置して表示する機能によって、プリンタの 2 次元的な配置位置を表示させることができます。プリンタの場所と状態を同時に管理できますので、障害発生時の早期解決を支援します。

- プリンタで発生している問題（障害発生状況）を把握できます
  毎日 9 時、毎週月曜日など、指定した時間間隔で、管理しているプリンタで発生している障害の一覧情報を E-mail で受け取る（知る）ことができます。また、障害の発生履歴を記録することもできます。届いた E-mail や記録された履歴を元に、プリンタでの障害の発生頻度や、どのプリンタで障害が多発しているか（障害発生分布）など、障害発生の傾向も知ることができます。障害発生の傾向を知ることで、深刻な事態を招く前に必要な対策を講じることができ、プリンタをより安定して利用することができます。
  プリンタで発生している障害の内容は、プリンタの設置場所に行かなくても、手元のブラウザで知ることができます。別の階や別の棟にあるプリンタであっても、目の前のブラウザで障害の内容を把握できるので、わざわざ出向くことなく、困っているユーザーに電話で適切な対処方法を指示することもできます。

- プリンタの稼動状況と消耗品の残量を知ることができます
  プリンタの稼動状況や消耗品の残量推移の履歴（ログ）を記録できますので、これらの履歴情報から各プリンタの利用頻度を把握することができます。利用頻度に関する情報を活用すれば、消耗品の手配やプリンタの配置を最適化することができます。EpsonNet WebManager を使うことでプリンタをより有効に活用できるようになります。

- プリンタドライバを収集・配布できます
  インターネットから最新のプリンタドライバを自動的に収集できます。また、収集したドライバは、実際に印刷を実行するクライアント（印刷を行うユーザー）のコンピュータへ、Web ブラウザ経由で配信することもできます。
  EpsonNet WebManager はインターネットと連携することができるので、ワンクリックでエプソンのホームページから最新のプリンタドライバをダウンロードし、配布可能な形態で格納できます。クライアントは、通知された URL に Web ブラウザでアクセスし、プリンタを指定することでプリンタドライバをインストール、印刷できるようになります。

主な機能の紹介

プリンタ管理
EpsonNet WebManager はインターネット標準の SNMP プロトコルを使用して、ネットワークプリンタを管理する為に必要な情報を取得 / 設定します。

検索・一覧	・ネットワーク上のプリンタを探索し一覧表示が可能 ・ネットワーク指定によりルータを越えた先のプリンタも探索可能 ・特定のデバイス / 特定のネットワーク / 特定のアドレスに基づいた検索が可能 ・プリンタを一覧表示する際の列項目はカスタマイズ可能
グループ管理	・管理プリンタを論理グループに分けて管理が可能 ・レイアウト図を作成することで、プリンタの位置と状態を同時に確認可能（レイアウト表示）
デバイス管理	EpsonNet WebManager では管理するプリンタをデバイスと呼びます。 ・「デバイス詳細画面」により、プリンタのより詳細な状態・情報を確認可能 ・プリンタ本体に表示されているメッセージもリモートで確認可能 *1 ・ネットワーク設定・本体設定がリモートで可能 ・障害発生 / 消耗品 / 稼動状況のログ取得が可能（ログ収集）*2 ・印刷ジョブに関する情報の表示と印刷の中止が可能 *3 ・E-Mail によるグループ単位での定期的な状態の通知が可能（障害通知）*4

*1 対応する情報が取得可能なプリンタのみ表示可能です。
*2 EpsonNet WebManager で取得したログは指定された時間間隔でファイルに出力されます。また、出力したファイルを E-mail に添付して発信することもできます。
*3 印刷ジョブ情報に対応した EPSON プリンタのみ可能です。
*4 EpsonNet WebManager 上で設定した間隔で障害が発生していれば E-Mail で通知します。

ドライバ管理
EpsonNet WebManager を使用すると、以下のプリンタドライバを管理できます。

- EpsonNet WebManager で管理できる EPSON 製プリンタのプリンタドライバ（PostScript ドライバは不可）
  エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）で最新情報をご確認ください。
- EPSON 製 Windows 用プリンタドライバ

ドライバ配信	「ドライバ格納ツール」により FD/CD-ROM 等のメディアからプリンタドライバを配布可能な形態で格納 クライアントは通知された URL に Web ブラウザでアクセスし、プリンタを指定することでプリンタドライバのインストールが可能
インターネット連携	インターネットと連携し、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）から最新のプリンタドライバをダウンロードし、配布可能な形態で格納可能 （実際にプリンタドライバを収集する際には上記 URL に自動でアクセスします。）

付録

ネットワークステータスシート

ネットワークステータスシートを印刷すると、ネットワークインターフェイスの設定の状況を確認することができます。ネットワークステータスシートにはMACアドレスや、設定したIPアドレスなどの情報が記載されています。
ネットワークステータスシートの詳しい内容については、以下のページをご覧ください。
☞ 154ページ「ネットワークステータスシートの印刷例（初期値）」

ネットワークステータスシートの印刷

ネットワークステータスシートは、本製品の操作パネルを使用して印刷します。

注 意

本製品の電源をオンにすると、しばらくの間ネットワークインターフェイスは初期化動作を行います（初期化動作中は2つのランプが緑点灯/オレンジ点灯になります）。初期化動作中にネットワークステータスシートの印刷を実行すると、ネットワークインターフェイスの状態が正しく印刷されない場合があります（IPアドレスの欄に（NONE）と印刷される等）。このような場合は、しばらく待ってから再度印刷を実行してください。

参 考

- 本製品の操作パネルの[ネットワークI/F セッテイメニュー]/[ネットワーク設定] メニューの［ネットワークI/F］設定が、[ツカウ]/[使う]になっているか確認してください。
- 液晶ディスプレイに表示されるメッセージは、お使いの機種と異なる場合があります。

1 **本製品に用紙をセットし、電源をオンにします。**

2 **液晶ディスプレイに、[インサツカノウ]/[印刷できます] または [セツデン]/[節電中] と表示されていることを確認します。**

3 **[▶/↵(3)] スイッチを2回押します。**
液晶ディスプレイに [ステータスシート]/[プリンタ情報] メニューが表示されます。

4 **[▼(4)] スイッチを1回押します。**

5 **[ネットワークジョウホウ]/[ネットワーク情報印刷] が表示/選択されていることを確認して、[▶/↵(3)] スイッチを1回押します。**

- ネットワークステータスシートが印刷されます。ネットワークステータスシートの印刷には数秒かかります。
- 印刷が終了後しばらくすると印刷可ランプが点灯し、液晶ディスプレイに [インサツカノウ]/[印刷できます] と表示されます。

ネットワークステータスシートの印刷例（初期値）

参 考

- ネットワークステータスシートに記載される項目は、お使いの機種によって異なる場合があります。
- (NONE)と表示される項目は、有効な値を設定すると、その値が表示されます。

＜例＞

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (1/2) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<General Information>
Card Type                    EPSON Built-in 10Base-T/100Base-TX Print Server
MAC Address                  00:00:48:XX:XX:XX
Hardware                     XX.XX
Software                     XX.XX
Printer Model                LP-XXXX
Time                         XXXX-XX-XX XX:XX:XX GMT+XX:XX

<Ethernet>
Network Status               100BASE-TX, Full Duplex

<TCP/IP>
Get IP Address               Manual
IP Address                   (NONE)
Subnet Mask                  (NONE)
Default Gateway              (NONE)
APIPA                        Disable
Set using PING               Enable
Acquisition way of DNS ADDR  Disable
DNS Server Address           (NONE)
                             (NONE)
                             (NONE)
Acquire Host/Domain name     Disable
Host Name                    LP-XXXX-XXXXXX
Domain Name                  (NONE)
Register the NW I/F to DNS   Disable
  Register directly to DNS   Disable
Universal Plug and Play      Disable
  Device Name                (NONE)
Rendezvous                   Disable
  Rendezvous Name            (NONE)
  Rendezvous Printer Name    (NONE)
  Rendezvous Service         (NONE)

<Time>
Time Server                  Disable
Time Server IP Address       (NONE)
Synchronize Interval         (NONE)
Time Difference(GMT+/-HH:MM) +XX:XX
Time Server Status           Invalid

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH LP-XXXX HH
```

＜例＞

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (2/2) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<AppleTalk(R)>                Enable
Printer Name                  LP-XXXX-XXXXXX
Zone Name                     *
Network Number Set            Auto
Network Number                XXXX
Node ID                       XX
Entity Type #1                EPSONPAGECJ1

<MS Network(R)>               Enable
Print Server Name             XXXXXXXX
Workgroup Name                WORKGROUP
Share Name                    EPSON

<IPP>
IPP URL                       http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/EPSON_IPP_Printer
Printer Name                  EPSON_IPP_Printer
Location                      (NONE)

<SNMP>
Read Community                public
IP Trap 1                     Disable
IP Trap Address 1             (NONE)
IP Trap Community 1           (NONE)
IP Trap Port 1                (NONE)
IP Trap 2                     Disable
IP Trap Address 2             (NONE)
IP Trap Community 2           (NONE)
IP Trap Port 2                (NONE)
IP Trap 3                     Disable
IP Trap Address 3             (NONE)
IP Trap Community 3           (NONE)
IP Trap Port 3                (NONE)
IP Trap 4                     Disable
IP Trap Address 4             (NONE)
IP Trap Community 4           (NONE)
IP Trap Port 4                (NONE)

IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII LP-XXXX HH
```

ネットワークインターフェイスの工場出荷時への戻し方

次の場合に、ネットワークインターフェイスを工場出荷時の状態に戻してください。

- ネットワークインターフェイスに誤った設定をした場合
- ネットワークインターフェイスが誤動作をして、ネットワークインターフェイスが設定ユーティリティに表示されなくなった場合

工場出荷時への戻し方は次の通りです。

参考

- ネットワークインターフェイスを工場出荷時の状態に戻すと、他のすべてのパネル設定値も工場出荷時の状態に戻ります。
- 液晶ディスプレイに表示されるメッセージは、お使いの機種と異なる場合があります。
- EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）と EpsonNet Config（Web）からも、本製品を工場出荷時状態へ戻すことができます。詳細は各 EpsonNet Config のヘルプをご覧ください。

1. **本製品の電源をオフにします。**

2. **［ジョブキャンセル］スイッチを押しながら、電源をオンにします。**
液晶ディスプレイの表示が［SELECTYPE INIT］と表示されるまで、数秒間［ジョブキャンセル］スイッチを押し続けます。

3. **液晶ディスプレイに［インサツカノウ］/［印刷できます］と表示されたら、ネットワークステータスシートを印刷してシートの記載内容が工場出荷時状態かを確認してください。**
☞ 153 ページ「ネットワークステータスシートの印刷」

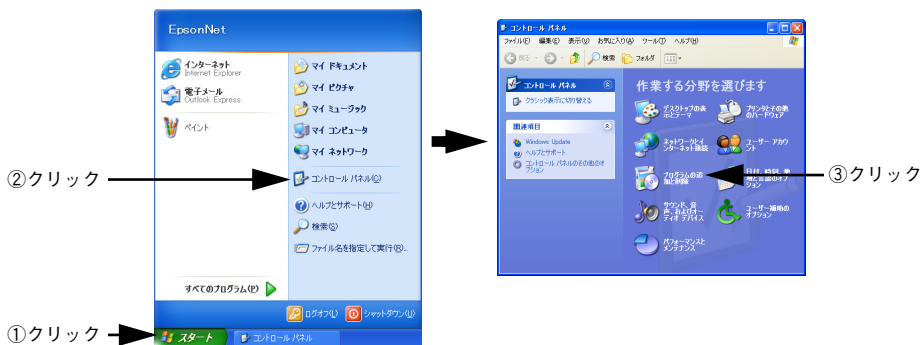
ユーティリティの削除方法

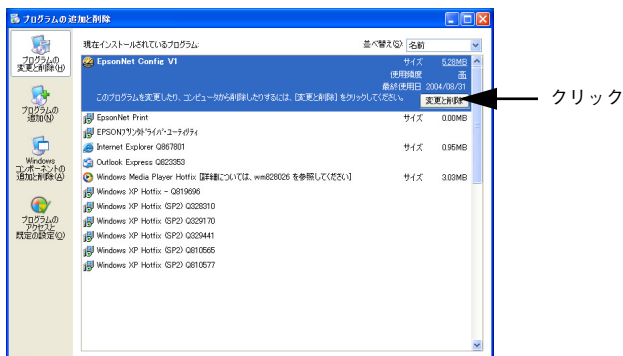
ユーティリティの削除方法を説明します。

Windows 用ユーティリティ

参 考　Windows 2000/XP/Server 2003 に EpsonNet Config（Windows）をインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログインする必要があります。

1 ［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックして、［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows 98/Me/2000/NT4.0 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックして、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

2 削除したいユーティリティを選択して、［変更と削除］ボタンをクリックします

Windows 98/Me/NT4.0 の場合は、［追加と削除］ボタンをクリックします。
この後は、画面の指示に従ってください。

Macintosh 用ユーティリティ

参 考	Mac OS X の場合、EpsonNet Config（Mac OS X）を削除するには管理者権限を持つユーザーでログインする必要があります。

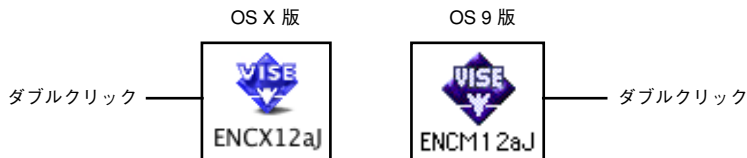
EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）の削除方法を説明します。

1. **コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、デスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**
   Mac OS 9.1 以降の場合は、コンピュータに CD-ROM をセットして次へ進みます。

2. **［Mac OS X 専用ソフトウェア］フォルダをダブルクリックして開き、［EpsonNet ソフトウェア］フォルダをダブルクリックして、［EpsonNet Config］フォルダをダブルクリックします。**
   Mac OS 9.1 以降の場合は、［EpsonNet ソフトウェア］-［EpsonNet Config］フォルダの順にダブルクリックします。

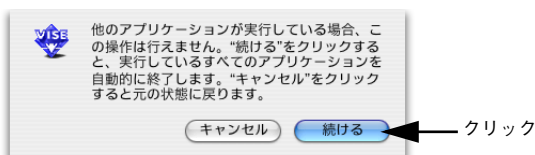
<< インストーラ >>
お使いのOS用のｱｲｺﾝを
ﾀﾞﾌﾞﾙｸﾘｯｸしてください

3 ［ENCX12aj］アイコンをダブルクリックします。［認証］画面が表示されたら、パスワードを入力してください。

Mac OS 9.1 以降の場合は、［ENCM12aj］アイコンをダブルクリックします。

4 表示された画面で［続ける...］ボタンをクリックします。

5 ［ライセンス］画面の使用許諾内容を確認し、［同意］ボタンをクリックします。

6 画面上部のドロップダウンリストから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］ボタンをクリックします。

7 ［続ける］ボタンをクリックします。

8 この後は、画面の指示に従ってアンインストールします。

9 ［終了］ボタンをクリックします。

ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定

ARP/PING コマンドから、工場出荷時状態のネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定する手順を説明します。
ARP/PING コマンドは、次の条件の両方を満たしたときに使えます。

- 設定に使うコンピュータが、ネットワークインターフェイスと同じセグメントにあるとき
- Windows に TCP/IP が正常に組み込まれ、設定されている場合

参 考	本製品の操作パネルの［ネットワーク I/F セッテイメニュー］/［ネットワーク設定］メニュー－［IP アドレスセッテイ］/［IP アドレス設定］で［PING］が選択されていることを確認してください。[PING］が選択されていない場合は、ARP/PING コマンドからの IP アドレス設定はできません。 操作パネルからの設定方法については、「ユーザーズガイド」（PDF）をご覧ください。

ネットワークインターフェイスの IP アドレスを 192.168.100.201（プライベートアドレス）に設定する場合を例に説明します。

ゲートウェイアドレスの設定

設定に使うコンピュータに、ゲートウェイアドレスを設定します。

1. **ゲートウェイになるサーバやルータがある場合、そのサーバやルータのアドレスを設定します。**
   ゲートウェイがない場合は自分自身のコンピュータの IP アドレスをゲートウェイアドレスに設定します。
   ☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

2. **ネットワークに接続した本製品の電源をオンにし、コンピュータで［コマンドプロンプト］を起動してください。**
   Windows 98/Me の場合は、[MS-DOS プロンプト］を起動してください。

3. **同一セグメント内の動作中コンピュータ、またはルータやゲートウェイがあれば、それらに対して PING コマンドを実行します。設定に使用しているコンピュータ以外の機器に対して、PING コマンドを実行してください。**
   書式） ping_ 最寄りのコンピュータなどの IP アドレス（_ は半角スペース）
   例） IP アドレス 192.168.100.101 のコンピュータがある場合
   C:¥>ping_192.168.100.101
   PING コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.101: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（time などの値は変動します）。

4 arp コマンドを実行して、ネットワークインターフェイスに設定したい IP アドレスを、ネットワークインターフェイスの MAC アドレスと関連付けます。

> **参考**
> - IP アドレスは、ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。
> - MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。
>
> ☞153 ページ「ネットワークステータスシート」

書式） arp_-s_ネットワークインターフェイスに設定したいIPアドレス_ネットワークインターフェイスの MAC アドレス（_は半角スペース）
例） C:¥>arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00

5 pingコマンドを実行して、ネットワークインターフェイスのIPアドレスを設定します。

書式） ping_ 手順 4 でネットワークインターフェイスに設定した IP アドレス（_は半角スペース）
例） C:¥>ping_192.168.100.201

ping コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.201: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（time などの値は変動します）。
ここで表示された IP アドレスが 192.168.100.201 であることを確認します。

> **参考**
> - ここで「timed out」などのメッセージが表示された場合、IP アドレスは正しく登録されていません。再度 ping コマンドを実行するか、手順 3 から再度設定をしてください。
> - ping コマンドで IP アドレスを設定した場合、サブネットマスクは IP アドレスのクラスによって自動的に変更されます。ネットワーク環境に合わせてサブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイを変更する場合は、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）から設定してください。設定方法については、以下のページをご覧ください。
>
> ☞50 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

6 ネットワークステータスシートを印刷します。

ネットワークステータスシートに、ネットワークインターフェイスに設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。

☞ 153 ページ「ネットワークステータスシート」

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

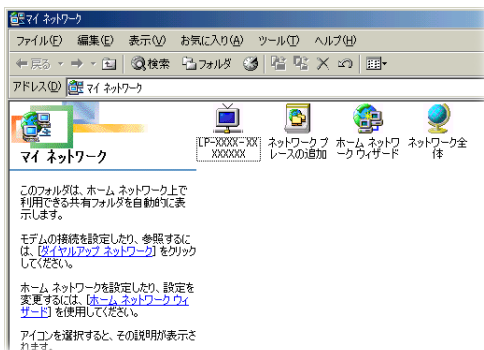
Windows Me 以降の、ユニバーサルプラグアンドプレイに対応した Windows から本製品のネットワークインターフェイスを装着したプリンタを使う場合、次のような便利な機能が利用できます。
Windows Me でこれらの機能を使用する場合は、以下のページをご覧になり、[ユニバーサル プラグ アンド プレイ] をインストールしてください。
☞ 164 ページ「ユニバーサル プラグ アンド プレイのインストール」

> **参 考**
> ネットワークインターフェイスのユニバーサルプラグアンドプレイ機能は、初期設定では無効になっています。使用するには、EpsonNet Config（Windows）または EpsonNet Config（Web）から設定してください。EpsonNet Config（Windows）による設定方法については、EpsonNet Config（Windows）のヘルプをご覧ください。
> ☞131 ページ「ユニバーサルプラグアンドプレイ設定」

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

Windows Me で利用できる機能を例に説明します。

デバイスアイコンの自動表示

プリンタ（ネットワークインターフェイス）をネットワークに接続するだけで、[マイネットワーク] 画面にデバイスアイコンが表示されます。

プリンタ情報の表示

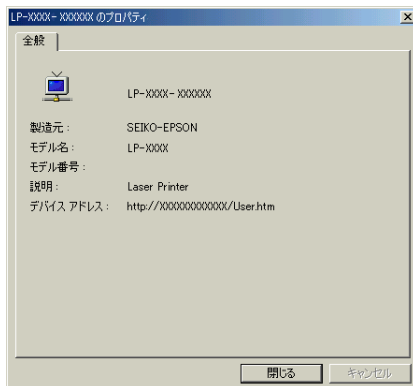
自動表示されたデバイスアイコンをダブルクリックすると、プリンタの簡易情報が表示されます。

プリンタの簡易情報表示には、Web ブラウザを使用します。Web ブラウザは、Windows に標準で組み込まれているものをお使いいただけます。

123 ページ「EpsonNet Config（Web）の概要」

＜例＞

ネットワークインターフェイス情報の表示

自動表示されたデバイスアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択すると、ネットワークインターフェイスの簡易情報（IP アドレスなど）を確認できます。

IP アドレスの自動設定

セグメント内で適切な IP アドレスが自動的に割り当てられる（DHCP サーバまたは UPnP の機能によって、ネットワークインターフェイスの IP アドレスが自動的に設定される）ため、ネットワークインターフェイスの IP アドレス設定が不要です。

ただし、TCP/IP 印刷をする場合は、手動で IP アドレスを設定することをお勧めします。

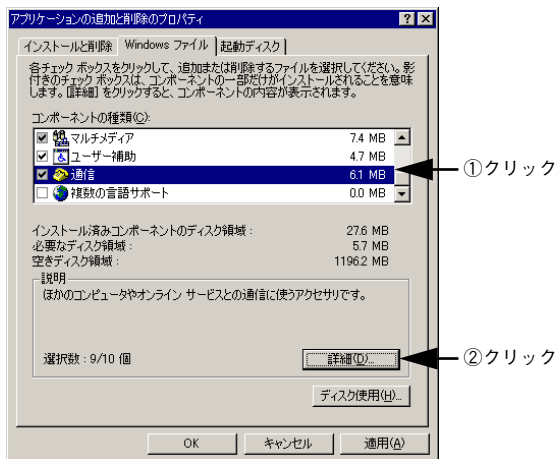
42 ページ「設定方法の概要」

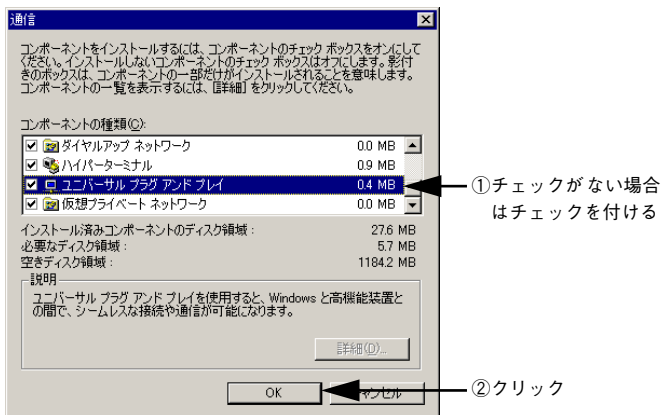
ユニバーサル プラグ アンド プレイのインストール

Windows Me をお使いの場合は、次の手順でインストールします。

1. ［スタート］ボタン -［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックして、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

2. ［Windows ファイル］タブをクリックします。

3. ［コンポーネントの種類］一覧の［通信］をクリックし、［詳細］ボタンをクリックします。

4. ［ユニバーサル プラグ アンド プレイ］チェックボックスがチェックされていない場合は、チェックして、［OK］ボタンをクリックします。

   チェックされている場合はインストール済みですので、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

5 ［コンポーネントの種類］一覧で、［OK］ボタンをクリックします。インストールが始まります。

6 インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。

参考	WindowsをCD-ROMからセットアップした場合は、そのCD-ROMをコンピュータに挿入するように求めるメッセージが表示されます。

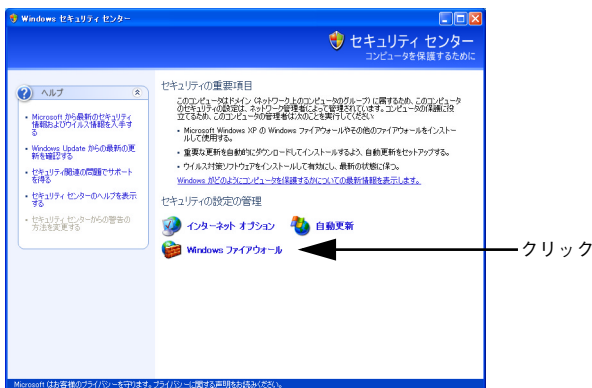
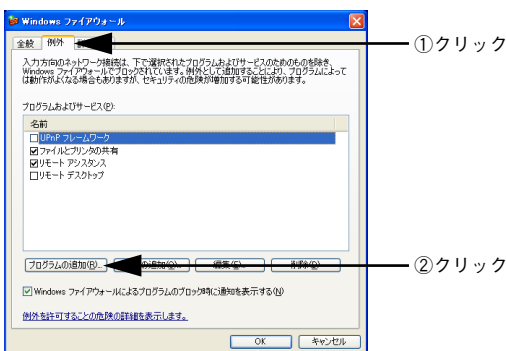
Windows ファイアウォールの例外アプリケーションへの登録方法

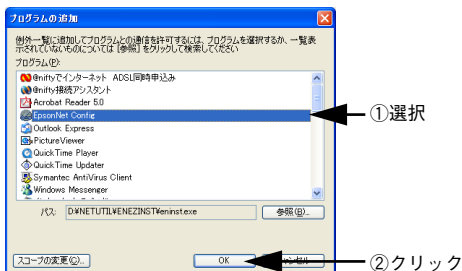
EpsonNet Config（Windows）およびEpsonNet EasyInstall（Windows）で設定中に［ブロックする］ボタンを選択した場合は、各設定ツールの画面上にネットワークインターフェイスが表示されないため、設定を続けることができません。
以下の説明に従って、「Windows ファイアウォールの例外アプリケーション」として設定ツールを登録してください。

注 意	Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティ上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピュータウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。 弊社は、この設定変更によって生じた損害および障害につきましては一切責任を負いません。

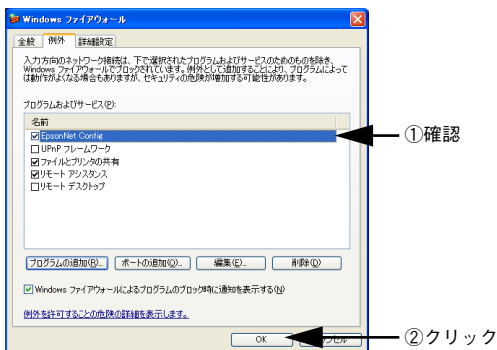
1. ［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックします。

2. ［セキュリティセンター］をクリックします。

3 ［Windows ファイアウォール］をクリックします。

4 ［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。

5 ［EpsonNet Config］を選択して［OK］ボタンをクリックします。

参考 EpsonNet EasyInstall（Windows）の場合は、「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」内の［EpsonNetEasyInstall.exe］を選択する必要があります。「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」を参照するには、CD-ROM をコンピュータにセットして［参照］ボタンをクリックしてください。

6 ［EpsonNet Config］が［プログラムおよびサービス］に登録され、チェックボックスにチェックが付いていることを確認したら、［OK］ボタンをクリックします。

参 考

EpsonNet EasyInstall（Windows）の場合は、［EpsonNet EasyInstall.exe］が［プログラムおよびサービス］に登録され、チェックボックスにチェックが付いていることを確認したら、［OK］ボタンをクリックします。

以上で登録作業は終了です。

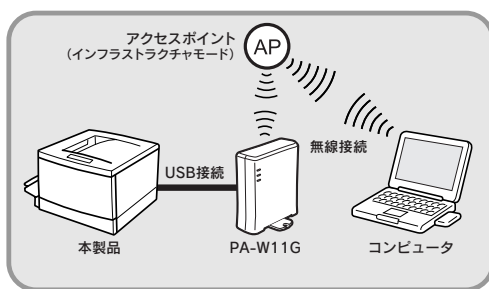
参 考

Windows 共有プリンタ接続でお使いの場合
「Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」をインストールしている環境において、本製品を Windows の共有プリンタ接続で使用している場合、EPSON プリンタウィンドウ！3（プリンタ監視ユーティリティ）から利用できる機能に制限が発生することがあります。
制限事項と回避方法の詳細に関しては、エプソンのホームページをご覧ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/

無線環境で本製品を使用する

オプションの無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G）を使うと、本製品をワイヤレス環境でお使いいただけるようになります。

セットアップの前に

ここでは、アクセスポイントのある環境（インフラストラクチャ）で、PA-W11G とコンピュータをUSB 接続してセットアップする方法を説明しています。アクセスポイントのない環境（アドホック）での設定方法や、PA-W11G とコンピュータを無線接続してセットアップする場合は、PA-W11G に同梱の CD-ROM に収録されている、「PA-W11G 取扱説明書（PDF マニュアル）」をご覧ください。

セットアップを始める前に、本製品に添付の「はじめにお読みください」の説明に従って、本製品のセットアップは済ませておいてください。またアクセスポイントおよび使用するコンピュータの無線設定を行い、無線通信ができている状態にしておいてください。

接続する無線ネットワーク環境の確認

セットアップを始める前にご利用のアクセスポイントや無線ネットワーク環境を確認し、次の項目についてメモを取っておいてください。

接続したいアクセスポイントの情報
SSID（ネットワーク名）：
WEP キーまたは WPA-Personal（TKIP）パスワード：
WEP キー No.：□ 1　□ 2　□ 3　□ 4
DHCP 機能：□ ON　□ OFF

PA-W11G に設定する各種情報	
Windows/Mac OS X の場合	Mac OS 9 の場合
IP アドレス：　.　.　.	AppleTalk ゾーン名：
サブネットマスク：　.　.　.	ネットワーク番号の取得方法：□自動　□手動
デフォルトゲートウェイ※：　.　.　.	手動取得時のネットワーク番号：

※デフォルトゲートウェイは、アクセスポイントの「LAN 側の IP アドレス」を設定してください。

参 考

- アクセスポイントにセキュリティを設定しているときは、PA-W11Gをセットアップする際に WEP キーを入力したり、PA-W11G の MAC アドレスをアクセスポイントに登録するなど、あらかじめ行なっておく作業があります。詳しくは接続したいアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントの製造元によっては、SSID をESSIDやネットワークIDなどと呼んでいることがあります。
- ルータ、アクセスポイントによっては IP プロトコル以外のプロトコルをサポート（ルーティング）していない製品があります。IP プロトコル以外で使用する場合はルータ、アクセスポイントの仕様を十分に確認の上で使用してください。

Windows で接続とセットアップをする方法は、以下のページを参照してください。
☞ 171 ページ「Windows でのセットアップについて」
Macintosh で接続とセットアップをする方法は、以下のページを参照してください。
☞ 185 ページ「Macintosh でのセットアップについて」

Windows でのセットアップについて

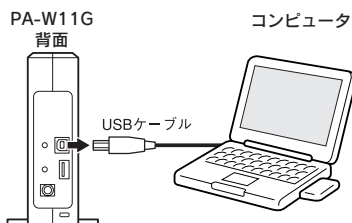
ここでは、Windows 98SE/Me/2000/XP/Server 2003 が動作するコンピュータから、TCP/IP プロトコルを使って、PA-W11G に接続した本製品を使用するためのセットアップ手順を説明します。TCP/IP 以外のプロトコルを使用して印刷などをしたいときは、PA-W11G に同梱の CD-ROM に収録されている、「PA-W11G 取扱説明書（PDF マニュアル）」をご覧ください。
Windows XP の画面を例にインストールから設定までを以下の手順で説明します。

1. PA-W11G の USB ドライバとソフトウェアのインストール
2. 無線、TCP/IP、プリンタドライバの設定

1. PA-W11G の USB ドライバとソフトウェアのインストール

まず、PA-W11G 用の USB ドライバとソフトウェアをコンピュータにインストールします。

注意	接続の指示があるまでは、USB ケーブルをコンピュータに接続したり、PA-W11G の電源をオンにしたりしないでください。

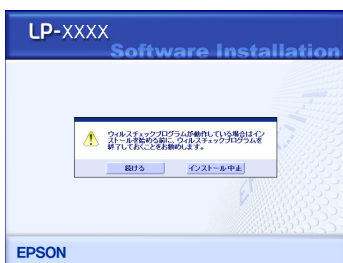
1 PA-W11G とコンピュータとが USB ケーブルで接続されていないことを確認します。

2 コンピュータを起動します。

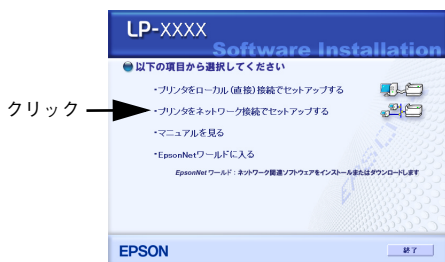
注意	• Windows 2000/XP にインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンする必要があります。 • 設定をするコンピュータの画面表示は、SVGA（800 × 600）以上にしてください。

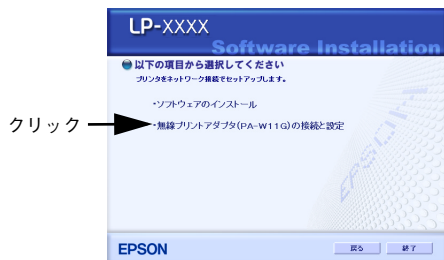
3 **本製品に同梱の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、ウィルスチェックプログラムに対処します。**

- ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］ボタンをクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を開始します。
- ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は［続ける］ボタンをクリックして次へ進みます。

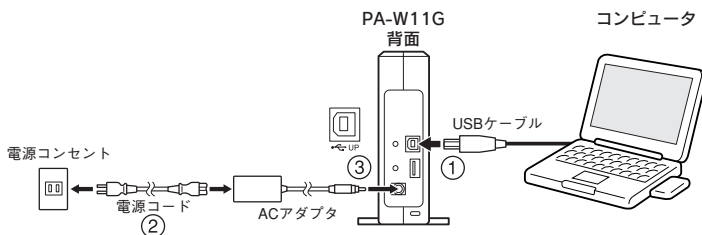
参考

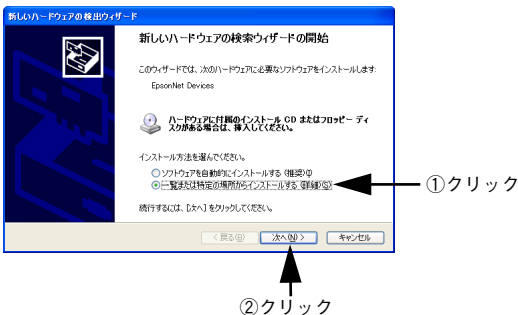
- 本文中の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」の画面は、実際の表示と異なる場合があります。
- 画面が自動的に表示されないときや［インストール中止］ボタンをクリックした後に作業を再開したいときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

4 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認して［同意する］をクリックし、以下の画面で「プリンタをネットワーク接続でセットアップする」をクリックします。**

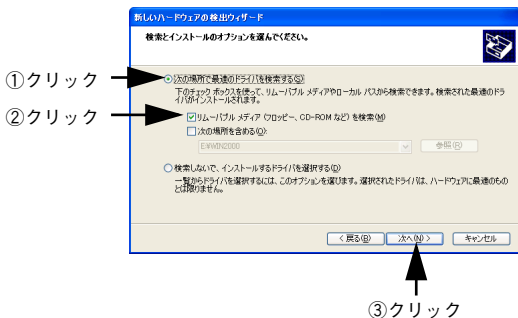
参考

プリンタの機種を選択する画面が表示された場合は、本製品のモデル名をクリックしてください。

5 「無線プリントアダプタ（PA-W11G）の接続と設定」をクリックします。

6 ［無線プリントアダプタ（PA-W11G）の接続と設定］画面の手順1～2に従って、コンピュータとPA-W11Gを接続します。

下図の①～③の順に、接続などの作業を行います。

参考	USB コネクタの向き / 差し込み位置を間違えないように注意してください。コンピュータと接続するときは UP ポートに差し込んでください。

PA-W11G に AC アダプタ（③）を接続すると、新しいハードウェアを検出するプログラムが起動します。Windows Update への接続を確認する画面が表示されたときは、［いいえ、今回は接続しません］をクリックして［次へ］ボタンをクリックしてください。

7 ①［一覧または特定の場所からインストールする］をクリックして、②［次へ］ボタンをクリックします。

■ Windows 98SE の場合
［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。
■ Windows Me の場合
［ドライバの場所を指定する］をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。
■ Windows 2000 の場合
［デバイスに最適なドライバを検索する］をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。

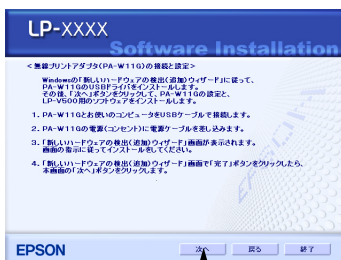
8 ①［次の場所で最適のドライバを検索する］をクリックして②［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］をチェックし、③［次へ］ボタンをクリックします。

■ Windows 98SE/2000 の場合
［CD-ROM ドライブ］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。
■ Windows Me の場合
［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］をクリックして［リムーバブルメディア］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。

9 ［ソフトウェアをインストールしています。お待ちください ...］画面が表示されます。

■ Windows 98SE の場合
［次のデバイス用のドライバファイルを検索します。］画面で［次へ］ボタンをクリックします。
■ Windows Me の場合
［デバイス用のドライバファイルの検索］画面で［次へ］ボタンをクリックします。
■ Windows 2000 の場合
［ドライバファイルの検索］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

10 ［完了］ボタンをクリックします。

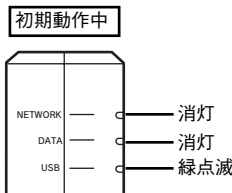
手順 6 の［無線プリントアダプタの接続と設定］画面に戻ります。

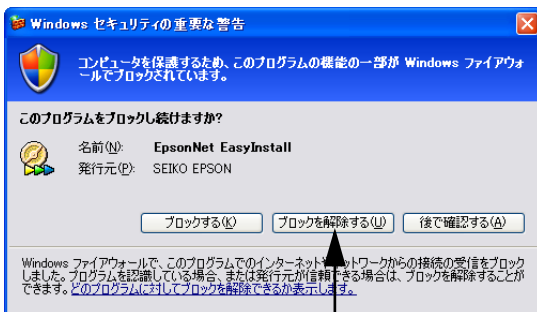
11 ［無線プリントアダプタ（PA-W11G）の接続と設定］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

⑫ PA-W11G が起動していることを確認します。

PA-W11G の NETWORK ランプと DATA ランプが消灯し、USB ランプが緑点滅しているときは初期動作中です。初期動作が終わるまでしばらくお待ちください。

⑬ ［インストール］ボタンをクリックします。

EpsonNet EasyInstall が起動します。

参考

以下の画面が表示されたときは、［ブロックを解除する］ボタンをクリックしてください。［ブロックする］ボタンをクリックしたときは、EpsonNet EasyInstall（Windows）を Windows ファイアウォールに登録してください。

☞166 ページ「Windows ファイアウォールの例外アプリケーションへの登録方法」

続いて PA-W11G を無線 LAN 環境へ接続するための設定と、プリンタドライバの設定をします。

2. 無線、TCP/IP、プリンタドライバの設定

ここでは、EpsonNet EasyInstall を使用して PA-W11G の無線設定と TCP/IP の設定を行います。

参 考	本文中の EpsonNet EasyInstall の画面は、実際の表示と異なる場合があります。

1 デバイスリストから①［Printer］をクリックして②［次へ］ボタンをクリックします。

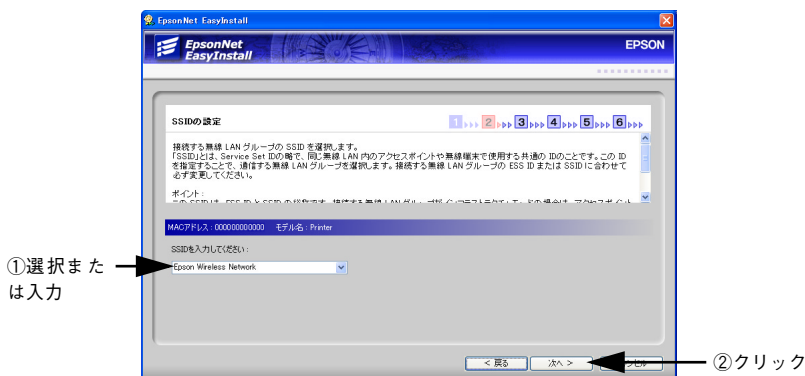
2 ①［インフラストラクチャ］をクリックして、②［次へ］ボタンをクリックします。

3 「接続する無線ネットワーク環境の確認」でメモを取った、「接続したいアクセスポイントの情報」を確認します。

☞ 170 ページ「接続する無線ネットワーク環境の確認」

接続するアクセスポイントの情報がわからない場合は、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

❹ リストから、①接続したいアクセスポイントの SSID を選択して、②［次へ］ボタンをクリックします。

参 考	接続したいアクセスポイントの設定により SSID が表示されていないときは、直接 SSID を入力してください。

❺ リストから、①セキュリティモードを選択して、②［次へ］ボタンをクリックします。

■ WEP キーが 10 桁（16 進数）または 5 文字（ASCII）の場合
①［WEP-64bit（40bit）］を選択して②［次へ］ボタンをクリックします。
■ WEP キーが 26 桁（16 進数）または 13 文字（ASCII）の場合
①［WEP-128bit（104bit）］を選択して②［次へ］ボタンをクリックします。
■ WPA の場合
①［WPA-Personal（TKIP）］を選択して②［次へ］ボタンをクリックします。

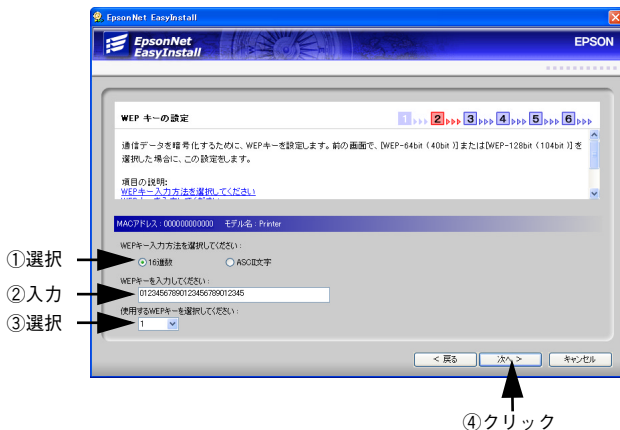
セキュリティモードで［なし］を選択したときは、手順 ❼ に進んでください。

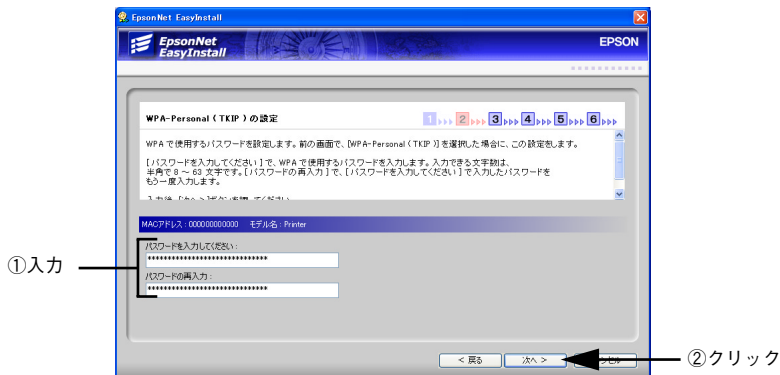
6 **WEP キーの入力またはパスワードを入力して、［次へ］ボタンをクリックします。**

■ WEP キーが 5 または 13 文字（ASCII）の場合

①［ASCII 文字］ボタンをクリックして② WEP キーを入力後、③ WEP キー No. を選択して④［次へ］ボタンをクリックします。

■ WEP キーが 10 または 26 桁（16 進数）の場合

①［16 進数］ボタンをクリックして② WEP キーを入力後、リストより③ WEP キー No. を選択して④［次へ］ボタンをクリックします。

■手順 5 で［WPA-Personal（TKIP)］を選択した場合

①パスワード（半角 8 ～ 63 文字）を入力後、②［次へ］ボタンをクリックします。

7 ①［自動］ボタンが選択されていることを確認して②［次へ］ボタンをクリックします。

> **参 考** 固定の IP アドレスを使用したい場合は、［手動］を選択して使用したい IP アドレスを入力してください。

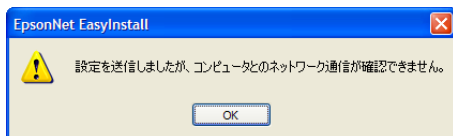
8 ①設定内容を確認して、②［次へ］ボタンをクリックします。

PA-W11G へ設定内容を送信します。設定内容が無事に送信されると、手順 9 の画面が表示されます。

> **参 考** 設定した内容に誤りや、変更したい項目があるときは［戻る］ボタンをクリックして、変更したい画面まで戻って再度設定してください。

［設定を送信しましたが、コンピュータとのネットワーク通信が確認できません。］画面が表示されたときは［OK］ボタンをクリックして以下の項目を確認します。確認後、再度設定してください。

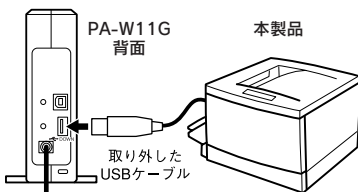
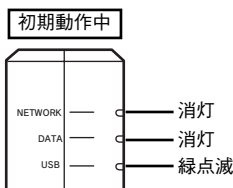
- アクセスポイントの電源がオンになっているか
- PA-W11G とアクセスポイントの無線に関する設定（SSID や WEP キーなど）が一致しているか

詳しくはエプソンのホームページの FAQ（http://faq.i-love-epson.co.jp/faq/1026/app/servlet/qasearch）で FAQ 番号「001864」の内容をご覧ください。

9 ［次へ］ボタンをクリックします。

10 コンピュータと PA-W11G を接続している USB ケーブルを取り外します。

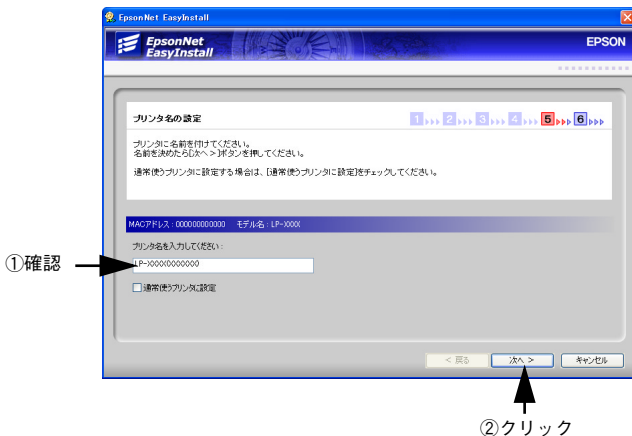
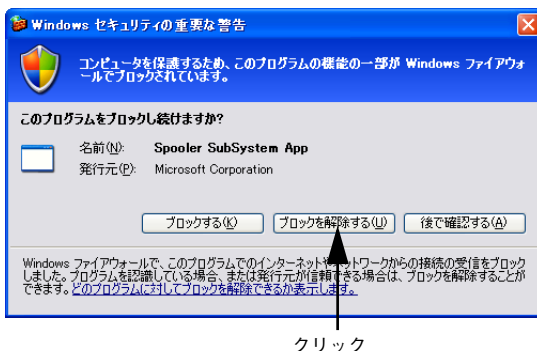
⑪ 手順⑩で取り外したUSBケーブルでPA-W11Gと本製品を接続し、本製品の電源を入れます。

注意

USB コネクタの向き / 差し込み位置を間違えないように注意してください。プリンタを接続するときは、DOWN ポートに差し込んでください。

⑫ PA-W11GのNETWORKランプとDATAランプが消灯し、USBランプが緑点滅しているとき初期起動中のため、しばらくお待ちください。

⑬ PA-W11Gの初期起動が終了したら、［次へ］ボタンをクリックします。

注意

PA-W11G の NETWORK ランプと DATA ランプが消灯し、USB ランプが緑点滅の状態で［次へ］ボタンをクリックすると、この後の手順を続行できなくなります。

⑭ 表示されたプリンタ名を確認し、必要であればプリンタ名を変更して［次へ］ボタンをクリックします。

お使いのコンピュータによっては［Windows　セキュリティの重要な警告］ダイアログが表示されることがあります。表示されたときは［ブロックを解除する］ボタンをクリックしてください。

参考	・通常使うプリンタにしたいときは、［通常使うプリンタに設定］をチェックしてください。 ・同じプリンタが複数台あるときや、別の名前でセットアップしたときなどは、プリンタ名を変更してください。

⑮ 画面の内容を確認し、テスト印刷したいときは［はい］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

⑯ ［完了］ボタンをクリックします。

［完了］ボタンをクリックすると、「1.PA-W11G の USB ドライバとソフトウェアのインストール」の手順 ⑬ で表示されたソフトウェアが自動でインストールされます。すべてのソフトウェアがインストールされたら、［終了］ボタンをクリックしてください。

以上で PA-W11G の設定とお使いになるコンピュータの設定は終了です。

「1.　PA-W11G の USB ドライバとソフトウェアのインストール」の手順 ③ でウィルスチェックプログラムを終了または停止した場合は、セキュリティ確保のためウィルスチェックプログラムを再開してください。

Macintosh でのセットアップについて

ここでは、Mac OS X（Ver.10.2.0 以降）または Mac OS 9.1 以降が動作するコンピュータから、PA-W11G に接続した本製品を使用するためのセットアップ手順を説明します。なお、設定を始める前にプリンタドライバをコンピュータにインストールしておく必要があります。プリンタドライバのインストール方法については、本製品に同梱の「セットアップガイド」（紙マニュアル）を参照してください。

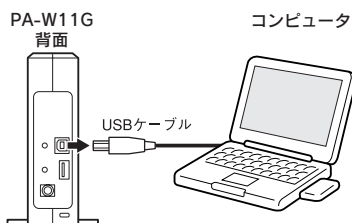
Mac OS X v10.3 の画面を例にインストールから設定までを以下の手順で説明します。

1. ソフトウェアのインストール
2. 無線設定と TCP/IP の設定
3. 無線接続の確認
4. プリンタの設定

1. ソフトウェアのインストール

注 意

- 接続の指示があるまでは、USB ケーブルをコンピュータに接続したり、PA-W11G の電源をオンにしたりしないでください。
- 設定をするコンピュータの画面表示は、SVGA（800× 600）以上にしてください。

1 **PA-W11G とコンピュータが USB ケーブルで接続されていないことを確認します。**

2 **コンピュータを起動します。**

Mac OS X にインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログインする必要があります。

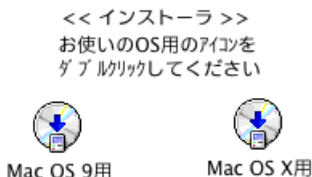
3 **コンピュータに本製品に同梱の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

Mac OS X の場合は、[EPSON] アイコンをダブルクリックしてください。

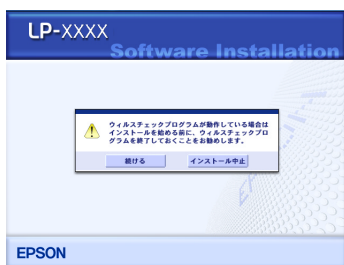
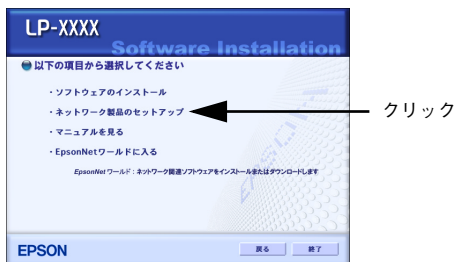
4 ［EPSON］ウィンドウで各 OS 用のインストーラアイコンをダブルクリックします。

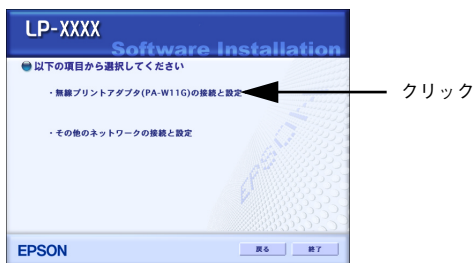
<< インストーラ >>
お使いのOS用のｱｲｺﾝを
ﾀﾞﾌﾞﾙｸﾘｯｸしてください

Mac OS 9用

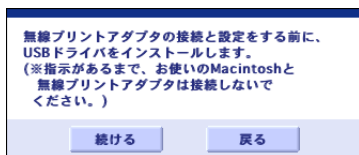
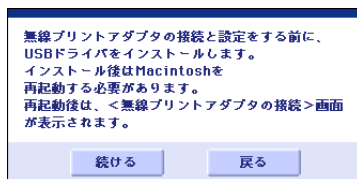
Mac OS X用

5 ウィルスチェックプログラムに対処します。

- ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］ボタンをクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を開始します。
- ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は［続ける］ボタンをクリックして次へ進みます。

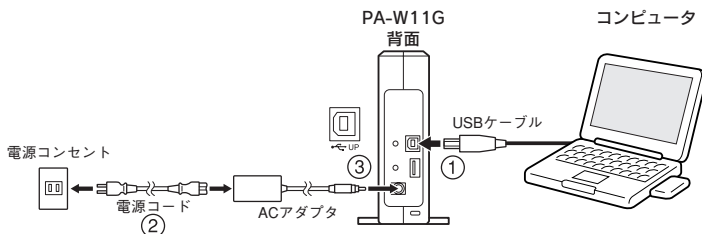
参考	本文中の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」の画面は、実際の表示と異なる場合があります。

6 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認して［同意する］ボタンをクリックし、以下の画面で「ネットワーク製品のセットアップ」をクリックします。

参考	プリンタの機種を選択する画面が表示された場合は、本製品のモデル名をクリックしてください。

7 「無線プリントアダプタ（PA-W11G）の接続と設定」をクリックします。

8 表示された画面の内容を確認して［続ける］ボタンをクリックします。

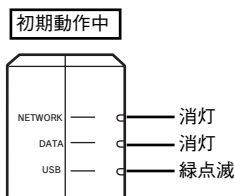
- Mac OS X の場合は､表示される画面の指示に従って USB ドライバをインストールし、手順 9 へ進みます。
- Mac OS 9 の場合は、USB ドライバをインストールした後、［再起動のお願い］画面が表示されます。［再起動］ボタンをクリックすると Macintosh が再起動し、［無線プリントアダプタの接続と設定］画面が表示されます。引き続き手順 9 より操作を続けてください。

Mac OS X

Mac OS 9

9 ［無線プリントアダプタ（PA-W11G）の接続と設定］画面の手順１～２に従って、コンピュータと PA-W11G を接続します。

下図の①～③の順に、接続などの作業を行います。

USB コネクタの向き / 差し込み位置を間違えないように注意してください。コンピュータと接続するときは、UP ポートに差し込んでください。

10 ［次へ］ボタンをクリックします。

11 **PA-W11G が起動していることを確認します。**

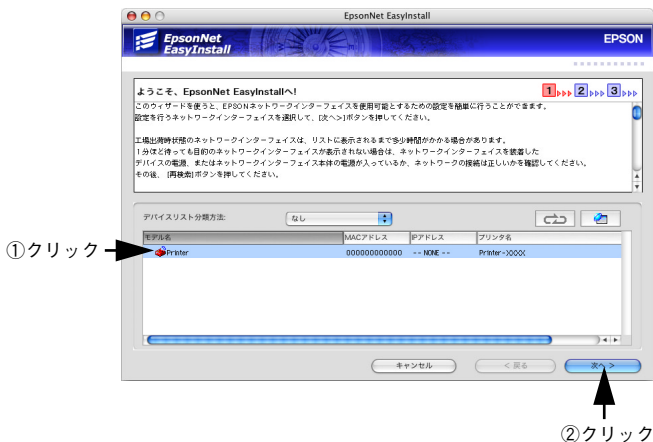
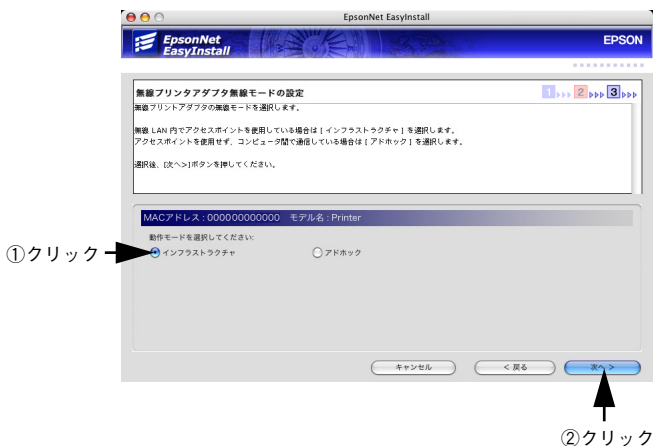
PA-W11G の NETWORK ランプと DATA ランプが消灯し、USB ランプが緑点滅しているときは初期動作中です。初期動作が終わるまでしばらくお待ちください。

12 **［設定とインストール］ボタンをクリックします。**

EpsonNet EasyInstall が起動します。

続いて、PA-W11G を無線 LAN 環境へ接続するための設定をします。

2. 無線設定と TCP/IP の設定

ここでは、EpsonNet EasyInstall を使用して PA-W11G の無線設定と、TCP/IP の設定を行います。

1. デバイスリストから①[Printer]をクリックして、②[次へ]ボタンをクリックします。

2. ①［インフラストラクチャ］をクリックして、②［次へ］ボタンをクリックします。

3. 「接続する無線ネットワーク環境の確認」でメモを取った、「接続したいアクセスポイントの情報」を確認します。

☞ 170 ページ「接続する無線ネットワーク環境の確認」

接続するアクセスポイントの情報がわからない場合は、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

4 **リストから、①接続したいアクセスポイントの SSID を選択して、②［次へ］ボタンをクリックします。**

接続したいアクセスポイントの設定によりSSIDが表示されていないときは、直接SSIDを入力してください。

5 **リストから、①セキュリティモードを選択して②［次へ］ボタンをクリックします。**

■ WEP キーが 10 桁（16 進数）または 5 文字（ASCII）の場合
①［WEP-64bit（40bit)］を選択して②［次へ］ボタンをクリックします。
■ WEP キーが 26 桁（16 進数）または 13 文字（ASCII）の場合
①［WEP-128bit（104bit)］を選択して②［次へ］ボタンをクリックします。
■ WPA の場合
①［WPA-Personal（TKIP)］を選択して②［次へ］ボタンをクリックします。

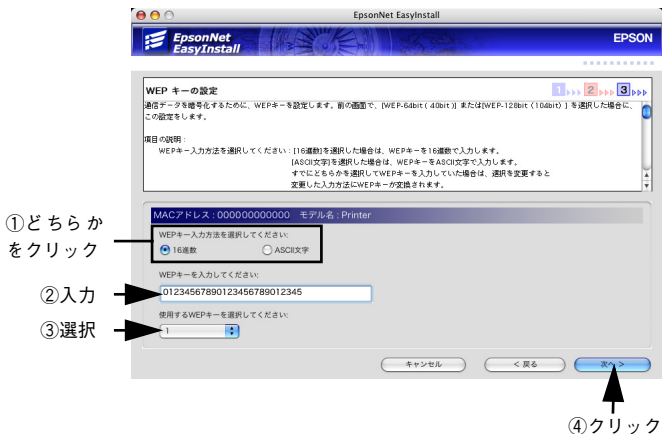
セキュリティモードで［なし］を選択したときは、手順 7 に進んでください。

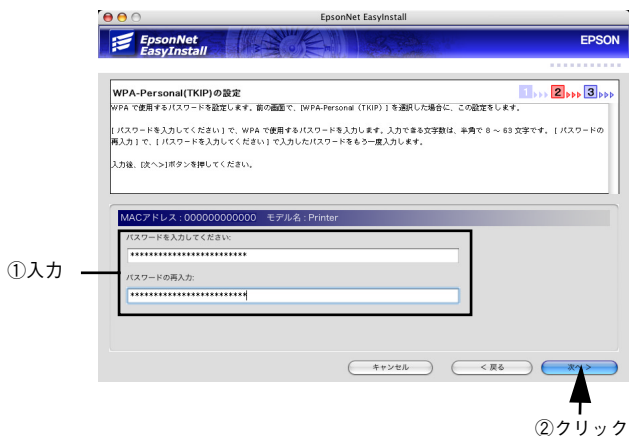
❻ WEP キーまたはパスワードを入力して、［次へ］ボタンをクリックします。

■ WEP キーが 5 または 13 文字（ASCII）の場合

①［ASCII 文字］ボタンをクリックして② WEP キーを入力後、③ WEP キー No. を選択して④［次へ］ボタンをクリックします。

■ WEP キーが 10 または 26 桁（16 進数）の場合

①［16 進数］ボタンをクリックして② WEP キーを入力後、リストより③ WEP キー No. を選択して④［次へ］ボタンをクリックします。

■手順 ❺ で［WPA-Personal（TKIP)］を選択した場合

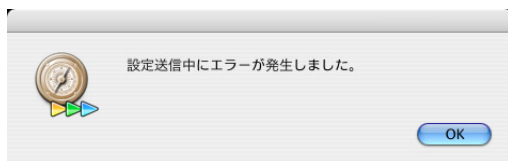
①パスワード（半角 8 ～ 63 文字）を入力後、②［次へ］ボタンをクリックします。

7 ①［自動］ボタンが選択されていることを確認して②［次へ］ボタンをクリックします。

参考 Mac OS X v 10.2.3 以前の Mac OS X や、固定の IP アドレスを使用したい場合は、［手動］を選択して使用したい IP アドレスを入力してください。

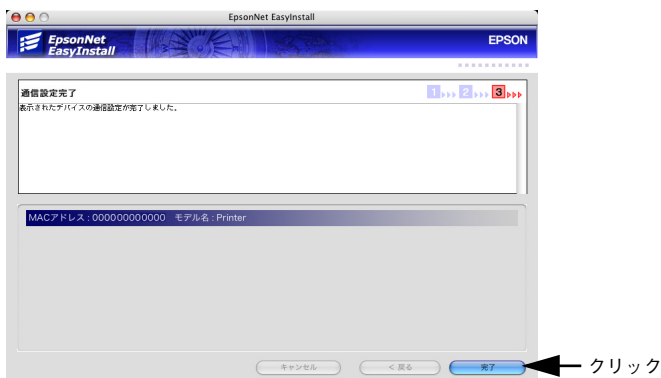
8 ①設定内容を確認して、②［次へ］ボタンをクリックします。

PA-W11G へ設定情報を送信します。
設定した内容に誤りや、変更したい項目があるときは［戻る］ボタンをクリックして、変更したい画面まで戻って設定をし直してください。

［設定送信中にエラーが発生しました。］画面が表示されたときは、［OK］ボタンをクリック後、［戻る］ボタンをクリックして以下を確認します。確認後、再度設定してください。

- アクセスポイントの電源がオンになっているか
- PA-W11G とアクセスポイントの無線に関する設定(SSID や WEP キーなど) が一致しているか

詳しくはエプソンのホームページの FAQ（http://faq.i-love-epson.co.jp/faq/1026/app/servlet/qasearch）で、FAQ 番号「001864」の内容をご覧ください。

9 ［完了］ボタンをクリックします。

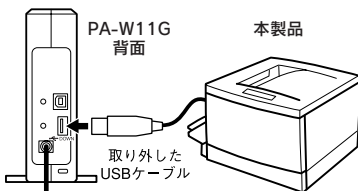
EpsonNet EasyInstall が終了し、EpsonNet Config がインストールされます。

10 ［直ちに再起動］ボタンをクリックします。

続いて無線接続ができているかを確認します。

3. 無線接続の確認

PA-W11G がアクセスポイントに無線接続されていることを確認します。

1 コンピュータと PA-W11G を接続している USB ケーブルを取り外します。

2 手順1で取り外したUSBケーブルでPA-W11Gと本製品を接続し、本製品の電源を入れます。

USB コネクタの向き/差し込み位置を間違えないように注意してください。プリンタを接続するときは、DOWN ポートに差し込んでください。

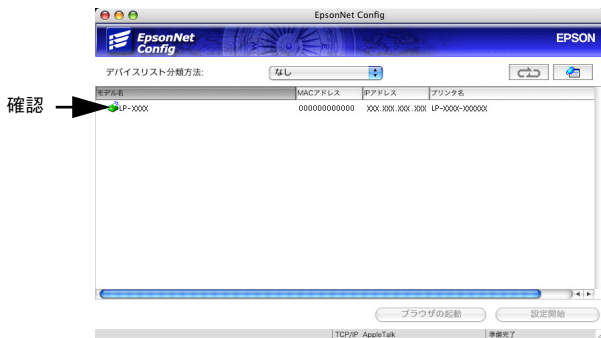
3 [Macintosh HD] アイコンをダブルクリックします。

[Macintosh HD]アイコンの名前を変更しているときは、Mac OS を起動しているハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

4 [アプリケーション] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config] フォルダをダブルクリックして、[EpsonNet Config] アイコンをダブルクリックします。

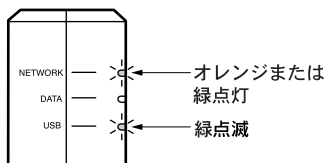
Mac OS 9 の場合は、[Applications (Mac OS 9)] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config] フォルダをダブルクリックして、[EpsonNet Config] アイコンをダブルクリックします。

5 デバイスリストに、本製品の名前が表示されていることを確認します。

確認

確認後、EpsonNet Config を終了して OS ごとの説明に従ってプリンタを設定してください。EpsonNet Config を終了するときはクローズボタンをクリックします。

OS X 版　　　　　OS 9 版

参 考

無線経由で通信ができている場合は、PA-W11G の NETWORK ランプがオレンジまたは緑点滅して、USB ランプが緑点滅します。

続いてプリンタの設定を行い、印刷できるようにします。

4.　プリンタの設定

プリンタの設定は、OS ごとに異なります。OS ごとのセットアップ手順でプリンタを設定してください。

Mac OS X の場合

1. **［Macintosh］アイコンをダブルクリックします。**
   ［Macintosh HD］アイコンの名前を変更しているときは、Mac OS を起動しているハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

2. **［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックして、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**
   Mac OS X v10.2 のときは、［プリントセンター］アイコンをダブルクリックします。

3. **［プリンタリスト］またはメッセージ画面で［追加］アイコンをクリックします。**

4 ［プリンタリスト］ウィンドウのリストより①［Rendezvous］を選択し、②本製品をクリックして、③［追加］ボタンをクリックします。

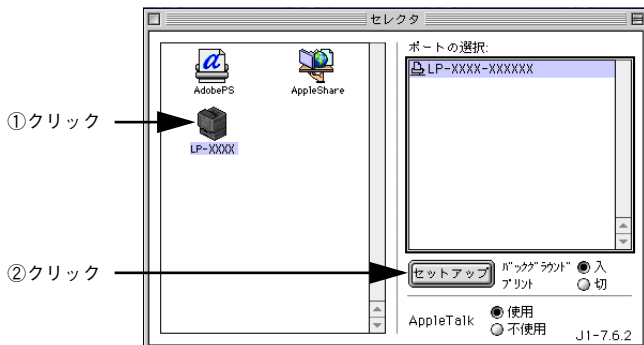
参考	Mac OS X v 10.2.3 以前の Mac OS X では、［EPSON TCP/IP］を選択してください。

以上で PA-W11G の設定とお使いになるコンピュータの設定は終了です。

Mac OS 9 の場合

1 ①［アップル］メニュー、②［セレクタ］の順にクリックします。

2 **①本製品名をクリックして、②［セットアップ］ボタンをクリックします。**

［AppleTalk］で［使用］が選択されていることを確認します。また、必要に応じて［AppleTalk ゾーン］を選択します。

以上で PA-W11G の設定とお使いになるコンピュータの設定は終了です。

注 意

「1. ソフトウェアのインストール」の手順 ❺ でウィルスチェックプログラムを終了または停止した場合は、セキュリティ確保のためウィルスチェックプログラムを再開してください。

用語集

0 ～ 9

16 進数

0 ～ 9 の数字および a ～ f のアルファベット。

A

APIPA

Automatic Private IP Addressing。ネットワーク機器に対して IP アドレスを自動的に割り当て、利用するための機能。DHCP サーバが存在しない小規模なネットワークなどで、IP アドレスの割り当てと管理を行う。APIPA を利用することによって、ユーザーはネットワークの IP アドレスを意識することなく、ネットワーク上のほかのクライアント等と通信することができる。

AppleTalk

すべての Macintosh に標準で付属する、LAN システムの規格、もしくはネットワークソフトウェアの名称。Macintosh の標準的なネットワークプロトコルになっている。

ARP

Address Resolution Protocol。TCP/IP プロトコル群に属するアドレス解決プロトコル。ホストの IP アドレスから MAC アドレスを検索するときに用いる。相手のホストが保持している IP アドレスと MAC アドレスの対応法を変更する場合にも使う。

D

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol。コンピュータの IP アドレスやデフォルト・ゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコル。クライアントの起動時に、サーバが空いている IP アドレスを自動的に割り当てる。

DNS

Domain Name System。ネットワーク上のコンピュータ名と、その IP アドレスとの対応付けを行う仕組み。IP アドレスは 4 桁の 8 ビット単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名から IP アドレスへの変換を行う。変換を行うサーバを DNS サーバという。

E

ESC/P

Epson Standard Code for Printer。エプソンが開発したプリンタ制御コードの体系。ドットインパクトプリンタに最初に搭載され、業界標準となっている。

ESC/Page
Epson Standard Code for Page Printer。ESC/P をベースにページプリンタ用に拡張したページ記述言語。ページ内での位置制御やグラフィックス描画、オーバーレイ（重ね合わせ）など、多彩な機能が組み込まれている。

ESC/PS
Epson Standard Code for Printer Super。日本電気の PC-PR 系のプリンタが採用していた制御コードと ESC/P の双方の制御コードに対応した拡張版で、両者のコードは自動的に判別され、制御モードが切り替わるようになっている。

EtherTalk
Macintosh 用の LAN を実現するためのシステムの 1 つ。Ethernet のケーブルを使って運用する AppleTalk ネットワークのこと。Ethernet インターフェイスを接続し、コントロールパネルで EtherTalk を選択すればよい。

F

FQDN
Fully Qualified Domain Name。インターネットやイントラネット等の TCP/IP ネットワーク上でホスト名に続けてドメイン名まで省略せずにすべて指定した記述形式のこと。
例えば「LP-XXXX-XXXXX.epson.co.jp」のようにホスト名（LP-XXXX-XXXXX）、ドメイン名（epson.co.jp）のすべてを指定した形式のこと。

H

HUB
ネットワークを構築する際に必要な集線装置。複数本のシールドツイストペアケーブルを RJ-45 モジュラージャックで接続し、スター型 LAN を構築する。

I

IPP
Internet Printing Protocol。IPP を使うことにより、インターネットを経由しての印刷が可能となる。

IP アドレス
IP による通信でネットワーク内の各コンピュータに割り振られる番号（アドレス）のこと。国内では日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）が IP アドレスの登録手続きを代行しており、ここから世界的にユニークな IP アドレスを取得できる。

L

LPR

Line Printer Daemon Protocol。BSD UNIX で使われてきたリモート印刷プロトコル。TCP/IP 上で動作する。

M

MAC アドレス

Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

MIB

Management Information Base。ネットワーク管理のための SNMP（Simple Network Management Protocol）マネージャと SNMP エージェントとでやりとりされるネットワーク管理のための一種のデータベースで、100 以上のオブジェクト（管理対象）を含むテーブルになっている。管理対象となる機器ごとに MIB を持つ。

N

NetBEUI

通信プロトコルの 1 つ。ネットワーク・アドレスの設定が不要だが、ルータを越えての使用はできない。

P

PING

TCP/IP が実装されたコンピュータ間で送受信テストを行い、接続の確認に使用するコマンド。LAN 環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対して ping コマンドを実行し、正常に TCP/IP が実装されているか確認する。

PS

PostScript。アドビシステムズ社が開発したページ記述言語。高品位の印刷ができるため、DTP 用のレイアウトソフトがこの形式を採用している。文字・図形・画像などと、これらの属性とページ内での位置を指定することができる。1996 年には PDF 形式への対応などを追加した Level 3 が発表されている。

R

Rendezvous

Mac OS X v10.2 から採用されたLAN内の通信プロトコル。IETF（Internet Engineering Task Force）で議論されている「Zeroconf」という技術がベースになっている。TCP/IP ネットワーク上で動作し、IP アドレスの自動割り当て、IP アドレスに対するサービス名の割り当て、LAN 内の Rendezvous 対応機器の認識という 3 つの作業を自動で行う。

S

SNMP

Simple Network Management Protocol。TCP/IP ネットワーク管理の標準プロトコルで、ネットワークの構成や、HUB、ルータなどのネットワーク機器に関しての管理情報のやり取りに使用される。ネットワーク管理システムは「マネージャ」、ネットワーク機器は「エージェント」などといわれる。

T

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol。インターネット標準の通信プロトコル。RFC（Request for Comments）の形で公開されているため、広く普及している。

U

UPnP

Universal Plug and Play。Microsoft の新技術で、Windows Me で機能が提供されている。Web ベースのプロトコルを使って各種のデバイスが互いに存在を確認しあい、やり取りできるようにするもの。例えばプリンタをネットワークに接続するだけで、ネットワーク上でプリンタを認識することができる。

W

WEP

Wired Equivalent Privacy。無線通信における暗号化技術。無線通信は傍受が極めて容易であるため、送信されるパケットを暗号化して傍受者に内容を知られないようにすることで、有線通信と同様の安全性を持たせようとしている。
オプションの無線プリントアダプタ PA-W11G では以下の WEP キーをサポートしています。

	ASCII	16 進数
WEP-64bit（40bit）	5 文字	10 桁
WEP-128bit（104bit）	13 文字	26 桁

ASCII 文字を選択した場合は半角英数字記号（大文字と小文字は別の文字として扱われます）、16 進数を選択した場合は 0 ～ 9 の数字および a ～ f のアルファベットで入力します。

ア

アクセスポイント

無線機器間の通信を中継する装置。また、有線ネットワークと無線ネットワークの橋渡しをする装置。

アドホック

アクセスポイントを介さずに機器同士が直接通信を行なうモード。

イ

インターネット印刷

Windows 2000 以降 の OS に実装されている機能。Web ブラウザから、ファイアウォールを越えた先にあるプリンタへ印刷することができる。

インフラストラクチャ

無線LAN の通信方式の一つ。アクセスポイントを介して通信を行なうモード。

エ

エンティティタイプ

オブジェクトのタイプ。これにより、オブジェクトが正当なものであるか否かを識別できる。

ケ

ゲートウェイ

クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内LAN とインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内LAN からはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータと呼び、ゲートウェイとは区別する。

サ

サブネットマスク

TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。したがってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットからなり、クラス C では 24 ビット（255.255.255.0）が標準で使用される。

シ

シールドツイストペアケーブル

電線を 2 本ずつより合わせて対にしたケーブル。Ethernet や電話のモジュラーケーブル、USB ケーブルなどに使われている。電気干渉に強い構造となっているものを、シールド型と呼ぶ。

ソ

ゾーン名

AppleTalk で設定される、サーバやプリンタなどのネットワーク資源を論理的に扱うためのグループ。

タ

ダイナミックDNS

IP アドレスとホスト名の組み合わせを動的に更新する DNS 。これにより、ホストのIP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名は維持される。LAN 内にダイナミック DNS 対応の DHCP サーバが必要。

ネ

ネットワーククラス

IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、C の３つのクラスに分けられる。たとえば、クラス A は、IP アドレスの上位８ビットがマスクされている。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決定する。

フ

プロキシサーバ

インターネットと接続する際に、セキュリティを確保するために設置されるサーバ。

ホ

ポート番号

TCP や UDP が備える機能で、複数アプリケーションを同一コンピュータまたはサーバ上で扱うための仕組み。サーバやパソコンは、インターネットから受信したパケットを、ポート番号によって引き渡すアプリケーションを特定する。

ユ

ユニバーサルプラグアンドプレイ

UPnP（Universal Plug and Play）。Microsoft の新技術で、ネットワーク上のデバイスを自動的に認識する機能。この機能は Windows Me 以降で提供されている。

索引

数字

A

D

E

F

H

I

L

M

N

P

R

S

T

W

Ver.	日付	改訂ページ	改訂内容
00	2004/11/4	ー	新版